秋田県文化財調査報告書第303集

洲崎遺跡

－県営ほ場整備事業（浜井川地区）に係る埋蔵文化財発掘調査報告書－

秋田県埋蔵文化財センター

2000・3

秋田県教育委員会

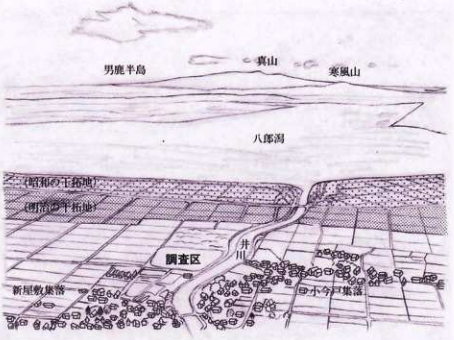
洲崎遺跡

－県営ほ場整備事業（浜井川地区）に係る埋蔵文化財発掘調査報告書－

２０００・３

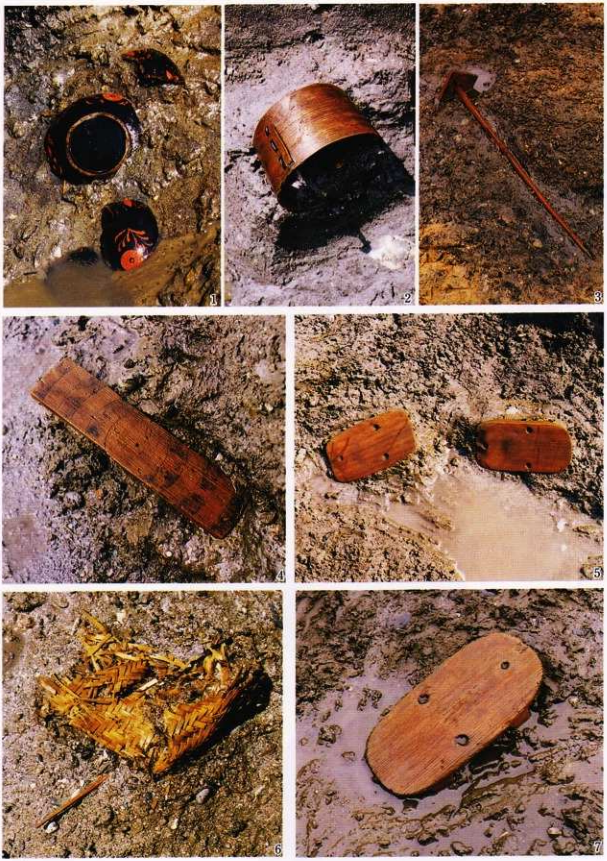
秋田県教育委員会

遺跡遠景航空写真（東方上空より）



井戸跡（右：SE417　左上：SE435　左下：SE416）

井戸跡から掘り上げられた曲物群



1：漆器椀(SE441)　2：柄杓と銭貨(SE154)　3：サバマス(309図7)　4：的(309図2)
5：下駄(左：300図5、右：300図1)　6：篭(あるいは靴、316図2)　7：下駄(300図7)
3～7：SD49

遺物出土状況

上：SE582
中：SE587
下：SE295

井戸側に転用された丸木舟

SE587 縦板
左：全体
右：墨書部分

人魚供養札

1

2

3

6

7

4

1～3：木簡（原寸の約1/2）
4：笛（竹製）
5：篦（あるいは靴か）
6：六器（銅製）
7：硯（石製）

5

出土遺物

序

本県ではここれまでに約4,500箇所の遺跡が発見されており、先人の遺産である埋蔵文化財が豊富に残されています。これらの埋蔵文化財は地域に根ざした文化を理解し、目前に迫った21世紀の新しい秋田県を創造するうえで欠くことのできないものであります。

平成10年度に旧八郎潟の東岸に位置する井川町浜井川地区において、農業基盤整備の一環としてほ場整備事業が計画されました。当教育委員会ではこれに先立ち、整備区域内にある洲崎遺跡の発掘調査を実施して遺跡の記録保存に努めることに致しました。

調査の結果、多くの井戸跡や堀・道路跡、掘立柱建物跡をはじめとする遺構群が発見され、中世の大規模な集落跡であったことが明らかになりました。また同時に、多量の陶磁器や木製品が出土し、特に杉板に墨書された人魚供養札は、歴史的資料として貴重なだけでなく東北地方の絵画資料としても注目されます。

本報告書は洲崎遺跡の発掘調査をまとめたものであります。埋蔵文化財の保護と活用に役立てば幸いに存じます。

最後になりましたが、発掘調査並びに本報告書の刊行にあたり、御援助、御協力をいただきました秋田県秋田農林事務所、井川町教育委員会をはじめ、関係各位に対し、厚くお礼申し上げます。

平成12年３月

秋田県教育委員会

教育長　小　野　寺　清

目　次

巻頭図版
序
例言・凡例
目次
第1章　はじめに
　第1節　発掘調査に至るまで・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1
　第2節　調査要項・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1
第2章　遺跡の概要
　第1節　遺跡の位置と立地・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・3
　第2節　歴史的環境・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・3
　第3節　調査・整理の方法と経過・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・11
第3章　調査の記録
　第1節　遺跡の調査履歴・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・15
　第2節　遺跡の現況と基本層序・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・15
　第3節　縄文～古代の遺物・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・19
　　1　縄文・弥生時代・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・19
　　2　平安時代・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・22
　第4節　検出遺構・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・24
　　1　井戸跡・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・24
　　2　掘立柱建物跡・柱穴列・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・197
　　3　竪穴状遺構・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・240
　　4　土坑・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・241
　　5　堀・溝跡・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・281
　　6　道路跡・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・283
　　7　その他の遺構・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・284
　第5節　中世・近世の出土遺物・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・313
　　1　陶磁器・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・313
　　2　木製品・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・338
　　3　金属製品・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・412
　　4　石製品・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・415
　　5　土製品・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・419
　　6　銭貨・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・423
第4章　自然科学的分析
　第1節　年輪年代測定・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・427
　第2節　樹種・種実・葉・昆虫・貝の同定・・・・・・・・・・・・・・・・428
第5章　まとめ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・437

例　言

1　本書は平成９・10年度に発掘調査を実施した、県営ほ場整備事業（浜井川地区）に係る洲崎遺跡の発掘調査報告書である。

2　調査の内容については、既にその一部が公表されているが、本報告書を正式なものとする。

3　本書の挿図中に使用した土層表記法は、農林水産省農林水産技術会議事務局監修・財団法人日本色彩研究所色票監修『新版標準土色帖　1997年版』を使用した。

4　遺構・遺物の検討および自然科学分析は下記の個人・機関に依頼した。（敬称略）

掘立柱建物跡・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・宮本長二郎（東北芸術工科大学）

年輪年代測定・・・・・・・・・・・・・・・・・・・光谷拓実（奈良国立文化財研究所）

陶器（瀬戸・美濃）・・・・・・・・・・・・・・・・藤澤良祐（瀬戸市埋蔵文化財センター）

石製品（硯・砥石）・・・・・・・・・・・・・・・・沙見一夫（鎌倉考古学研究所）

樹種・種実・葉・昆虫・貝の同定・・・・・・・・・・パリノ・サーヴェイ株式会社

5　本書に使用した地形図は、建設省国土地理院発行50,000分の１「五城目」である。

6　本遺跡の調査ならびに報告書刊行にあたり、次の方々よりご指導、ご教示をいただいた。記して感謝申し上げます。（敬称略、五十音順）

穴澤義功、安部　実、天野荘平、飯村　均、石川尚三、磯村朝次郎、井上喜久男、入間田宣夫、遠藤　巌、大澤正己、岡田茂弘、加藤民夫、鎌田幸男、川島茂裕、工藤清泰、栗山知士、小林　克、斉木秀雄、坂井秀弥、榊原滋高、佐藤　仁、塩谷順耳、賈　建威、庄内昭男、鈴木和子、田中則和、出越茂和、中島圭一、仲野　浩、永石雅基、楢崎彰一、新野直吉、平川　南、藤澤良祐、藤原良章、降矢哲男、本澤慎輔、誉田慶信、三上喜孝、水澤幸一、水戸弘美、八重樫忠郎、山口博之、吉岡郁夫

7　本書の草稿執筆は、調査担当の高橋 学、渡邊慎一、小山有希、工藤直子が分担して行い、まとめを含む編集作業は工藤・高橋が行った。なお草稿前段階における各種データの収集・集計において山根勇人の協力を得た。

8　本遺跡調査において出土した資料、整理作業で生じた各種のデータ類は、秋田県埋蔵文化財センターが一括保管している。活用されたい。

凡　例

1　本報告書に収載した遺跡実測図に付した方位は座標北である。

2　土層注記は基本層位にローマ数字を用いた。

3　挿図中における遺構・遺物に係る凡例は各挿図に記している。

遺構の略号は以下に示すとおりである。

ＳＥ　井戸跡	ＳＢ　掘立柱建物跡	ＳＡ　柱穴列	ＳＫＩ　竪穴状遺構
ＳＫ　土坑	ＳＤ　堀・溝跡	ＳＭ　道路跡	ＳＶ　旧水田跡
ＳＷ　畠跡	ＳＫＰ　柱穴跡	ＳＸ　その他の呼称不明遺構	

挿 図 目 次

第1図 洲崎遺跡の位置
第2図 遺跡周辺の地形分類図
第3図 遺跡周辺の表層地質図
第4図 洲崎遺跡周辺の中世遺跡位置図
第5図 新屋敷板碑群と旧新屋敷舟着場跡標柱
第6図 整理作業風景
第7図 遺跡調査区の範囲
第8図 基本層序・グリッド配置図
第9図 廃棄物容区分要件図
第10図 縄文・弥生時代の出土遺物（1）
第11図 縄文・弥生時代の出土遺物（2）
第12図 古代の出土遺物
第13図 井戸跡分類模式図
第14図 井戸跡A型（1）SE04（1）
第15図 井戸跡A型（2）SE04（2）
第16図 井戸跡A型（3）SE295（1）、SE310
第17図 井戸跡A型（4）SE295（2）
第18図 井戸跡A型（5）SE295（3）
第19図 井戸跡A型（6）SE295（4）
第20図 井戸跡A型（7）SE582（1）
第21図 井戸跡A型（8）SE582（2）
第22図 井戸跡A型（9）SE582（3）
第23図 井戸跡A型（10）SE587（1）
第24図 井戸跡A型（11）SE587（2）
第25図 井戸跡A型（12）SE587（3）
第26図 井戸跡A型（13）SE587（4）
第27図 井戸跡A型（14）SE587（5）
第28図 井戸跡A型（15）SE587（6）
第29図 井戸跡B型（1）SE121
第30図 井戸跡B型（2）SE188
第31図 井戸跡B型（3）SE196・458
第32図 井戸跡B型（4）SE243
第33図 井戸跡B型（5）SE593
第34図 井戸跡C型（1）SE01-02
第35図 井戸跡C型（2）SE03 A・B
第36図 井戸跡C型（3）SE05
第37図 井戸跡C型（4）SE06
第38図 井戸跡C型（5）SE11-15、SE591（1）
第39図 井戸跡C型（6）SE11-15、SE591（2）
第40図 井戸跡C型（7）SE12 A・B（1）
第41図 井戸跡C型（8）SE12 B（2）
第42図 井戸跡C型（9）SE16（1）、SE552
第43図 井戸跡C型（10）SE16（2）
第44図 井戸跡C型（11）SE16（3）
第45図 井戸跡C型（12）SE17-26
第46図 井戸跡C型（13）SE21
第47図 井戸跡C型（14）SE23
第48図 井戸跡C型（15）SE28～33（1）
第49図 井戸跡C型（16）SE28～33（2）
第50図 井戸跡C型（17）SE28～33（3）
第51図 井戸跡C型（18）SE28～33（4）
第52図 井戸跡C型（19）SE50
第53図 井戸跡C型（20）SE62
第54図 井戸跡C型（21）SE106-107
第55図 井戸跡C型（22）SE109-117-119
第56図 井戸跡C型（23）SE120-125
第57図 井戸跡C型（24）SE123
第58図 井戸跡C型（25）SE127
第59図 井戸跡C型（26）SE148-152
第60図 井戸跡C型（27）SE149
第61図 井戸跡C型（28）SE153-155-159
第62図 井戸跡C型（29）SE160-165
第63図 井戸跡C型（30）SE161
第64図 井戸跡C型（31）SE162
第65図 井戸跡C型（32）SE166-169
第66図 井戸跡C型（33）SE170-171-180
第67図 井戸跡C型（34）SE174、SK175
第68図 井戸跡C型（35）SE179-181
第69図 井戸跡C型（36）SE182-208
第70図 井戸跡C型（37）SE189
第71図 井戸跡C型（38）SE197、SE178
第72図 井戸跡C型（39）SE205（1）
第73図 井戸跡C型（40）SE205（2）
第74図 井戸跡C型（41）SE212-213-241
第75図 井戸跡C型（42）SE219
第76図 井戸跡C型（43）SE222、SE221（1）
第77図 井戸跡C型（44）SE222、SE221（2）
第78図 井戸跡C型（45）SE225
第79図 井戸跡C型（46）SE228-231、SE230、SK229
第80図 井戸跡C型（47）SE237、SE250
第81図 井戸跡C型（48）SE248-315、SE279、SK245（1）
第82図 井戸跡C型（49）SE248-315、SE279、SK245（2）
第83図 井戸跡C型（50）SE248（3）
第84図 井戸跡C型（51）SE257-275
第85図 井戸跡C型（52）SE271-272
第86図 井戸跡C型（53）SE276
第87図 井戸跡C型（54）SE280-289、SE299
第88図 井戸跡C型（55）SE290-291
第89図 井戸跡C型（56）SE296、SE297（1）
第90図 井戸跡C型（57）SE296、SE297（2）
第91図 井戸跡C型（58）SE300、SE286
第92図 井戸跡C型（59）SE305、SE355
第93図 井戸跡C型（60）SE306-308、SE314
第94図 井戸跡C型（61）SE307
第95図 井戸跡C型（62）SE311
第96図 井戸跡C型（63）SE319-359
第97図 井戸跡C型（64）SE322
第98図 井戸跡C型（65）SE330
第99図 井戸跡C型（66）SE381-385
第100図 井戸跡C型（67）SE417-435、SE416（1）
第101図 井戸跡C型（68）SE417-435、SE416（2）
第102図 井戸跡C型（69）SE417-435、SE416（3）
第103図 井戸跡C型（70）SE422、SE438（1）
第104図 井戸跡C型（71）SE422、SE438（2）
第105図 井戸跡C型（72）SE441
第106図 井戸跡C型（73）SE459
第107図 井戸跡C型（74）SE467-484、SK466
第108図 井戸跡C型（75）SE491-580
第109図 井戸跡C型（76）SE507-508
第110図 井戸跡C型（77）SE509-531
第111図 井戸跡C型（78）SE519
第112図 井戸跡C型（79）SE530（1）
第113図 井戸跡C型（80）SE530（2）
第114図 井戸跡C型（81）SE533
第115図 井戸跡C型（82）SE536-538
第116図 井戸跡C型（83）SE537
第117図 井戸跡C型（84）SE540
第118図 井戸跡C型（85）SE543
第119図 井戸跡C型（86）SE546-554
第120図 井戸跡C型（87）SE558-570
第121図 井戸跡C型（88）SE579-584
第122図 井戸跡C型（89）SE583（1）
第123図 井戸跡C型（90）SE583（2）
第124図 井戸跡C型（91）SE664-682
第125図 井戸跡C型（92）SE683-694
第126図 井戸跡C型（93）SE700-723
第127図 井戸跡C型（94）SE733
第128図 井戸跡D型（1）SE08
第129図 井戸跡D型（2）SE22
第130図 井戸跡D型（3）SE58-60
第131図 井戸跡D型（4）SE66-85
第132図 井戸跡D型（5）SE103-105

第133図　井戸跡D型（6）SE112・116
第134図　井戸跡D型（7）SE118・146
第135図　井戸跡D型（8）SE172、SE190
第136図　井戸跡D型（9）SE177・194
第137図　井戸跡D型（10）SE214・215
第138図　井戸跡D型（11）SE217・261、SE216
第139図　井戸跡D型（12）SE218、SE592（1）
第140図　井戸跡D型（13）SE218、SE592（2）
第141図　井戸跡D型（14）SE220・226
第142図　井戸跡D型（15）SE227
第143図　井戸跡D型（16）SE239、SE238
第144図　井戸跡D型（17）SE242・325、SE324（1）
第145図　井戸跡D型（18）SE242・325、SE324（2）
第146図　井戸跡D型（19）SE277・292
第147図　井戸跡D型（20）SE287、SE288
第148図　井戸跡D型（21）SE316、SE317
第149図　井戸跡D型（22）SE393、SK392
第150図　井戸跡D型（23）SE408・418
第151図　井戸跡D型（24）SE423・529
第152図　井戸跡D型（25）SE510・518
第153図　井戸跡D型（26）SE532
第154図　井戸跡D型（27）SE535・551
第155図　井戸跡D型（28）SE542
第156図　井戸跡D型（29）SE569
第157図　井戸跡D型（30）SE576・623
第158図　井戸跡D型（31）SE577・578
第159図　井戸跡D型（32）SE594
第160図　井戸跡D型（33）SE710
第161図　井戸跡E型（1）SE27・56
第162図　井戸跡E型（2）SE74・168・193
第163図　井戸跡E型（3）SE151・167
第164図　井戸跡E型（4）SE206・207・211・294・309・320（1）
第165図　井戸跡E型（5）SE206・207・211・294・309・320（2）
第166図　井戸跡E型（6）SE240・302
第167図　井戸跡E型（7）SE357・358・492
第168図　井戸跡E型（8）SE497・588
第169図　井戸跡E型（9）SE522、SE523
第170図　井戸跡F型（1）SE47・53・55・57
第171図　井戸跡F型（2）SE61・68・75・80・84
第172図　井戸跡F型（3）SE86・102・104
第173図　井戸跡F型（4）SE108・114・147
第174図　井戸跡F型（5）SE150
第175図　井戸跡F型（6）SE154
第176図　井戸跡F型（7）SE158・164・176
第177図　井戸跡F型（8）SE195・232・236・259・263・274
第178図　井戸跡F型（9）SE282・284・285・301・304
第179図　井戸跡F型（10）SE293・298・354
第180図　井戸跡F型（11）SE07・09・157・369・378・391・495、SK187・350
第181図　井戸跡F型（12）SE581・596
第182図　井戸跡F型（13）SE581・698
第183図　礎立柱建物跡群配置図
第184図　建物跡A群（1）SB472・473・560・958～961
第185図　建物跡A群（2）SD464・962・964～966
第186図　建物跡A群（3）SB562・563・967～971・1070、SKP1710
第187図　建物跡A群（4）SB481・972～984
第188図　建物跡A群（5）SB985～991
第189図　建物跡B－1群（1）SB992～996・1072、SA1071
第190図　建物跡B－1群（2）SB600・642・997・999～1002・1005・1006、SA1003・1004
第191図　建物跡B－1群（3）SB346・1007～1011・1014～1018、SA1012・1013、SK345
第192図　建物跡B－1群（4）SB1019～1024、SA1025～1028、SKP2525
第193図　建物跡B－2群 SB1029～1034、SK331
第194図　建物跡B－2群（上）・C群（下）SB1035～1038
第195図　建物跡D群 SB1039～1043、SA1073・1074
第196図　建物跡E群 SB1044～1051
第197図　建物跡F群 SB1052～1059、SA1075・1076
第198図　建物跡G群 SB396・1060～1066・1068・1069、SK397
第199図　建物跡・柱穴写真
第200図　竪穴状遺構（1）SKI244（1）
第201図　竪穴状遺構（2）SKI244（2）
第202図　竪穴状遺構（3）SKI246、SK249（1）
第203図　竪穴状遺構（4）SKI246（2）
第204図　竪穴状遺構（5）SKI312（1）
第205図　竪穴状遺構（6）SKI312（2）
第206図　竪穴状遺構（7）SKI128・278
第207図　竪穴状遺構（8）SKI675・686
第208図　竪穴状遺構（9）SKI631・679
第209図　竪穴状遺構（10）SKI675・679遺構写真
第210図　竪穴状遺構（11）SKI65・79・663・728
第211図　竪穴状遺構（12）SKI83・589
第212図　竪穴状遺構（13）SKI115・191（1）
第213図　竪穴状遺構（14）SKI115・191（2）
第214図　土坑（1）SK24
第215図　土坑（2）SK192・657
第216図　土坑（3）SK223
第217図　土坑（4）SK673
第218図　土坑（5）SK866・724・725・748
第219図　土坑（6）SK51・67・72・73・94・122
第220図　土坑（7）SK124・163・173・198・233・235・262
第221図　土坑（8）SK281・303・330・334・353・365・366
第222図　土坑（9）SK394・395・425～427・442・452・453・485・486・501
第223図　土坑（10）SK503・534・555・598・599・611・685
第224図　土坑（11）SK515・616・638・648・692・696・726・732・741
第225図　土坑（12）SK264・268・339・361・379・383・449・476・490・494・636・695
第226図　土坑（13）SK678・684・690・697・736
第227図　土坑（14）SK52・54・59・63・69・70・71・76～78・95・111・135・224
第228図　土坑（15）SK234・247・251～253・255・256・258・265～267・269・270・283・318・326
第229図　土坑（16）SK321・329・332・333・335・337・340～344・347～349・351・352・360・439・811
第230図　土坑（17）SK362～364・375・376・382・384・386～390・392・409・413
第231図　土坑（18）SK421・424・428・429・443～448・450・454・460・461
第232図　土坑（19）SK462・463・465・468～470・474・478・479・483・487～489・496
第233図　土坑（20）SK498～500・505・506・515・517・527・556・559・561・564～567
第234図　土坑（21）SK610・617・622・632・634・635・637・640・641・643～646
第235図　土坑（22）SK647・649・670～672・674・677・689・691・699・702・703・709
第236図　土坑（23）SK714・717～721・729・731・740・938・939
第237図　堀・溝・道路跡（1）SD49（1）、SM660
第238図　堀・溝・道路跡（2）SD49（2）
第239図　堀・溝・道路跡（3）SD49（3）
第240図　堀・溝・道路跡（4）調査区北東部SD630・666・706、SM377（1）
第241図　堀・溝・道路跡（5）調査区北東部SD630・666・706、SM377（2）
第242図　堀・溝・道路跡（6）調査区南東部北側SD666、SM377・652（1）
第243図　堀・溝・道路跡（7）調査区南東部北側SD666、SM377・652（2）
第244図　堀・溝・道路跡（8）調査区中央南部SD630・601、SM377（1）
第245図　堀・溝・道路跡（9）調査区中央南部SD630・601、SM377（2）
第246図　堀・溝・道路跡（10）調査区西部北端SD568・571・585等
第247図　堀・溝・道路跡（11）調査区南西部南東側（左）、調査区中央南部北端（右）

第248図　堀・溝・道路跡（12）遺構写真（1）
第249図　堀・溝・道路跡（13）遺構写真（2）
第250図　畔称不明遺構　SX110
第251図　出土遺物（1）貿易陶磁（1）青磁
第252図　出土遺物（2）貿易陶磁（2）青磁・白磁
第253図　出土遺物（3）貿易陶磁（3）染付・朝鮮
第254図　出土遺物（4）国産陶器（1）瀬戸美濃（1）
第255図　出土遺物（5）国産陶器（2）瀬戸美濃（2）
第256図　出土遺物（6）国産陶器（3）瀬戸美濃（3）
第257図　出土遺物（7）国産陶器（4）瀬戸美濃（4）
第258図　出土遺物（8）国産陶器（5）瀬戸美濃（5）
第259図　出土遺物（9）国産陶器（6）珠洲（1）
第260図　出土遺物（10）国産陶器（7）珠洲（2）
第261図　出土遺物（11）国産陶器（8）珠洲（3）
第262図　出土遺物（12）国産陶器（9）珠洲（4）
第263図　出土遺物（13）国産陶器（10）珠洲（5）
第264図　出土遺物（14）国産陶器（11）珠洲（6）
第265図　出土遺物（15）国産陶器（12）珠洲（7）
第266図　出土遺物（16）国産陶器（13）珠洲（8）
第267図　出土遺物（17）国産陶器（14）珠洲（9）
第268図　出土遺物（18）国産陶器（15）珠洲（10）
第269図　出土遺物（19）国産陶器（16）越前・瓦器・須恵系擂鉢
第270図　出土遺物（20）国産陶器（17）瀬戸・美濃・瓦器・土師
第271図　出土遺物（21）近世陶磁器（1）
第272図　出土遺物（22）近世陶磁器（2）
第273図　出土遺物（23）木製品：木簡等
第274図　出土遺物（24）木製品：飲食器（1）　漆塗り皿・蓋・椀（1）
第275図　出土遺物（25）木製品：飲食器（2）漆塗り椀（2）
第276図　出土遺物（26）木製品：飲食器（3）漆塗り椀（3）
第277図　出土遺物（27）木製品：飲食器（4）漆塗り椀（4）
第278図　出土遺物（28）木製品：飲食器（5）漆塗り椀（5）
第279図　出土遺物（29）木製品：飲食器（6）漆塗り椀（6）
第280図　出土遺物（30）木製品：飲食器（7）漆塗り椀（7）
第281図　出土遺物（31）木製品：飲食器（8）箸
第282図　出土遺物（32）木製品：飲食器（9）板杓子
第283図　出土遺物（33）木製品：飲食器（10）折敷（1）
第284図　出土遺物（34）木製品：飲食器（11）折敷（2）
第285図　出土遺物（35）木製品：飲食器（12）折敷（3）
第286図　出土遺物（36）木製品：飲食器（13）折敷（4）・折敷台
第287図　出土遺物（37）木製品：調理・炊事具（1）鍋蓋・鍋把手・さささら
第288図　出土遺物（38）木製品：調理・炊事具（2）堀板（1）
第289図　出土遺物（39）木製品：調理・炊事具（3）堀板（2）・柄杓
第290図　出土遺物（40）木製品：容器（1）曲物・曲物容器
第291図　出土遺物（41）木製品：容器（2）曲物底板（1）
第292図　出土遺物（42）木製品：容器（3）曲物底板（2）
第293図　出土遺物（43）木製品：容器（4）曲物底板（3）
第294図　出土遺物（44）木製品：容器（5）蓋・箱・把手
第295図　出土遺物（45）木製品：容器（6）桧
第296図　出土遺物（46）木製品：装身具（1）櫛・扇子骨・用途不明具
第297図　出土遺物（47）木製品：装身具（2）刀柄・刀鞘
第298図　出土遺物（48）木製品：履物（1）下駄（1）
第299図　出土遺物（49）木製品：履物（2）下駄（2）
第300図　出土遺物（50）木製品：履物（3）下駄（3）
第301図　出土遺物（51）木製品：履物（4）下駄（4）
第302図　出土遺物（52）木製品：履物（5）下駄（5）
第303図　出土遺物（53）木製品：履物（6）下駄（6）・旧下駄・下駄整歯
第304図　出土遺物（54）木製品：履物（7）草履芯（1）
第305図　出土遺物（55）木製品：履物（8）草履芯（2）
第306図　出土遺物（56）木製品：履物（9）草履芯（3）
第307図　出土遺物（57）木製品：建具・調度具
第308図　出土遺物（58）木製品：火処具、染・織具
第309図　出土遺物（59）木製品：呪術具
第310図　出土遺物（60）木製品：形代（1）
第311図　出土遺物（61）木製品：形代（2）
第312図　出土遺物（62）木製品：形代（3）
第313図　出土遺物（63）木製品：遊戯具・計量具・運搬具・工具
第314図　出土遺物（64）木製品：農具
第315図　出土遺物（65）木製品：漁具
第316図　出土遺物（66）木製品：編物
第317図　出土遺物（67）木製品：用途不明具（1）
第318図　出土遺物（68）木製品：用途不明具（2）
第319図　出土遺物（69）木製品：用途不明具（3）棒状
第320図　出土遺物（70）木製品：用途不明具（4）棒状
第321図　出土遺物（71）木製品：用途不明具（5）棒状
第322図　出土遺物（72）木製品：用途不明具（6）棒状
第323図　出土遺物（73）木製品：用途不明具（7）板状（片刃状）
第324図　出土遺物（74）木製品：用途不明具（8）板状
第325図　出土遺物（75）木製品：用途不明具（9）板状
第326図　出土遺物（76）木製品：用途不明具（10）
第327図　出土遺物（77）木製品：用途不明具（11）
第328図　出土遺物（78）木製品：漆器椀等点
第329図　出土遺物（79）木製品：下駄等真
第330図　出土遺物（80）銭貨品
第331図　出土遺物（81）銅製品
第332図　出土遺物（82）石製品（1）硯石・縄
第333図　出土遺物（83）石製品（2）
第334図　出土遺物（84）土錘（1）
第335図　出土遺物（85）土錘（2）
第336図　出土遺物（86）土錘（3）
第337図　出土遺物（87）銭貨（1）
第338図　出土遺物（88）銭貨（2）
第339図　出土遺物（89）銭貨（3）
第340図　自然科学分析（1）木材（1）
第341図　自然科学分析（2）木材（2）
第342図　自然科学分析（3）種実遺体・葉（1）
第343図　自然科学分析（4）種実遺体・葉（2）
第344図　遺跡周辺の地積図
第345図　『下井川遺跡調』にみる遺跡周辺の土壌図
第346図　地積図・土壌図から推測される堀跡の位置
第347図　調査区東部における堀・溝・道路跡変遷模式図
第348図　調査区南東部の溝跡配置図
第349図　井戸跡（C・D型）の細分類
第350図　『聖徳太子絵伝』にみる入魚
第351図　洲崎遺跡の丸木舟と八部隅の漁船
第352図　漁具と呪術具の類例
第353図　祇石台と的の類例

表目次

第1表　周辺遺跡地名表
第2表　井戸跡属性表
第3表　竪穴状遺構属性表
第4表　掘立柱建物跡属性表
第5表　性穴列属性表
第6表　土坑属性表
第7表　溝跡属性表
第8表　出土陶器属性表
第9表　出土木製品分類表
第10表　出土木製品属性表
第11表　出土金属製品属性表
第12表　出土祇石・硯属性表
第13表　出土礫石器属性表
第14表　出土土錘属性表
第15表　出土銭貨属性表
第16表　年輪年代測定結果
付図1　遺構配置図（全体図）
付図2　調査区北西部・北東部東側遺構配置図
付図3　陶金区中央南部遺構配置図

第１章　はじめに

第１節　調査に至る経過

秋田県は、大潟村に代表されるように全国有数の米どころとして知られている。県内での農業生産額をみても、米が全体の68.6％を占めており（平成９年度）、米に大きく依存した生産構造となっている。しかし県内の農業人口は年々減少傾向を示し、農業に携わる人の高齢化も進行しているのが現状である。このような中、県は国際化時代における農業・農村の新たな展開を目標に、農業で自立できるたくましい経営体の実現を目指して低コスト水田営農緊急対策事業、新規就農総合対策事業等の様々な事業を行っている。

井川町浜井川地区では担い手育成基盤整備事業の一環として、平成７年から13年度（予定）にかけてほ場整備事業が計画された。事業区域内には遺跡が存在する可能性があったため、秋田県教育庁文化課では、平成８年度に３度にわたる分布・試掘調査を行った。この結果、周知の遺跡である洲崎遺跡が本区域内に存在することを明らかとした。そして同年度中に整備事業のうち先行して建設されるポンプ場に係る区域について文化課が立ち会い調査を実施している。平成９年度に入り、秋田県埋蔵文化財センターでは当該地区の範囲確認調査を実施し、中世の集落遺跡であることを明確にした。秋田県教育委員会では、事業主体者である農政部との協議の結果、削平（切土）を免れない地区については全面的に精査を行い、記録保存することとし、ポンプ場に付帯する排水路・パイプライン開削地区（第９図下参照）を平成９年度に、その他の地区については平成10年度にそれぞれ発掘調査を行うことにしたものである。

第２節　調査要項

遺　跡　名　洲崎（すざき）遺跡　（略号：４ＳＺ）
所　在　地　秋田県南秋田郡井川町浜井川字洲崎304・苗代堰78～107外
遺跡状況　水田・畑地
調査対象面積　28,450㎡（平成９年度350㎡、平成10年度28,100㎡）
調査面積　29,260㎡（平成９年度620㎡、平成10年度28,640㎡）
遺跡の性格　中世：集落跡
　　縄文時代　弥生時代　平安時代　近世：散布地
遺跡の時期　縄文時代　弥生時代　平安時代　中世　近世
調査目的　県営ほ場整備事業（浜井川地区）に係る事前発掘調査
調査主体者　秋田県教育委員会
調査期間　平成９年度　11月17日～12月５日（範囲確認調査期間を含む）
　　平成10年度　５月６日～10月30日

調　査　員　平成９年度

高橋　学　（秋田県埋蔵文化財センター調査課学芸主事）

泉田　健　（秋田県埋蔵文化財センター調査課学芸主事）

三浦良隆（秋田県埋蔵文化財センター調査課文化財主事、
由利町教育委員会派遣職員）

村上義直（秋田県埋蔵文化財センター調査課非常勤職員、現：同課文化財主事）

工藤直子（秋田県埋蔵文化財センター調査課非常勤職員）

熊谷　誠　（秋田県埋蔵文化財センター調査課非常勤職員）

安原　誠　（秋田県埋蔵文化財センター調査課非常勤職員、
現：宮古市教育委員会文化財調査員）

小西秀平（秋田県埋蔵文化財センター調査課非常勤職員）

平成10年度

高橋　学　（秋田県埋蔵文化財センター調査課学芸主事）

波邊慎一（秋田県埋蔵文化財センター調査課学芸主事）

小山有希（秋田県埋蔵文化財センター調査課文化財主事）

工藤直子（秋田県埋蔵文化財センター調査課非常勤職員）

山根勇人（秋田県埋蔵文化財センター調査課非常勤職員）

平成11年度

高橋　学　（秋田県教育庁払田柵跡調査事務所学芸主事）

小山有希（秋田県埋蔵文化財センター調査課文化財主事）

工藤直子（秋田県埋蔵文化財センター調査課非常勤職員）

調査総務担当　平成９年度

藤肥良清（秋田県埋蔵文化財センター総務課主査、
現：秋田県教育庁福利課課長補佐）

佐藤幸嗣（秋田県埋蔵文化財センター総務課主事）

須田輝樹（秋田県埋蔵文化財センター総務課主事、現：秋田県立図書館主事）

平成10年度

菅原　晃　（秋田県埋蔵文化財センター総務課主査）

佐藤幸嗣（秋田県埋蔵文化財センター総務課主事、現：秋田県教育庁福利課主事）

八文字隆（秋田県埋蔵文化財センター総務課主事）

平成11年度

菅原　晃　（秋田県埋蔵文化財センター総務課主査）

佐々木敬隆（秋田県埋蔵文化財センター総務課主事）

八文字隆（秋田県埋蔵文化財センター総務課主事）

調査協力機関　秋田県秋田農林事務所

井川町役場　井川町教育委員会

第２章　遺跡の概要

第１節　遺跡の位置と立地

洲崎遺跡の所在する秋田県南秋田郡井川町は、八郎潟残存湖東岸南部に位置する。町名となっている河川「井川」は、東部山岳地帯の俎山(721.8m)の北斜面、務沢から水源を発する。上流・中流・下流部ではそれぞれ田代川、菅生川、赤沢川が合流し、坂本・北川尻・浜井川・今戸などの諸地域を通り、八郎潟残存湖に向かって西流する。

遺跡は井川町浜井川の新屋敷集落西側に隣接し、八郎潟残存湖岸から約500m東、井川河口域左岸に立地している。遺跡の標高は１～1.7mである。八郎湖の湖岸干拓は、古くは明治20年代から30年代にかけて今戸地区、浜井川地区で行われた。昭和32～42年には国の直轄事業として「国営八郎潟干拓事業」が行われ、湖岸東部の干拓が昭和35年に着工し今の姿となった。また干拓事業の一環として昭和37～39年には井川の河川改修が行われ、坂本から残存湖岸まで整備されている。

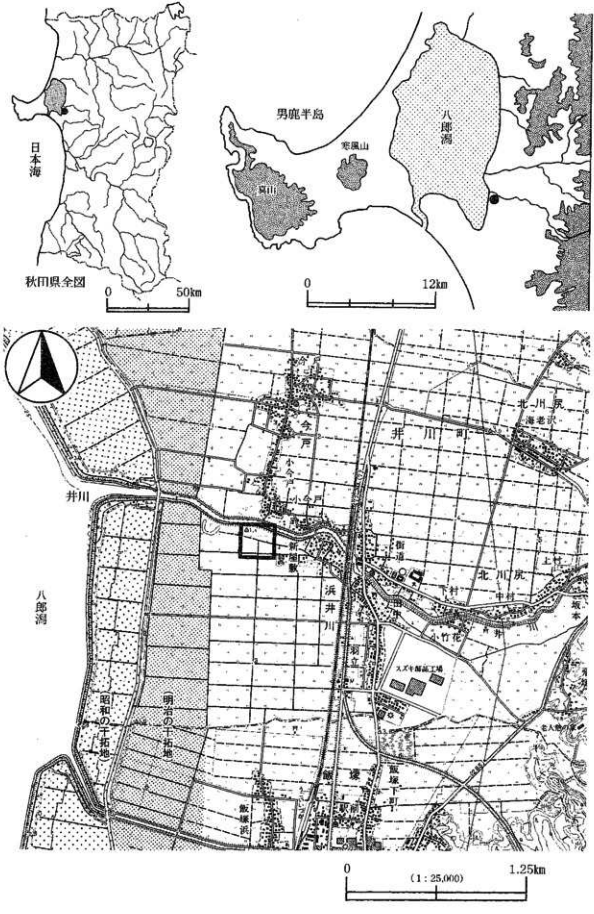
なお２度の大きな干拓の位置・範囲については第１図のスクリーントーン（網点）を参照されたい。これによると干拓以前の湖岸線から遺跡までは約200mの距離となる。

遺跡周辺の地形は東部山岳地帯から八郎潟残存湖に向けて山地、丘陵地、低地に分けられる。『土地分類基本調査　五城目』によると、寺沢から赤沢にかけての区域には天徳寺層、井川町中央部には笹岡層、新間・小泉・飛塚・大野地には潟西層が広がる。五城目町森山(325.4m)には森山火山岩類の主体をなす角閃石石英安山岩（角閃安山岩）がみられる。また網木沢・赤沢・大麦・八田大倉には段丘堆積物、丘陵地と八郎潟残存湖の間の低地には沖積堆積物が広く分布する。遺跡は井川による河成沖積層と湖成沖積層の沖積堆積物による砂層で形成されており、琴丘町鯉川より秋田市金足まで広がる湖東沖積低地の一部をなす。

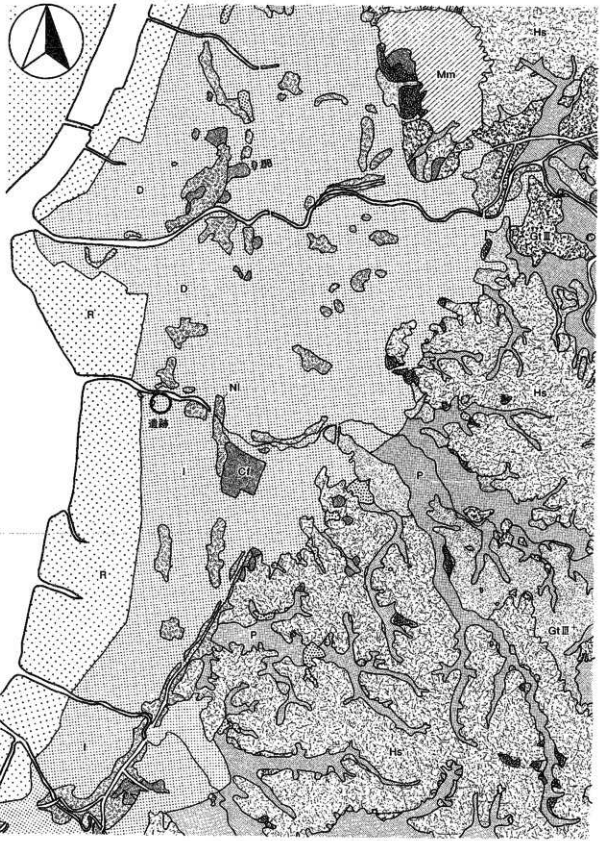
第２節　歴史的環境

八郎潟残存湖南東部には、現存している板碑・五輪塔などが数多く、また井川、馬場目川、妹川等の八郎潟調整池に注ぐ各河川流域には中世の遺跡、城館跡が多数確認されている。本遺跡の性格を理解するため、ここでは八郎潟南東部に位置する中世の板碑と城館跡を概観してみる。なお遺跡名の次の〔　〕内数字は、『秋田県遺跡地図（中央版）』に登録されている地図番号であり、31は井川町を指す。この番号は第４図と第１表にそれぞれ対応する。

板碑・五輪塔は秋田県内でも特に男鹿、南秋地区に密集している。八郎潟南東部に位置する板碑・五輪塔は、五城目町の森山に産する角閃安山岩を利用したものが多く、板碑の大きさは高さ1m、幅50cm、厚さ40cm程度のものが多い。洲崎遺跡の所在する井川町では31基が確認され、浜井川・今戸に密集している。本遺跡に隣接する新屋敷集落では、新屋敷板碑〔31-10、第５図写真〕、新屋敷五輪塔〔31-11〕が周知されている。板碑は７基確認され、建武２(1335)年～貞和３(1347)年の紀年銘をもつ角閃安山岩の自然石板碑である。

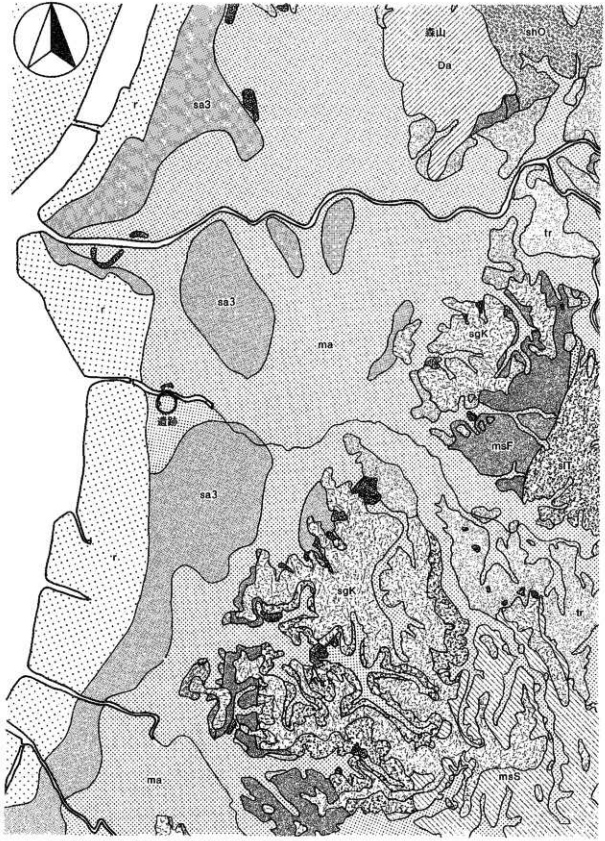

日本海
秋田県全図
0
50km
男鹿半島
八郎潟
寒風山
真山
0
12km
井川
八郎潟
浜井川
昭和の干拓地
明治の干拓地
北川尻
0
(1：25,000)
1.25km

第１図　洲崎遺跡の位置



I(渕岸平野)、D(三角州)、R(干拓地)、NI(自然堤防)
HS(丘陵地Ⅱ)、P(谷底平野)、Gt Ⅲ"(砂礫段丘Ⅲ")
Mm(中起伏山地)

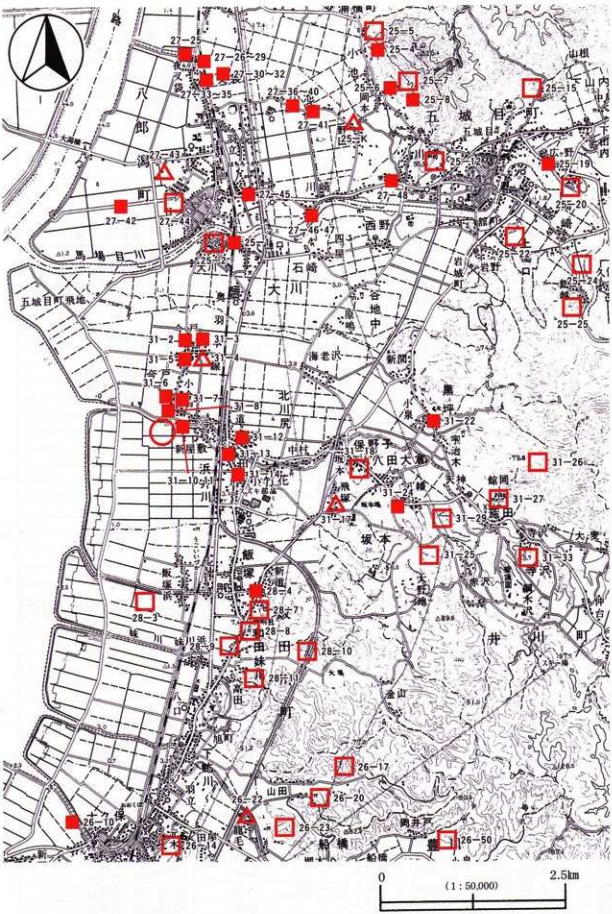
第2図　遺跡周辺の地形分類図



ma（泥が堆積物）、sa3（砂が堆積物3）、r（泥・砂および礫）
sgK（砂礫層）、msF（泥岩）、tr（砂および礫）、Da（石英安山岩）
shO（珪質頁岩）、siT（シルト岩）、msS（泥岩）

0　2.5km
（1：50,000）

第３図　遺跡周辺の表層地質図



第４図　洲崎遺跡周辺の中世遺跡位置図

第1表　周辺遺跡地名表

地図番号	遺　跡　名	所　在　地	種　類	遺　構　・　遺　物
25-1	板碑	五城目町大川字東屋布	板碑	種字、伝康永の碑
25-2	大川城	五城目町大川字東屋布	館跡	板碑
25-4	三石阿弥陀三尊塔	五城目町小池字森山下	信仰碑	種字、元文2年6月
25-5	東谷寺跡	五城目町小池字森山下	寺院跡	石造物
25-6	板碑	五城目町小池字森山下	板碑	種字
25-7	岡本城	五城目町小池字森山下	館跡	
25-8	板碑	五城目町小池字森山下	板碑	種字、貞治5年
25-12	細越城	五城目町小池字岡本下台	館跡	帯郭
25-15	砂沢城	五城目町字羽黒前	館跡	
25-19	板碑	五城目町高崎字広ヶ野	板碑	板碑1基
25-20	広ヶ野館	五城目町富津内下山内字奈良崎	館跡	土塁、空堀
25-22	雀館	五城目町高崎字八田	館跡	青磁片、黄瀬戸片、礎石
25-24	熊野台	五城目町高崎字熊野台	館跡	井戸跡
25-25	館越館	五城目町館越字館廻	館跡	空堀、帯郭
25-K	北	五城目町野田字北	集落跡	平成11年調査、井戸・便所跡確認
26-10	町後碑	昭和町大久保字町後	板碑	応永20年
26-14	元木館	昭和町豊川館毛字開沢	館跡	
26-17	八幡台	昭和町豊川山田字豊沢	寺院跡	五輪塔風空輪部
26-20	山田館	昭和町豊川山田字滝の沢、砂子沢	館跡	焼米、糸巳受け匪片
26-22	千刈田	昭和町豊川熊毛字千刈田	遺物包含地	石鏃、須恵器片、銭貨
26-23	極楽館	昭和町豊川熊毛字塩辛田他	館跡	主郭、帯郭、空堀等
26-50	岡井戸館	昭和町豊川岡井戸字前田外	館跡	帯郭数段
27-25	後谷地供和5年碑	八郎潟町夜叉袋字後谷地	板碑	
27-26～29	一向堂碑Ⅰ－Ⅳ	八郎潟町夜叉袋字一向堂	板碑	
27-30	川原崎碑Ⅰ	八郎潟町夜叉袋字川原崎	板碑	
27-31	川原崎文和2年碑	八郎潟町夜叉袋字川原崎	板碑	
27-32	川原崎文和4年碑	八郎潟町夜叉袋字川原崎	板碑	
27-33	地蔵畑供和5年碑	八郎潟町夜叉袋字　向堂	板碑	
27-34	地蔵畑供和碑	八郎潟町夜叉袋字一向堂	板碑	
27-35	地蔵畑碑Ⅰ	八郎潟町京又字一向堂	板碑	
27-36～40	中島碑Ⅰ～Ⅴ	八郎潟町小池字中島	板碑	
27-41	豊戸家碑群	八郎潟町小池字豊戸家	板碑	
27-42	浦沼碑	八郎潟町字新島	板碑	
27-43	浦沼	八郎潟町字浦沼	遺物包含地	土師器、須恵器、陶器、陶磁器
27-44	押切城	八郎潟町字中嶋、字嶋ノ内	平城	
27-45	上昼根延文碑	八郎潟町字上昼根	板碑	
27-46	前川原供和2年碑	八郎潟町川崎字前川原	板碑	
27-47	前川原碑Ⅰ	八郎潟町川崎字前川原	板碑	
27-48	貝保碑	八郎潟町川崎字貝保	板碑	
28-3	観音寺	飯田川町飯塚字観音尻	寺院跡	礎石、板碑
28-4	熊塚神明社観音堂	飯田川町飯塚字中山	建築	板碑（供和3年紀年銘）
28-7	小玉館	飯田川町飯塚字水神畑	館跡	帯郭
28-8	築掛館	飯田川町飯塚字僧ノ沢	館跡	帯郭、空堀、板碑（南北朝紀年）
28-9	鷲尾館	飯田川町和田蛙川字坂の下	館跡	帯郭、空堀
28-10	鹿来館	飯田川町和田蛙川字鹿来	館跡	帯郭、空堀
28-11	鬼王館	飯田川町和田蛙川字大宮沢	館跡	帯郭、空堀、段築
31-2	実相院板碑	井川町今戸字寺内	板碑	角閃安山岩（自然石）
31-3	熊野神社板碑	井川町今戸字寺内	板碑	角閃安山岩（自然石）
31-4	寺ノ内	井川町今戸字寺内	遺物包含地	銭貨（開元通寶、治平通寶他）
31-5	賢蔵院板碑	井川町今戸家ノ後	板碑	角閃安山岩（自然石）
31-6・7	小今戸板碑Ⅰ・Ⅱ	井川町今戸字小今戸・力千田	板碑	角閃安山岩（自然石）
31-8	小今戸板碑3	井川町今戸字小今戸	板碑	角閃安山岩（自然石）
31-11	新墨敷五輪塔	井川町浜井川字前代堰	五輪塔	火山岩、五輪塔（地・水・火輪）
31-12	資料館前板碑	井川町北川尻字海老沢樋ノ口	板碑	角閃安山岩（自然石）

地図番号	遺　跡　名	所　在　地	種　類	遺　構　・　遺　物
31-13	田中神明社板碑	井川町浜井川字家の東	板碑	角閃安山岩（自然石）
31-14	羽立伊勢堂板碑	井川町浜井川字家の東	板碑	輝石安山岩（加工岩）
31-14	山中神明社板碑	井川町浜井川字家の東	板碑	角閃安山岩（自然石）
31-17	飛塚Ⅰ	井川町坂本字飛塚	窯跡	鉢、壺破片、擂鉢破片等
31-18	坂本湊城	井川町坂本字山崎	館跡	
31-22	乗江院宝篋印塔	井川町黒坪字小泉	宝篋印塔	基礎、塔身、笠
31-24	八幡神社板碑	井川町八田大倉字八幡	板碑	角閃安山岩（自然石）
31-25	比丘尼館Ⅰ	井川町赤沢字稲田	館跡	
31-26	比丘尼館Ⅱ	井川町宇治木字宇治木沢	館跡	
31-27	館岡館	井川町菟田字羽根田	館跡	腰郭、帯郭、空堀
31-29	築館	井川町九田大倉字南台	館跡	空堀、土塁
31-33	味噌野	井川町寺沢字味噌野	寺院跡	

井川流域には８つの城館跡がある。井川町坂本の坂本湊城〔31-18〕からは井戸跡が発見され、井戸枠内からは「穀類、わら灰、木杯」が出土し、他にも土師器、須恵器、刀子、青磁・古瀬戸の陶磁器片が採集されている。城跡の南東約900m、八田大倉の八幡神社境内には康永３（1344）年の紀年銘をもつ八幡神社板碑〔31-24〕が確認されている。館岡館〔31-27〕は大麦丘陵南西端に築かれ、郭内からは銅製香炉、西端麓からは土師質骨蔵器が出土している。井川流域には他に築館〔31-29〕、寺跡と伝えられる比丘尼館Ⅰ〔31-25〕のほか、上流域に比丘尼館Ⅱ〔31-26〕、井内館〔31-36〕、脇の館〔31-35〕、日暮館〔31-37〕が構築されている。

森山付近には岡本城〔25-7〕と寺院跡である東谷寺跡〔25-5〕があり、近くに貞和５（1249）年銘の板碑〔25-8〕が確認されている。また北遺跡〔25-K〕は新しく発見された遺跡で、平成11年に調査が行われ、中世の井戸跡・便所跡等が検出されている。さらに森山から八郎潟にかけて86基ほどの板碑〔27-25～41〕が分布し、特に萱戸家碑群〔27-41〕には約70基が集中している。

妹川流域に位置する飯田川町和田妹川の鬼王館〔28-11〕では、空堀、郭が確認され、焼米、唐津系陶片が採集されている。鹿来館〔28-10〕は鬼王館の北東500mに位置する。館跡内を国道７号線が通り、国道の西側に主郭の一部がある。平成11年度に館跡東側の縁辺部で発掘調査が行われた。空堀、小郭、掘立柱建物跡、竪穴状遺構、柱穴様ピットが検出され、空堀は調査区外の西側、国道７号線に延びていることが確認された。遺物は陶磁器、土師器が出土している。鬼王館の北には小玉館〔28-7〕、築掛館〔28-8〕、鷲尾館〔28-9〕が位置し、飯塚神明社観音堂〔28-4〕と寺院跡である観音寺〔28-3〕にはそれぞれ板碑が確認されている。飯塚神明社観音堂〔28-4〕の板碑には、貞和３（1347）年の紀年銘がある。

八郎潟南東部に位置する城館跡は、平城である八郎潟町中嶋の押切城〔27-44〕を除けば、そのほとんどが尾根や丘陵などの自然地形を利用した山城である。それに対して板碑・五輪塔は、城館跡と八郎潟に挟まれた低地に多く分布している。また紀年銘のある板碑をみると、貞和から文和（1345～1355）年間にかけてのものが多数を占める。周辺の五城目町、飯田川町においても同時期の板碑が多数確認されている。

新屋敷板碑群（東→）
後方に遺跡が位置

同上、３基並んだ板碑

旧新屋敷舟着場跡標柱（南西→）
写真の後方が遺跡

第５図　新屋敷板碑群と旧新屋敷舟着場跡標柱

第３節　調査・整理の方法と経過

１　調査区の設定（第８図下）

発掘調査は、調査区内に任意の一点を選定し、この原点を基準として座標北方向に基準線を設け、この基準線に直交する４m×４mのグリッドを設定した。グリッド杭は、東西方向に東からMA、MB、MC・・MS、MT、NA・・のアルファベット２文字をあて、南北方向には南から北に向かって昇順となる連続した２桁の数字をあて、その両者の組み合わせをグリット名とした。方眼杭に囲まれたグリットの呼称は、その南東隅に位置する杭を代表させている。原点である杭はMA50とした。

２　野外調査

検出した遺構は、その種別を問わず一連の番号を付している。１～33は平成９年に確認（うち１～３、26～33は排水路・パイプライン開削に係る調査実施）したものであり、34以降は平成10年の調査であることを表す。また柱穴跡（ＳＫＰ）は別個・単独で１から番号を付している。番号登録の後、遺構と断ずることのできなくなったものは、これをそれぞれ欠番としている。

遺構・遺物の実測は、原則的にグリット杭を基準とする簡易遣り方測量を採用している。調査の記録は図面・写真によった。遺構の平面・断面図は、基本的に１／20とした。遺構の分布が疎らなところについては平板実測も併用して１／40で行った箇所もある。

写真撮影は35㎜のネガカラーフィルム、リバーサルフィルムを中心に、ポラロイドや長期保存用のためモノクロフィルムを交え行った。

なお調査にあたっては、削平（切土）を免れない地区は全面的に精査を行い、盛土の地区については、遺構プラン確認のみで平面図作成後、人力で埋め戻している箇所がある。第９図の精査要件図にその位置を示している。調査の進行と遺構確認状況、工事計画・施工とを照らし合わせ、最終的な調査面積29,260㎡のうち、完全に精査を行ったのは平成９年調査区620㎡と、平成10年調査区Ａ５箇所（8,730㎡）の計６箇所9,350㎡であり、残り19,910㎡（同区Ｂ）については、遺構確認段階で既に部材等が露出している遺構や、10m毎に埋設される暗渠にかかる遺構については精査を行い、その他は遺構プラン確認のみで留めている。

３　調査・整理の経過

野外の調査は、平成９年11月17日～12月５日と平成10年５月６日～10月30日の実働133日間であった。遺跡は平坦な水田地帯で、日光をさえぎる木陰もなく、八郎潟からの砂混じりの強い西風が吹くことも多かった。また大雨で遺跡全体が冠水したことも幾度となく体験した。低湿地のために、精査中も水が湧き、まさに水との戦いの日々であった。しかし、そのおかげで井戸・堀跡等から保存状態のよい木製品等が出土したのである。以下に調査日誌より抜粋して野外調査並びに室内整理の経過・遺跡に関連する事項について記述する。

平成９年度調査（範囲確認調査・本調査）

11月17日：範囲確認調査を開始。トレンチを入れ遺構を確認する。井戸跡等多数の遺構が確認される。28日：中央部北側に地割れ跡を確認する。12月１日：ポンプ場に付帯する排水路・パイプライン開削地区の本調査を開始する。対象となるのは、ＳＥ01～03Ａ・Ｂ、ＳＥ26～33井戸跡である。井戸跡は切り合いが多く、水がどんどん湧き、調査は難航する。３日：一面の雪の中、除雪後に精

査を行う。5日：更に雪が積もるが精査を続行し、本日で予定区域の調査を終了することができた。

平成10年度調査（本調査）

5月11日：調査第1日目。午前に作業員説明会、午後からジョレンによる精査を開始。井戸跡・柱穴などを早くも確認する。なお重機による表土除去は5月1日に開始しており、表土除去の終了した区域から遺構確認のジョレンがけを行ったものである。19日：委託による測量杭打設開始。23日：重機による表土除去が終了。27日：調査区南西部の精査を開始。

6月1日：南西部で確認した遺構の平板測量を開始。3日：本日梅雨入り。南東部の平板測量を開始。8日：調査区南東部の精査を本格的に開始。9日：東端の堀跡（確認時は大溝跡と呼称）SD49を確認、精査を開始。16日：測量杭打設終了。7月1日：SD49の精査完了。4日：調査区南西部の精査本格的に開始。24日：秋田魁新報夕刊に「井川・洲崎遺跡から100基を超す井戸」の記事が掲載。31日：調査区中央農道部分の表土除去終了、これで調査区全域の表土除去完了。

8月20日：北端中央部の精査本格的に開始。21日：北端中央部写真撮影。24日：北端部の精査本格的に開始。31日：北西部遺構精査開始。9月2日：北端部遺構精査完了。調査区南部、西部の暗渠開削部分の遺構精査開始。4日：愛知県陶磁資料館楢崎彰一氏，瀬戸市埋蔵文化財センター藤澤良祐氏から陶器（特に瀬戸美濃）を見ていただき、教示を受ける。28日：北西部遺構精査完了。

9月29日：北東部（旧畑地）遺構精査開始。10月6日：航空写真撮影。南西部（パイプライン西側）精査完了。10月12日：センターへ遺物輸送（1回目）、遺物量が多く、4tあるいは10tトラックで27日まで都合5回の輸送を行った。14日：南側（旧道路部南側）遺構精査完了。15日：文化庁小林克調査官来跡。23日：朝日新聞（秋田版）に「中世の港湾都市跡か」の見出しの記事掲載。24日：秋田魁新報に「中世版「北前船」の中継地？」の記事が掲載。26日：井戸跡SE04井戸側（枠）を重機により取り上げ、保存処理・展示のため県立博物館へ輸送。28日：北東部の遺構精査を完了。本日で全調査区遺構精査完了。30日：現場を撤収し、野外調査は終了した。

整理作業経過

室内整理は野外調査の終了後、平成10年11月から開始した。遺物の洗浄・注記、遺構の資料整理から取りかかる。平成10年は大量の木製品、井戸部材の分類、選別に終始した。11月17・18日：秋田魁新報（夕刊）に五城目町の小野一二氏が「洲崎遺跡は湯川湊か」を寄稿。

平成11年3月6・7日：平成10年度秋田県埋蔵文化財発掘調査報告会が男鹿市で開催される。洲崎遺跡の報告（発表者：小山・高橋）、遺物の展示を行う。15日発行の『出羽路』第124号（秋田県文化財保護協会）表紙に洲崎遺跡の航空写真が掲載される。

4月12日：SE587井戸部材の構造復元検証中に同井戸縦板の1枚に墨書のある木札が発見される。人魚や僧侶が見られ、後日（5月17日）この木札を「人魚供養札」と称することにした。30日：供養札と同じ井戸跡出土の樹皮付きの縦板を年輪年代測定のために奈良国立文化財研究所の光谷拓実氏宛に送付する。5月6日：その縦板の伐採年が1286年であることの連絡が入る。

5月25日：「“人魚供養札”発見」として、人魚供養札の記者発表が行われる。テレビ各社および全国・地方新聞社6社が取材に訪れる。テレビ朝日、NHKは即日全国ニュースで取り上げた。また同日、「人魚供養札」を保存処理のため委託業者に引き渡す。26日：新聞各社一斉に「人魚供養札」についての記事を掲載する。その見出しは、秋田魁新報「人魚描いた杉板発見　国内で初めて出土

1：井戸部材構造復元作業
2：井戸部材計測作業
3：収蔵庫での仮収蔵・保管状況
4：井戸部材実測作業(SE16 東面縦板)
5：井戸側に転用された丸木舟実測作業(SE587)

1

2

3

4

5

第6図　整理作業風景

鎌倉時代の供養札か」（1面トップ）、朝日新聞「人魚描いた木札発見」、読売新聞「最古の人魚図」など。６月１日にも秋田魁新報が「注目浴びる「人魚」図」の記事を掲載する。

６月２日：２枚目の墨書板が発見される。町割図を描いたものか（ＳＥ205井戸跡北面横板）。３日：井戸部材の計測中、くしゃみ、鼻水、涙目といったアレルギー症状が出る。木製品のカビによるものか？。11日：朝日新聞「日本最古の人魚図　祈祷に使う？　出来事描く？」の記事掲載。７月28日：井戸部材の構造復元検証・計測を終了する。29日：木簡３点見つかる（ＳＫＩ241）。８月17日：河北新報夕刊に岡田茂弘氏が「東北の人魚」と題する一文を寄稿。23日：「人魚供養札」の保存処理が終了し、埋蔵文化財センターに戻ってきた。

８月28日～10月11日にかけて、北上市立博物館で開催された平成11年度特別展「北の下駄」で洲崎遺跡出土の下駄が展示される。８月28日発行の同図録にも下駄の写真と説明文が掲載された。31日：年輪年代測定によりＳＥ291井戸跡から出土した短板の年輪年代は1287年と判明。ＳＥ587とほぼ同じ。

10月に入り遺構・遺物のトレースを開始する。６日：文化庁坂井秀弥調査官に遺物を見ていただく。19日：「秋田県生涯学習フェスティバル'99 inおおまがり」の協賛事業として「人魚、その姿」あらわる－井川町・洲崎遺跡の人魚供養札－展を秋田県埋蔵文化財センター特別収蔵庫にて開催（11月７日まで）。期間中の入場者数は312名にのぼった。20日：一般公開に伴う新聞記事も、秋田魁新報「「人魚の杉板」初公開」、朝日新聞「肉眼でも「人魚」十分わかります」、讀賣新聞「人魚の墨絵、一般公開」など。25日：鎌倉考古学研究所斉木秀雄氏から木製品について教示を得た。

11月14～16日：奈良国立文化財研究所光谷拓実氏を埋蔵文化財センターに招聘し、井戸出土の曲物と縦板等の年輪年代測定を行っていただく。25日発行の『木簡研究』第21号に「1998年出土の木簡」として洲崎遺跡の木簡が収録される。執筆は工藤直子。

平成12年１月～４月（予定）：県立博物館に人魚供養札をはじめとする木製品等が展示される。２月５日：岡田茂弘氏が東北歴史博物館館長講座「東北の人魚」において、洲崎遺跡の事例を紹介。３月４・５日：平成11年度秋田県埋蔵文化財発掘調査報告会が大曲市で開催される。洲崎遺跡の「人魚供養札」等の遺物、遺跡の写真パネルの展示を行う。18日：第12回郷土秋田を考える歴史講演会、『安藤（東）氏歴史紀行－発掘された安藤（東）氏の遺跡と秋田の中世－』が秋田市文化会館で開催、「井川町洲崎遺跡の発掘調査について」、担当の高橋がスライド報告を行う。

【参考文献】

秋田県『土地分類基本調査　五城目』1973(昭和48)年
秋田県教育委員会『秋田県遺跡地図(中央版)』1990(平成２)年
秋田県教育委員会『秋田県の中世城館』1981(昭和56)年
井川町『井川町史』1986(昭和61)年
八郎潟町『八郎潟町史』1977(昭和52)年
五城目町『五城目町史』1975(昭和50)年
奈良修介・磯村朝次郎「八郎潟周辺の板碑(１)」『秋田考古学』第３号　1955(昭和30)年
奈良修介・磯村朝次郎「八郎潟周辺の板碑(補遺１)」『秋田考古学』第５号　1956(昭和31)年

第３章　調査の記録

第１節　遺跡の調査履歴

洲崎遺跡は『秋田県遺跡地図(中央版)』には寺院跡として周知登録されている。これは江戸時代後期の紀行家で文人の菅江真澄(1754～1829年)の日記『のきのやまぶき』を端緒としているのである。文化８(1811)年５月21日の条には「金川山東伝寺の山寺は、浜井川の浦回なる湖のほとりより、むかしここにうつせり、その跡あたりには建武のころの碑多し」とあり、まさに洲崎周辺の地において江戸後期以前ここに寺があったとの記録が残されている。東伝寺は現在、飯田川町下虻川に所在する。

遺跡地図の根本台帳となる「秋田県遺跡カード」によると、昭和41年10月、小武海松四郎氏を調査員とする新産都市指定地域内に係る埋蔵文化財分布調査が当時の井川村内でも実施され、この時に真澄の記録を基に「寺院跡」としての洲崎遺跡が新規登録されたのである。その後、昭和62年12月10日にも伊藤裕一郎氏による分布調査がなされている。同氏による報告（摘要）には次のような記述がある。それは「寺があったとされるこの一画は、俗称石畑と呼ばれる砂利地でよく畑や水田として利用していると感心させられる。この地の北側となっている川底には石川理紀之助書『適産調』に「今の新屋布の墓の辺より今戸に渡る橋柱川中に今に在せり」とあり、昭和20年前半に小今戸の漁師達が船の動力化でスクリュウのぶつかる部分をもぐって切っている」とあり、ここに記されている橋柱が遺構として記載されている。なおこの段階では遺物の項は空欄である。

遺跡内において遺物が発見されたのは、平成８年11月の分布調査時が最初である。県文化課による分布・試掘調査においてＡ地区（本調査における遺跡北東部の旧畑地）とした箇所から青磁を１片採集とある。同年12月のポンプ場建設予定地内における試掘・立ち会い調査の結果報告によれば、「土師器・須恵器・陶器・漆塗り木片・鉄滓」が出土しているという。

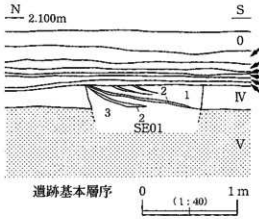
これら先人の成果を受け、平成９・10年に洲崎遺跡は本調査を迎えたのである。

第２節　遺跡の現況と基本層序

遺跡調査区の現況は大部分が水田であり、一部に畑地が見られる。畑地部分は第９図における平成10年調査区Ａ（網点）のうち、北側の北東部・中央北部・北西部の３箇所にあたる。ここは周囲の水田面（標高１～1.3m）より約50cm高く（標高1.4～1.7m）、水田が削平整地後に形成されたことを意味する。削平土については、地元の方の話を伺うところでは、西側の溜池（後で述べる遺跡西端の堀跡の可能性が高い）を埋めるために用意したものであり、３箇所の畑地部分は、前節で紹介した「石畑」と呼ばれる砂礫地でも特に礫が多く削土を断念したために残った所のようである。

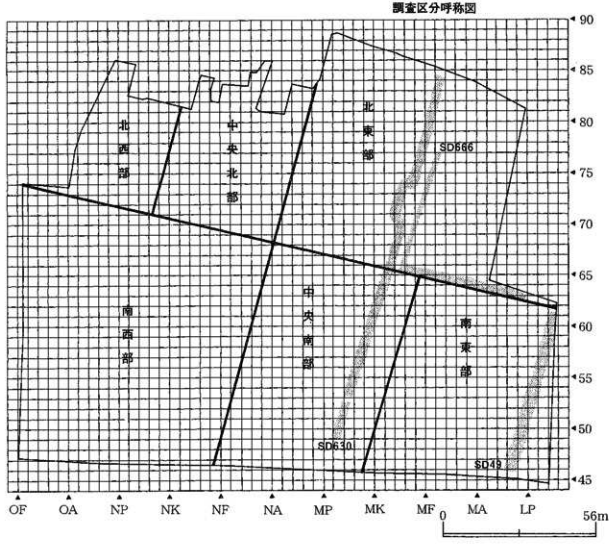
遺跡・調査区の基本層序を第８図上に示す。土層観察地点は調査区中央北部東側のＮＣ76グリッドであり、ＳＥ01井戸跡近辺に位置する。なお同図下にはグリッド配置図とあわせ、調査区分呼称図を付している。これは以下に述べる遺構等の位置関係を表すために、調査区を便宜的に５つに分けたものである。

第7図　遺跡調査区の範囲



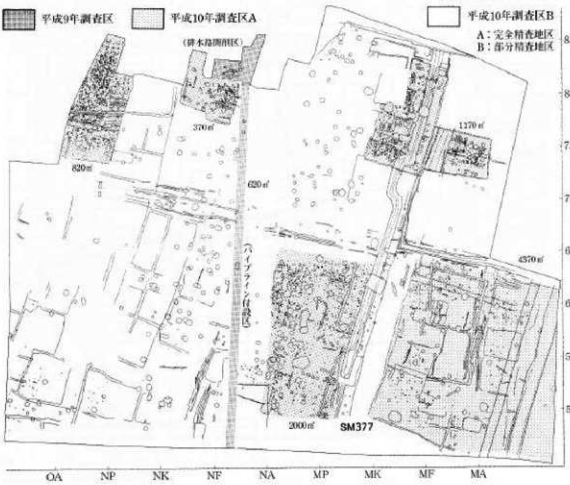
1~3はSE01堆積土であり、第34図に土層註記を掲載している。

0：現代の盛土
第Ⅰ層：表土・水田耕作土、層厚15cm前後
第Ⅱ層：明黄褐色(10YR6/6)砂層、堅く締まる、Ⅲ層との境明瞭、層厚10cm前後
第Ⅲ層：泥炭質層、締まりは全体にやや強い、同層の分布は調査区中央北部～北東部の一部のみであり、他では第Ⅱ層の下位には第Ⅳ層あるいは第Ⅴ層(地山)がくる、同層中には筋状の砂層が2～3枚挟まれ、a～dに細分ができる、層厚は20～25cm
遺構(SE01)との重複から同層の堆積は、中世あるいはそれ以降であり、古代以前の堆積層ではない
Ⅲ－ａ：オリーブ黒色(5Y2/2)泥炭質層、灰黒色に近い色調である
Ⅲ－ｂ：灰オリーブ色(5Y4/2)砂層
Ⅲ－ｃ：オリーブ黒色(5Y3/2)泥炭質層、褐色の植物根を多く観察できる、径1～2cm大の小礫やや多く含む
Ⅲ－ｄ：黒色(5Y2/1)砂層、径0.5～1cm大の小礫をC層よりやや多く含む
第Ⅳ層：オリーブ黒色(10Y3/2)砂層、地山漸移層、灰青色(いわば青砂状)に見える、Ⅴ層との境不明瞭、層厚20cm前後
第Ⅴ層：暗緑灰色土(10GY4/1)砂層、地山砂層、観察地点によっては赤みを帯びた砂層(赤砂層)であったり、Ⅳ層のような青砂層、または小礫が卓越した砂礫層など様々である



第８図　基本層序・グリッド配置図

遺跡全景(西方上空より)



第9図　調査精査区分要件図

第３節　縄文～古代の遺物

中世以前における洲崎遺跡は、縄文・弥生・平安時代の遺物が認められるが、当該各時期の明確な遺構は検出されなかった。

1　縄文・弥生時代

（１）土器・土製品（第10図）

今回の調査で出土した縄文土器・弥生土器は67点ですべて破片資料である。井戸跡や堀・溝跡から出土したものも多いが、遺構と共伴するものではなく遺構が埋没する過程において周辺から流れ込んだものと考えられる。ここでは、出土した縄文土器・弥生土器のなかで時期や文様構成が分かるものと、時期は明確ではないが、粗製土器を取り上げる。

縄文土器では後期の深鉢が３点出土している（１～３）。１は無文地に隆帯を張り付けて楕円形の区画文を構成し、沈線が隆帯に沿って施される。隆帯による区画文の下には沈線文が展開するが、文様構成は不明である。内外面には炭化物が付着する。２・３は波状口縁をもつもので、口縁に沿って刻みや縄文帯がめぐる。２は口縁下に磨消縄文による文様が展開する。後期中葉の十腰内Ⅲ式に相当すると考えられる。

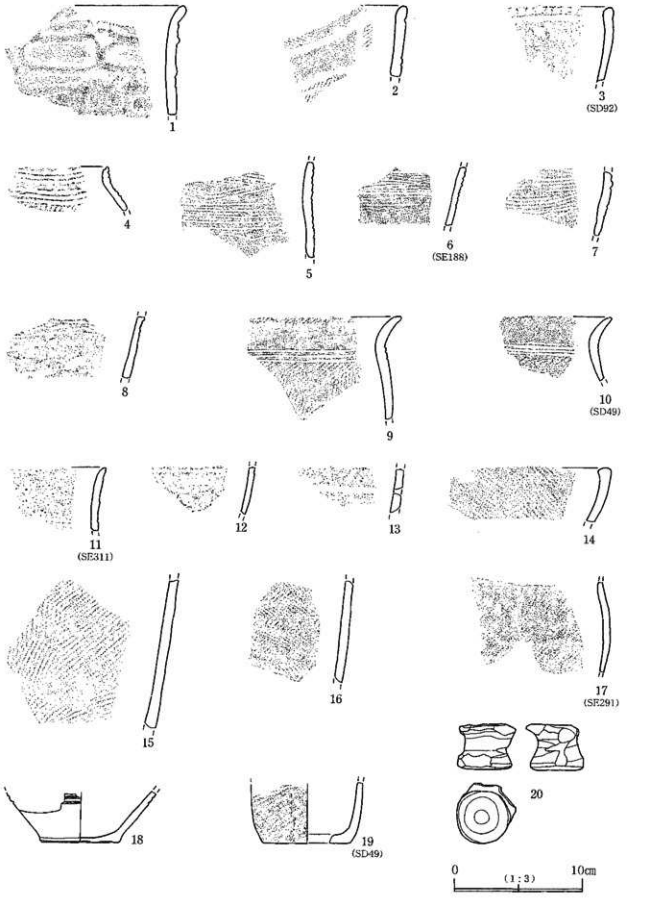
弥生土器では甕形土器が６点出土している。９・10は口縁部から体部にかけて斜位、縦位に刷毛目調整された後、体部と口縁部端面には斜行縄文が、口縁部と体部の境には横位平行沈線が３本施文される。４は刷毛目調整がなく、口縁部に３本、口縁部と体部との境に３本の横位平行沈線が施される。５～７はＬＲ縄文施文後に横方向に展開する沈線文と２～５本の平行沈線文、鋸歯文が施される。８には縄文施文がみられないが、５～７と類似した文様構成をもつものと考えられる。11は刷毛目調整は見られず、口縁部と体部の境に沈線が施されている。18は内外面が丁寧に磨かれ、胴部下半に２本の沈線文が施される。

粗製土器は、出土土器の大部分を占める。施文される縄文は斜行縄文が多い（14・15）が、16のように非結節の羽状縄文が施されたものもある。14は深鉢で、口縁部が内側に肥厚している。表面にはＲＬ斜行縄文が施され、内面は丁寧に磨かれる。19は底部から直線的に立ち上がる土器である。ＬＲ斜行縄文が底部付近まで施され、内面は横方向に丁寧に磨かれる。また焼成後外面から穿孔を施したものがみられる（13）

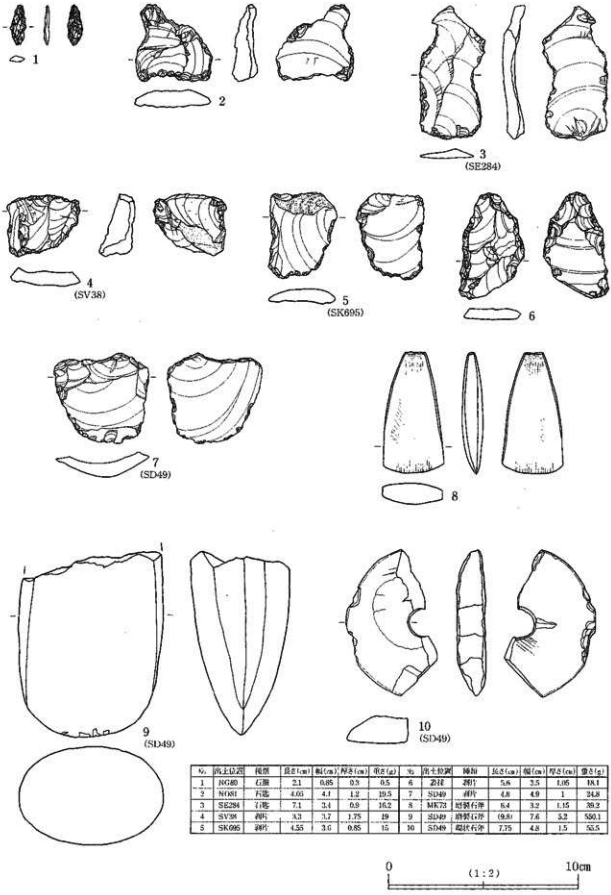
土製品は１点出土している（20）。形態から土偶の脚部（中実）である可能性が考えられる。底は中心に向かってやや肥厚し、器外面は丁寧に磨かれる。時期は不明である。

（２）石器（第11図）

石鏃が１点（１）、石匙が２点（２・３）、剥片石器が４点（４～７）、磨製石斧が２点（８・９）、環状石斧が１点（10）出土している。磨製石斧は２点とも丁寧に磨かれ、刃部を作りだしている。環状石製品は欠損した状態で出土した。半分のみ残っている。

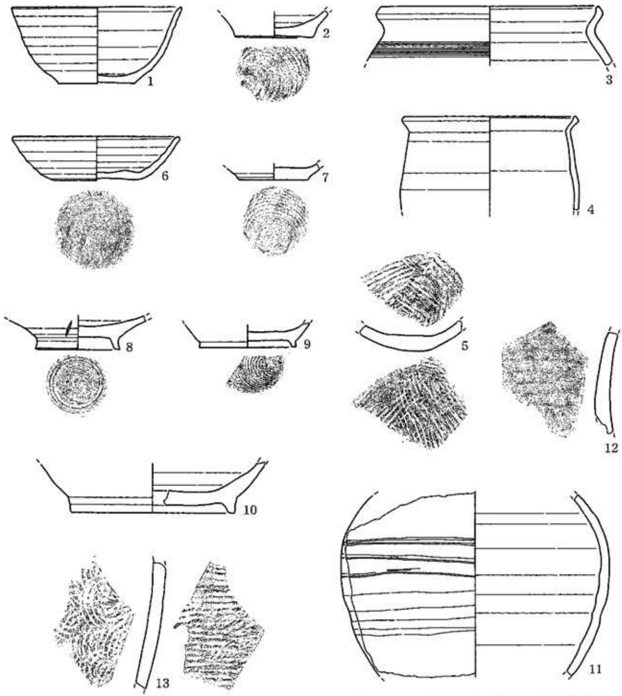


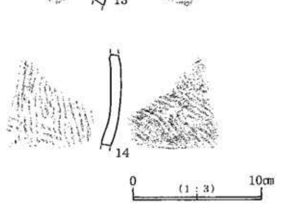
第10図　縄文・弥生時代の出土遺物（1）



No.	出土位置	種類	長さ(cm)	幅(cm)	厚さ(cm)	重さ(g)	No.	出土位置	種類	長さ(cm)	幅(cm)	厚さ(cm)	重さ(g)
1	NG80	石錘	2.1	0.85	0.3	0.5	6	表採	剥片	5.6	2.5	1.05	10.1
2	NG81	石錘	4.05	4.1	1.2	19.5	7	SD49	剥片	4.8	4.9	1	24.8
3	SE284	石錘	7.1	3.4	0.9	35.2	8	MK72	磨製石斧	9.4	3.2	1.15	39.2
4	SV38	剥片	3.3	3.7	1.75	19	9	SD49	磨製石斧	(9.8)	7.6	3.2	550.1
5	SK695	剥片	4.55	3.6	0.85	15	10	SD49	敲石斧	7.75	4.8	1.5	55.5

第11図　縄文・弥生時代の出土遺物（２）





番号	器　種	出土位置	備考、法量
1	土師器坏	LQ57	口13.3 底6.0 高3.1
2	土師器坏	SK08確認面	底6.0 高(2.0)
3	土師器甕	SD49	口17.0 胴(19.4) 高(4.7)
4	土師器甕	SD49	口13.4 胴14.1 高(7.9)
5	土師器甕	SD49	砲弾形底部、煤付着
6	須恵器坏	OB50地山直上	口13.0 底7.0 高3.4
7	須恵器坏	SK1679	底5.4 高(1.3)
8	須恵器高台付坏	MF55	底6.5 高(2.3)
9	須恵器高台付坏	表採	底7.6 高(1.9)
10	須恵器長頸瓶底部	SD49	底13.0 高(4.0)
11	須恵器長頸瓶胴部	SD49	胴21.2 高(14.7)
12	須恵器長頸瓶頸部	NK65	破片
13	須恵器甕	SD620	外平行叩き、内青海波当具
14	須恵器甕	SE04	外平行叩き、内平行当具

第12図　古代の出土遺物

２　平安時代（第12図）

平安時代に属する遺物は、土師器・須恵器がある。土師器（１～５）は、坏類11点（９～10個体）、甕類17点（13～16個体）を確認しており、全てロクロ使用の個体である。底部の残る１・２は回転糸切り痕をもつ。５はいわゆる砲弾形の長胴甕底部付近の破片である。須恵器（６～14）は坏類６点（個体）、甕類４点（個体）、壺類11点（７・８個体）である。底部を残す坏類には土師器同様に回転糸切り痕を留める。また10～12はそれぞれが別個体ではあるが、長頸壺の底部・胴部・頸部にあたると思われる。壺類には、小破片で図示してはいないが、小型の短頸壺も見られる。なお８の体部下半には「｜」状の篦書が観察できる。

これらの遺物は、ＳＤ49・706堀跡等の中世期遺構内出土も存在するが、概ね調査区南東区域（一部北東区域）を中心に散在するような分布を示している。当該期の遺構が認められないことと、出土点数から見て、遺跡外東方域からの流入と判断できよう。土器の製作年代は、土師器・須恵器坏類と砲弾形の土師器などから９世紀中葉～後葉を前後する時期と思われる。

第４節　検出遺構

平成９・10年に実施した調査において確認・検出した遺構は、次のとおりである。

井戸跡312基、掘立柱建物跡115棟、竪穴状遺構18基、土坑297基、堀跡３条・溝跡231条、道路跡３条、柱穴列13条、畠跡３箇所、呼称不明の遺構２基、旧水田跡36箇所の他、掘立柱建物を構成する柱穴掘形から外れた柱穴が多数存在する。

これらの遺構は、出土遺物がなく判然としないものもあるが、近世以降である可能性をもつ遺構が１基（ＳＫＩ686）、また旧水田跡とした遺構は、近現代において整備された水田跡ではないかと推定している。他については全て中世において構築・廃棄された遺構と考えている。

１　井戸跡（第13～182図）

洲崎遺跡で確認した井戸跡は、312基に及ぶ。このうちプラン確認のみのものは41基であり、残り271基を精査したことになる。精査実施の有無は前述（第２章３節２）のように、工事によって削平を免れない遺構のみを掘り下げ調査した結果であり、プラン確認だけの井戸跡は盛土により保存されていることを意味する。

さて本遺跡の井戸跡は、基本的には曲物のみの井戸を除くと全て木組井戸と判断される。素掘り・石組等の井戸は存在しない。素掘り形状の井戸跡も認められるが、遺跡が砂層地であることと調査時における土層観察を含めた経験則から、それらは木組あるいは曲物の抜き取りと見ている。

各井戸跡は次のように分類の上、配列を定め、その挿図・写真は第14～182図に収録している。各属性についても以下の項目を198～223頁に掲載する。

なお本項で述べる井戸各部の名称については、第13図右上に模式図で示しておく。

《井戸跡の型式分類》

井戸跡は、井戸側の構造・形状により大きくＡ～Ｆの６型式に分類し、さらに用材・細部構造により１～４に細分類する。

Ａ型：２つに切断した丸木舟を縦方向内向きに合わせ、これを井戸側板に転用しているもの。

４基確認した。丸木舟はいずれも単材刳り抜きのものであり、舟底は平らとなる。４基ともそれぞれが別の舟を用いている。なお本型は転用された丸木舟のみを側に使用するものではなく、別個の縦板・横桟等を補強・保持部材として併用している。

Ｂ型：板材を縦方向に組んで並べるものであるが、この板材を保持する装置（横桟等）のないもの。

６基確認した。完成した井戸側の平面形状は方形（ＳＥ458など）、楕円状（ＳＥ593）、五角形（ＳＥ121）など様々であるが、抜き取り等で形状の不明確なものもある。

Ｃ型：四隅に立てた柱とその間の横桟で保持するもの。井戸側の平面形状は方形となる。

125基確認した。井戸側最外部に使用する保持用材は、板材と葦を簾状に組んだもの（以下では葦簾と表記）を縦方向に埋設する両者が確認できる。これを、１：板材を縦方向に埋設する縦板組、２：葦簾のもの、３：板材を横方向に埋設する横板組、４：抜き取りあるいは腐食等により用材の確認ができなかったもの、と４細分類する。１～３はそれぞれ単独で用いられる場合が多いが、希に複合する場合もある。この際にはＣ１＋２型と表記する。

Ｄ型：隅柱を伴わず、横桟を方形に複数段組んで保持するもの。井戸側の平面形状はＣ型と同じく方形である。

61基確認した。井戸側最外部に使用する保持用材は、Ｃ型と同様に１～４が存在する。

Ｅ型：曲物のみで構成するもの。

21基確認した。基本的には曲物を複数段積み上げる構造を取るものと思われるが、確認できた例はいずれも最下段の１つのみであった。なおＳＥ302は井戸側に大きな曲物を内部の水溜には小さな曲物を用いている事例である。掘形形状は、Ａ～Ｄ型は方形（隅丸方形を含む）あるいは円形（略円・楕円形を含む）であるが、本型はほぼ円・略円形を呈する。

Ｆ型：部材抜き取り・破壊等によりＡ～Ｅのいずれの型に納まるのか不明確なものをまとめた。

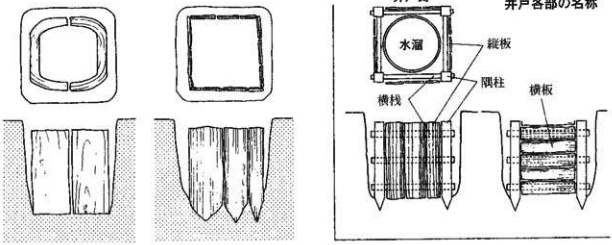
56基確認した。抜き取り形状から曲物を埋設したものも散見できるが、これが曲物のみのＥ型であるのか、Ａ～Ｄ型内部水溜の曲物であったのか、判断のつかないものはここに含めている。

《属性表記載項目》

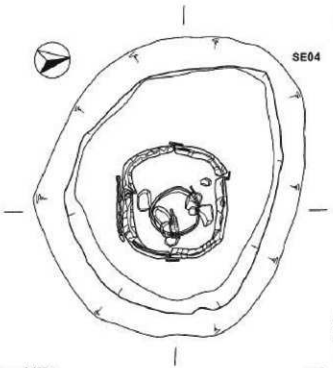
【検出位置】遺構検出位置をグリッド（複数に跨る場合は南あるいは東端の１グリッドのみ）で表記。【挿図】遺構挿図・写真等の初出図番号を表記。【重複】重複関係にある遺構を列記、遺構名のみは新旧不明であり、＞は本遺構が新しく、逆に＜は旧い。重複のない場合は本項目を削除。【分類】分類は上記参照。【廃棄時行為】廃棄時における部材の抜き取りの有無、礫・部材等の投げ込み・埋置及び堆積土の自然流入（水成堆積）か人為堆積かを表記。【掘形平面／規模】確認面での掘形の形状と規模を長径×短径（cm）で表記。【深さ／レベル】確認面から底面までの深さ（cm）及び底面レベルを海抜標高（m）で表示。【井戸側規模】井戸側で囲まれた内法寸法（長軸×短軸、cm）を表記。部材の残存状況により規模が不明確な場合は本項目を削除。【水溜施設】水溜に使用した器物（多くの場合曲物）の径（φ）あるいは一辺及び高さをcmで表示。該当する施設が認められない場合は本項目削除。【遺物】出土遺物を表記、種別のみの場合は堆積土・井戸側内出土であり、裏込め・掘形内出土は「裏込」を併記、種別の次の数字は掲載挿図番号を表示、293-5は第293図5の遺物を指す。【時期・備考】時期は出土遺物等で時期がある程度言及される場合のみ記載。時期に言及できない場合は、【備考】とする。

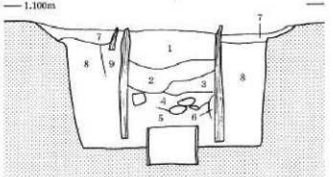
なお部材の材質については、自然木と表示のあるものについては広葉樹と思われ、その以外の記述のない材は水溜の曲物を含めて全てスギと判断している。

※検出位置・挿図・重複の項における表示の仕方、遺物番号の表示法は以下の遺構属性表でも同一である。



第13図　井戸跡分類模式図





SE04
1.オリーブ黒色(5Y3/1)礫混粘質土、地山を斑状に5%、褐色粒土2%、炭化物2%含む
2.黒褐色(10YR2/2)シルト層、多うしま植物からなる層、黒色土をブロック状に2%含む
3.黒色(5Y2/1)シルト層、グライ化地山をブロック状に10%含む
4.黒褐色(10YR3/1)シルト層、しまり弱、礫からなる層
5.黒褐色(2.5Y3/1)粘土質シルト層、しまり弱、大礫4個含む
6.暗オリーブ灰色(2.5GY3/1)砂層、オリーブ黒色シルト質土を斑状に20%含む
7.黒色(10YR4/1)砂層、黒褐色土を斑状に2%含む
8.黒褐色(2.5Y3/2)砂層、オリーブ黒色土を斑状に20%、地山を斑状に5%、炭化物2%含む
9.暗オリーブ灰色(2.5GY3/1)砂層、地山を斑状に20%含む

0　(1:40)　2m

写真1：SE04確認状況（東→）
平成９年の範囲確認調査時撮影、
この段階では板を円形に囲った
井戸と想定していた
2：同上土層堆積状況（西→）

1

2

第14図　井戸跡Ａ型（１）　SE04（１）全体図・写真

写真1：SE04　全景(西→)
2：水溜に使用の曲物検出状況(南西→)
3：遺物・礫出土状況(西→)
4：舟底に使用された円形の木栓(径約7cm、南西→)
5～7：SE04　取り上げ風景
7：舟材の継目に使用された木栓(⋈ 状、南東→)
大型の井戸側であるため、人力で取り上げができず、重機を使用して作業を進めた。

第15図　井戸跡Ａ型（２）　SE04（２）井戸跡写真

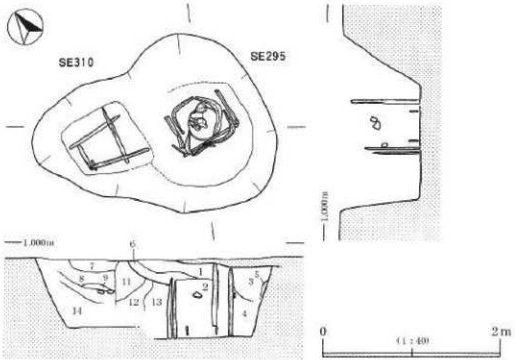
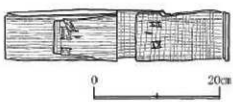


写真1：SE295水溜に使用の曲物（右：実測図）
2：SE310全景（南西→）

1



2

SE295
1.オリーブ黒色(5Y3/1)砂層、地山を斑状に5%・炭化物2%含む
2.黒褐色(2.5Y3/1)シルト層、地山を斑状に5%含む、木片散積か
3.黒褐色(10YR3/1)砂層、地山を斑状に5%・炭化物3%含む
4.暗オリーブ灰色(2.5GY3/1)砂層、オリーブ黒色土を斑状に10%含む
5.暗褐色(10YR3/3)砂層、地山20%・小礫2%含む
6.黒褐色(10YR3/2)砂層、地山を斑状に20%・炭化物1%含む

SE310
7.黒褐色(10YR3/2)砂層、しまり強、地山を斑状に5%・炭化物2%含む
8.黒褐色(10YR3/1)砂層、炭化物5%・地山5%含む
9.黒褐色(10YR3/2)砂層、地山を斑状に15%含む
10.オリーブ黒色(5Y3/1)砂層、しまり強、地山を斑状に10%・炭化物2%含む
11.黒褐色(2.5Y3/1)砂質[裏込土]、地山を斑状に15%・炭化物1%含む
12.黒色土(10YR4/4)[裏込土]、小礫含む、地山に近い
13.オリーブ黒色(5Y3/1)砂質[裏込土]、地山5%・小礫2%含む
14.暗オリーブ灰色(2.5GY4/1)砂層

第16図　井戸跡A型（3）　SE295（1）、SE310（D型）

1

2

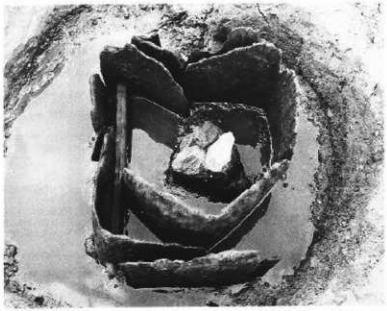
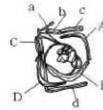
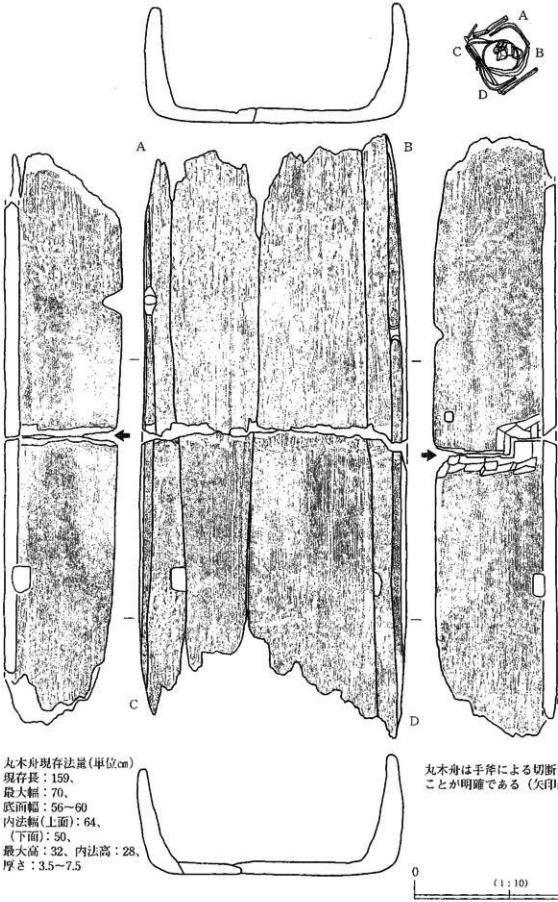

3

写真1：井戸側内に入れられている
礎・材(南→)
2：全景(北→)
3：全景(東→)



A～D：井戸側に転用された丸木舟
(第1図のA～Dに対応)
a～d：丸木舟の外側に配された縦板
a(53×12×1.6cm) b(57×17×4.0cm)
c(67×22×5.5cm) d(80×36×4.7cm)

第17図　井戸跡A型（4）　SE295（2）井戸跡写真

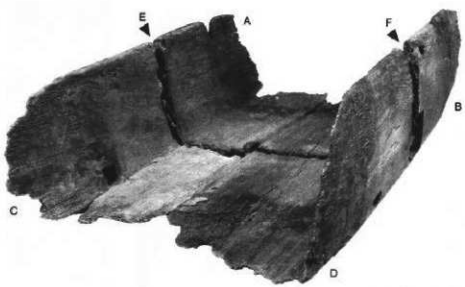


丸木舟現存法量(単位cm)
現存長：159、
最大幅：70、
底面幅：56～60
内法幅(上面)：64、
(下面)：50、
最大高：32、内法高：28、
厚さ：3.5～7.5

丸木舟は手斧による切断である
ことが明瞭である（矢印部分）

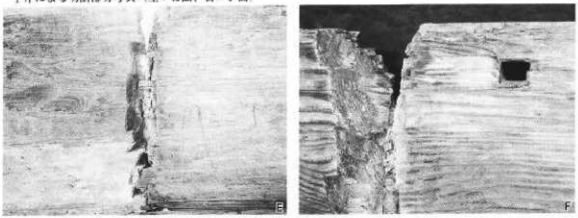
0　50cm
(1：10)

第18図　井戸跡Ａ型（５）　SE295（３）転用された丸木舟（１）

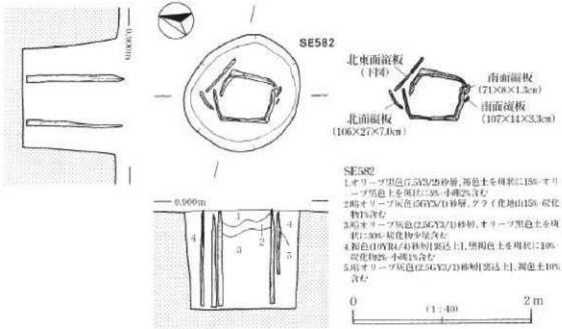


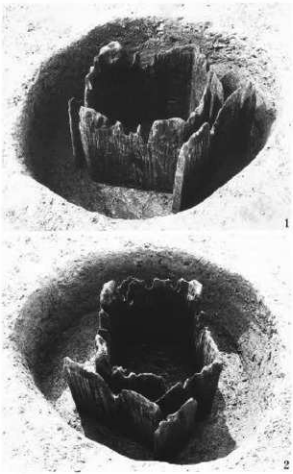
A～Dは第18図のA－Dに対応する

手斧による切断部分写真（左：E面、右：F面）



第19図　井戸跡A型（6）　SE295（4）転用された丸木舟（2）





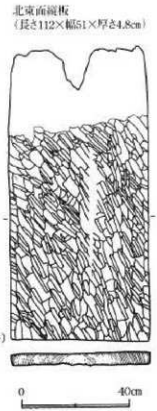
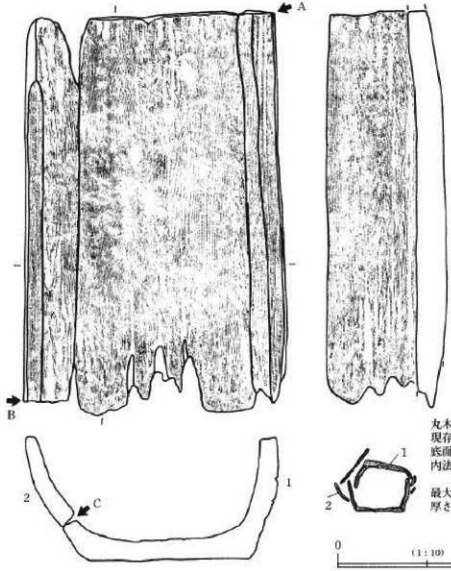


写真1：SE582 全景（東→）
2：同上（北→）

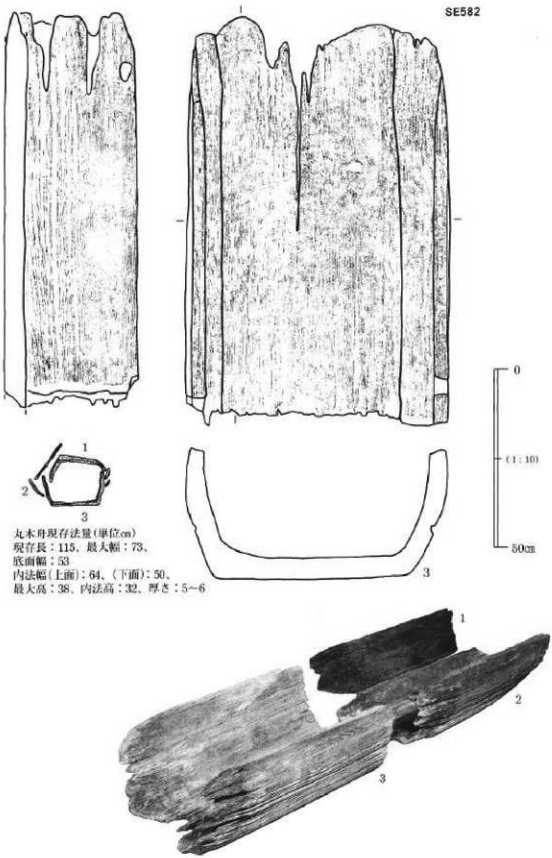
第20図　井戸跡Ａ型（７）　SE582（１）全体図・写真



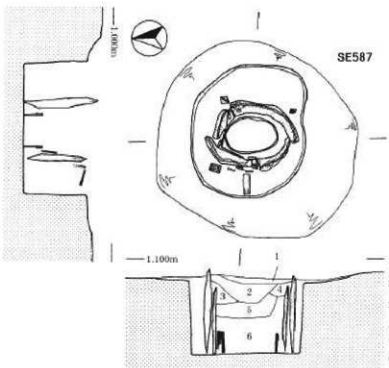
丸木舟（１＋２）は、鋸による切断であるが、割目の位置（A・B）から、Cで分割後、それぞれを鋸で切断し、埋設したようである。

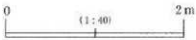
切断された丸木舟（上図右上A方向から撮影）
鋸による切断であることが明瞭

第21図　井戸跡A型（８）　SE582（２）転用された丸木舟（１）

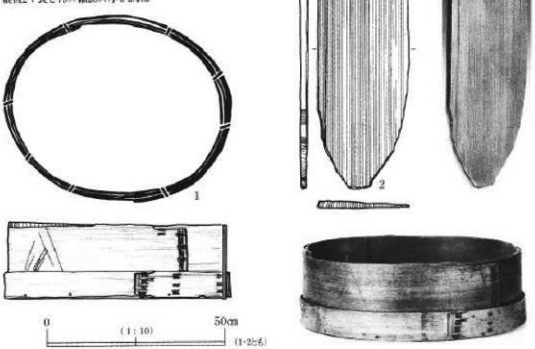


第22図　井戸跡A型（9）　SE582（3）転用された丸木舟（2）



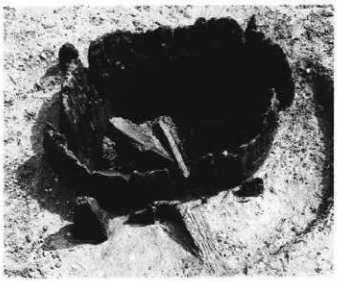


曲物1：長径64.4×短径52×高さ22.1cm
縦板2：長さ79×幅26×厚さ2.1cm



第23図　井戸跡A型（10）　SE587（1）全体図・写真

土層断面(西→)



精査途中の状況(西→)
投げ入れられた部材の一部が見える

完掘状況(北西→)
底面に曲物が見える

第24図　井戸跡Ａ型（11）　SE587（２）井戸跡写真

人魚供養札（線刻部分を除く）

0　(1:4)　20cm

［釈文］
アラツタナヤ弖ウチ
〈ニトテ候
そわ可

墨書・線刻部分図
（黒：墨書、赤：線刻）

0　(1:2)　10cm

供養札検出位置

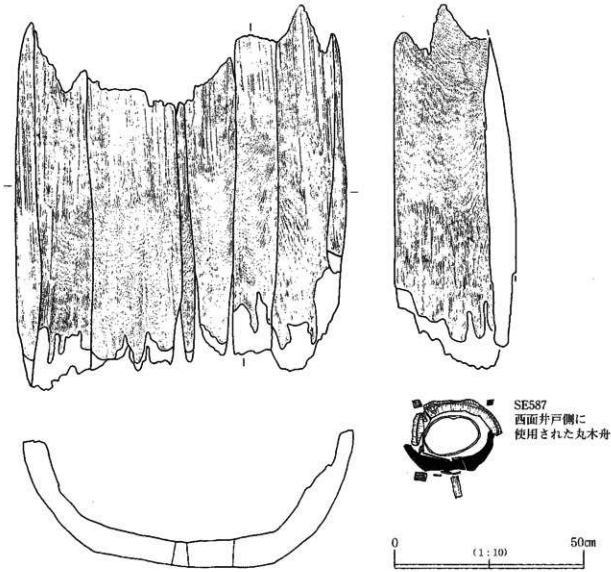
※矢印は折れ面（第26図写真の矢印に対応する）

第25図　井戸跡A型（12）　SE587（3）人魚供養札（1）

上：人魚供養札部分写真（赤外線写真）
（左：上部の僧侶、右：下部の人魚と文字）

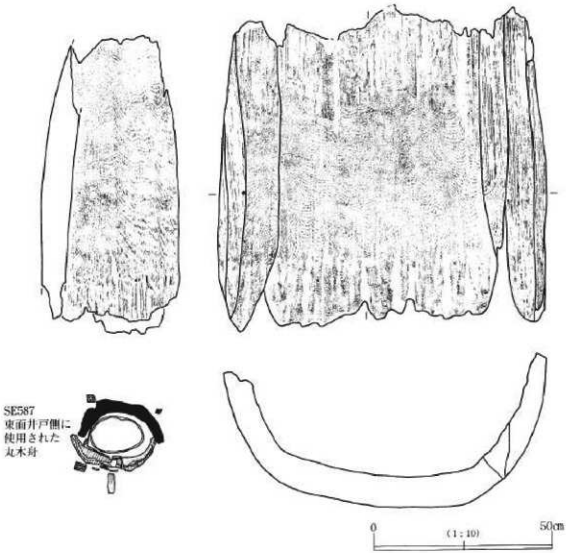
下：供養札出土状況（→部分が折面）
供養札は楕円形の曲物と井戸側に転用された丸木舟の狭い底面に位置する。写真を見る限りにおいても、札は井戸が機能を果たしている時に投込まれたと言うより、井戸を構築する段階に意図的に入れられたものと考える。

第26図　井戸跡A型（13）　SE587（4）人魚供養札（2）



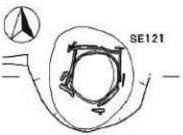
丸木舟現存法量(単位：cm)
現存長：102、最大幅：87、底面幅：49
内法幅(上面)：77、(下面)：50
最大幅：32、内法高28、厚さ：6−7

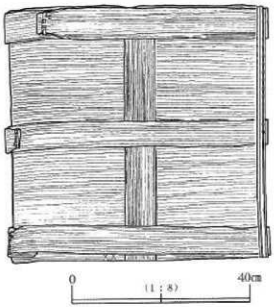
第27図　井戸跡Ａ型（14）　SE587（５）転用された丸木舟（１）



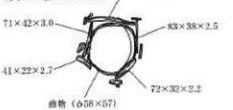
丸木舟現存法量
（単位：cm）
現存長：91
最大幅：91
底面幅：50
内法幅（上面）：81
（下面）：56−62
最大高：38
内法高：34
厚さ：7−8

第28図　井戸跡A型（15）　SE587（6）転用された丸木舟（2）





縦板等の大きさ
（長さ×幅×厚さ:cm）



1

SE121
1.黒褐色(10YR2/2)細砂質、しまり強、地山をブロック状に5%・炭化物3%・小礫少量含む、人為堆積
2.暗褐色(10YR3/3)砂質[裏込土]、地山30%・黒褐色土を斑状に10%・小礫2%・炭化物1%含む

写真1：SE121木製に使用の曲物(上：実測図)
2：同上部材・遺物出土状況(北西→)
曲物内に木製品(杷子)が遺棄されていた
3：同上完掘全景(北→)

2

3

第29図　井戸跡B型（1）　SE121

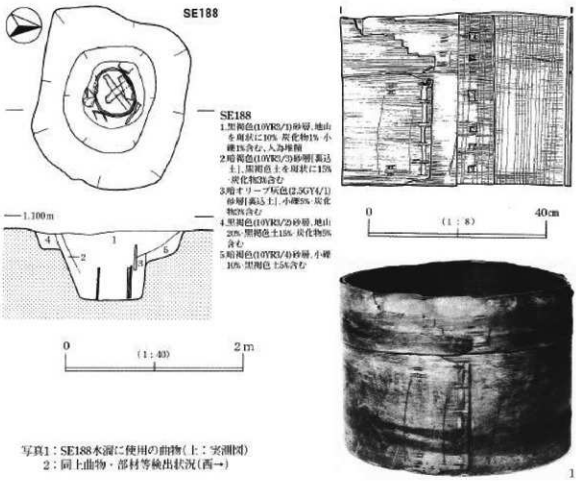
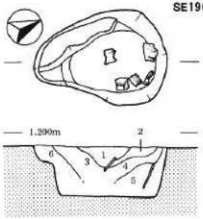


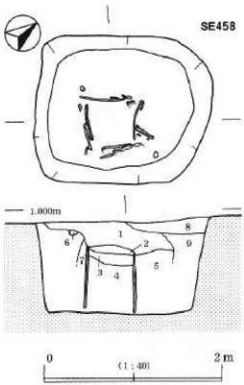
写真1：SE188水溜に使用の曲物（上：実測図）
2：同上曲物・部材等検出状況（西→）

第30図　井戸跡B型（2）　SE188



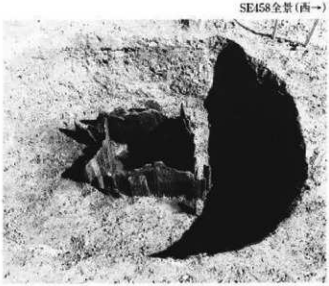
SE196全景（東→）

SE196
1.黒褐色(2.5Y3/1)砂層、しまり強、オリーブ黒色土を斑状に20%・地山15%・炭化物10%含む
2.暗褐色(10YR3/4)砂層、オリーブ黒色土5%・炭化物2%含む
3.暗オリーブ灰色(2.5GY4/1)砂層、地山にオリーブ黒色土20%・炭化物3%含む
4.オリーブ黒色(5Y3/1)砂層、地山を斑状に5%・炭化物1%含む
5.暗オリーブ灰色(2.5GY4/1)砂層、オリーブ黒色土3%・炭化物1%含む
6.黒褐色(2.5Y3/1)砂層、地山3%・炭化物2%含む

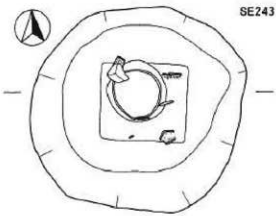


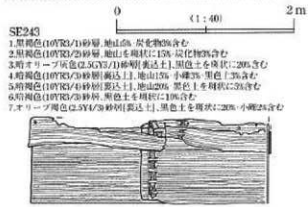
SE458
1.黒褐色(10YR3/2)砂層、地山を斑状に3%・炭化物2%含む、人為堆積
2.黒褐色(10YR3/1)砂層、地山を斑状に5%・炭化物3%含む、人為堆積
3.暗褐色(10YR3/3)砂層、黒色土をブロック状に5%・地山5%含む、人為堆積
4.黒色(5Y2/1)シルト層、しまり弱、地山10%・炭化物2%・小礫2%含む、人為堆積
5.黒褐色(2.5Y3/1)砂質、しまり弱、炭化物3%含む、人為堆積
6.褐色(10YR4/4)砂質[黒泥土]、しまり強、地山に黒色土を斑状に3%含む
7.暗褐色(10YR3/3)砂質[黒泥土]、黒色土を斑状に2%・炭化物微量含む
8.黒褐色(2.5Y3/1)砂層、地山5%・炭化物1%・小礫1%含む、人為堆積
9.黒褐色(10YR3/2)砂質[黒泥土]、地山をブロック状に15%・炭化物2%含む

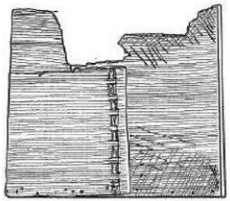
SE458全景（西→）



第31図　井戸跡B型（3）　SE196・458

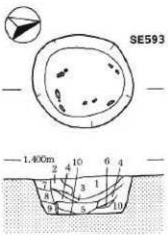






1：SE243水溜に使用の曲物(内側、上：実測図)
2：同上水溜に使用の曲物(外側、左上：実測図)
3：同上全景(東→)内側の曲物除去後撮影
4：同上部材等検出状況(北→)

第32図　井戸跡Ｂ型（４）　SE243



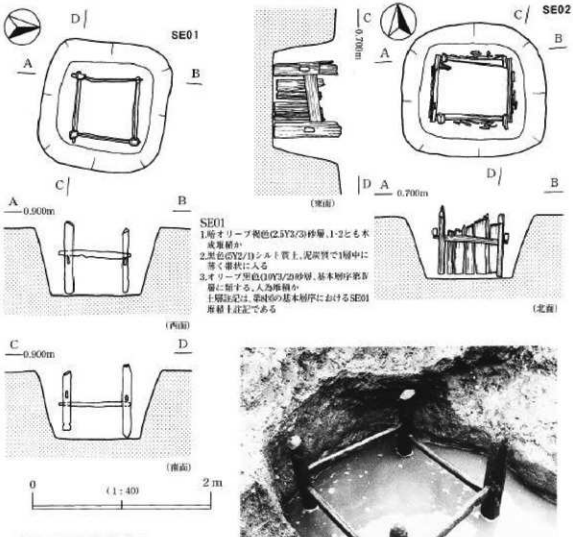
SE593全景（南西→）

0　(1：80)　2m

SE593
1.黒褐色(10YR3/2)砂質、しまり弱、炭化物をブロック状に1%・小礫1%・褐色地山を斑状に1%含む
2.暗褐色(10YR3/3)砂質、炭化物3%含む
3.黒褐色(10YR2/1)砂質、しまり弱、炭化物5%・黄褐色の地山を斑状に2%含む
4.黒褐色(10YR3/2)砂質、しまり弱、黄褐色地山を斑状に10%・炭化物1%含む
5.黒色(10Y2/1)砂質、しまり弱、褐色地山をブロック状に5%含む
6.暗赤褐色(5YR3/4)砂質、しまり弱、炭化物、焼土塊
7.黒褐色(10YR3/2)砂質、黄褐色土及び褐色地山を斑状に10%・炭化物3%含む
8.暗褐色(10YR3/3)砂質、炭化物2%含む
9.にぶい黄褐色(10YR4/3)砂質、しまり弱、褐色地山30%・小礫5%含む
10.黒褐色(10YR3/2)砂質、黄褐色地山を斑状に5%・炭化物を斑状に3%含む

調査風景（南西→）
調査区中央南部、手前の水溜りは水没した井戸跡

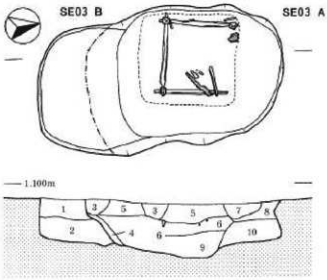
第33図　井戸跡B型（5）　SE593



SE01
1.暗オリーブ褐色(2.5Y3/3)砂層,1-2とも木炭粒が
2.黒色(5Y2/1)シルト質土,泥炭質で1層中に
等く堆積に入る
3.オリーブ黒色(10Y3/2)砂層,基本地山第Ⅱ
層に類する,人為堆積か
土層註記は,第Ⅳ6の基本層序における SE01
埋積土注記である

写真1：SE01全景(北西→)
2：SE02部材検出状況(北→)南面を掘り
当初掘板は直立していたが、土圧等の
影響で撮影時には原位置からずれてし
まった
3：同上全景(西→)

第34図　井戸跡C型（1）　SE01・02

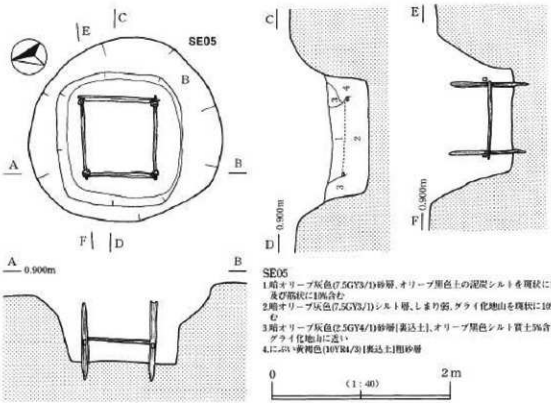


1.黒褐色(10YR2/2)シルト質土,泥炭状
2.黒色(10YR2/1)シルト質土,泥炭状,草を多く含む
3.灰黄褐色(10YR4/2)砂層,地山砂の二次堆積が主で,1層土・小礫を少量含む
4.褐灰色(10YR5/1)砂層,青砂純層に近い
5.黒褐色(10YR3/2)砂ナシルト質土,3層砂と1層シルトの混合層
6.黒色(10YR2/1)シルト質土,地山砂と2層シルトの混合層,小礫をやや多く含む
7.灰黄褐色(10YR4/2)砂層,3層に類似
8.黒褐色(10YR2/2)シルト質土,1層に類似
9.黒色(10YR2/1)シルト質土,2層に類似
10.灰黄褐色(10YR5/2)砂層,地山砂の二次堆積が主で,1層土・小礫を多く含む

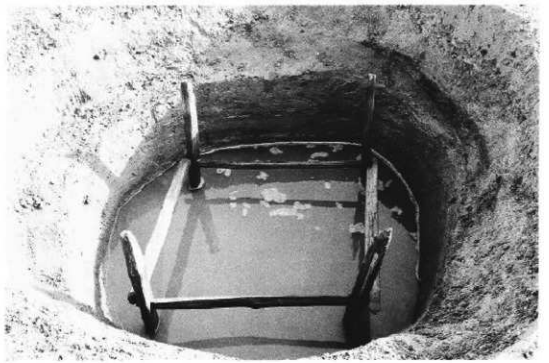
0　(1:40)　2m

写真1：SE03A・B遺構確認状況(南西→)
2：SE03A部材等検出状況(南東→)
3：同上(東→)

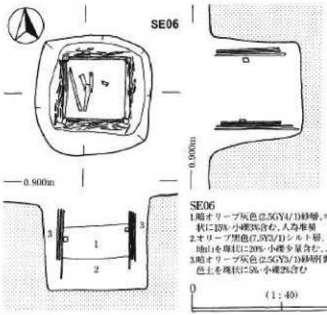
第35図　井戸跡C型（2）　SE03A・B



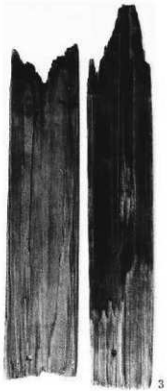
SE05全景(北→)隅柱と横桟のみ完存



第36図　井戸跡C型（３）　SE05



SE06
1.暗オリーブ灰色(2.5GY4/1)砂礫,オリーブ黒色土を斑状に15%・小礫3%含む,人為堆積
2.オリーブ黒色(7.5Y3/1)シルト層,しまり弱,グライ化地山を斑状に20%・小礫少量含む,人為堆積
3.暗オリーブ灰色(2.5GY3/1)砂礫(裏込土),オリーブ黒色土を斑状に5%・小礫2%含む


3

1

2

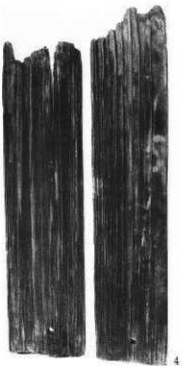

4

写真1：SE06部材検出状況(南→)
2：同上全景(南→)
3・4：曲面底板
(下部に丸孔あり)

第37図　井戸跡C型（4）　SE06

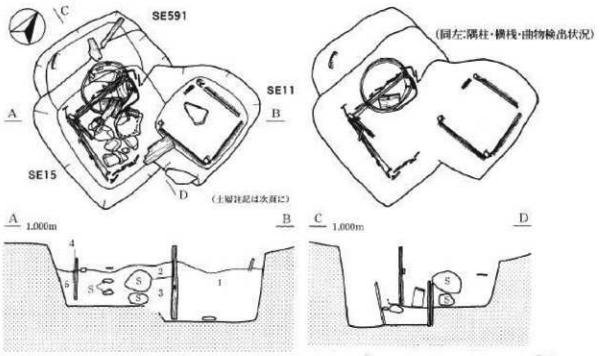
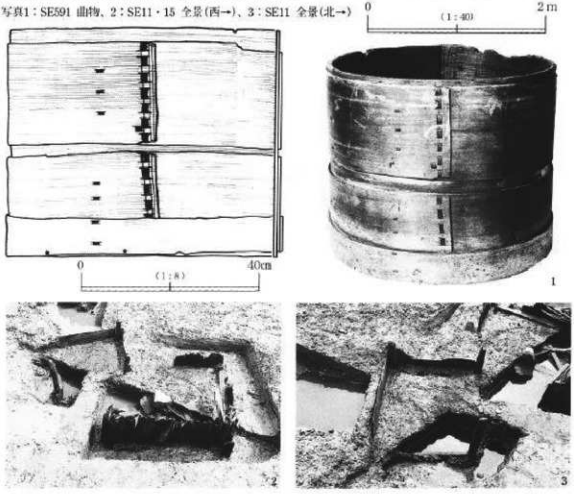


写真1：SE591 曲物、2：SE11・15 全景（西→）、3：SE11 全景（北→）



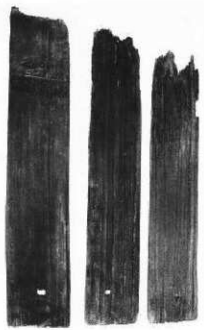
第38図　井戸跡C型（5）　SE11・15、SE591（F型）（1）

1

2

3

4



SE15 南面縦板
（左端の長さ62cm）

SE11
1.黒色(10YR2/1)シルト層、しまり弱い、小礫1%含む

SE15
2.黒褐色(10YR3/1)砂層、炭化物3%含む
3.オリーブ黒色(5Y3/1)砂層、グライ化地山10%・炭化物3%・大礫1個含む
4.オリーブ黒色(5Y3/1)砂層(裏込土)、しまり弱い、グライ化地山5%・炭化物1%含む
5.灰色土(5.2Y4/1)砂層、しまり強い、に.ぶい黄褐色地山を帯状に5%含む、黒褐色シルトと互層を成す

写真1：SE15全景（北西→）
　　確認面直下から井戸内には
　　礎・部材が顔を出している
2：SE15西面縦板とSE591曲物（西→）
3：SE15内の礫出土状況（北西→）
　　西面縦板除去後に撮影
4：SE591水溜に使用の曲物内に
　　見える曲物容器（南東→）

第39図　井戸跡C型（6）　SE11・15、SE591（F型）（2）

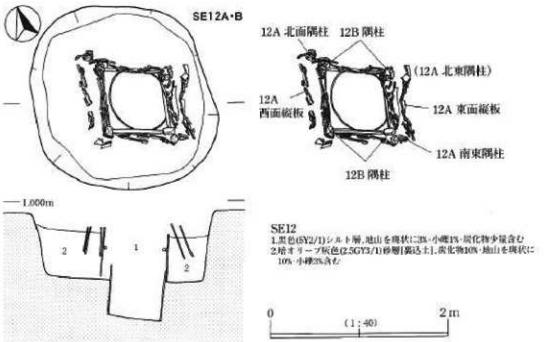


写真1：SE12A・B 部材検出状況
(西→)
2：同上(西→)
3：同上全景(南→)

第40図　井戸跡C型（7）　SE12A・B（1）

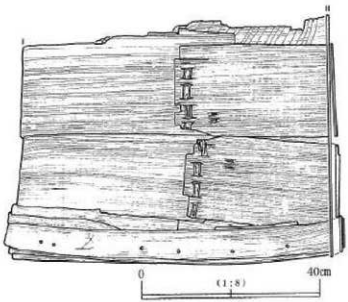
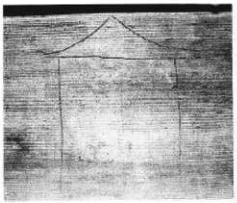
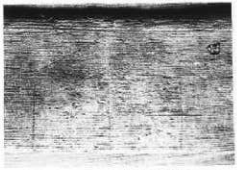
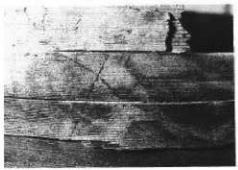
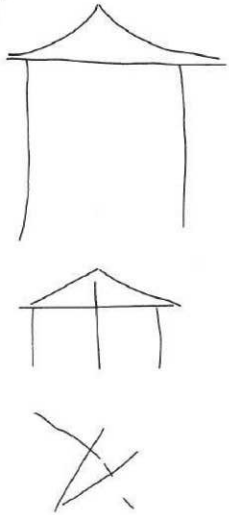


写真1：SE12木組に使用の曲物（左：実測図）

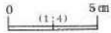








2−4：同上曲物に見られる線刻
（右：実測図）



第41図　井戸跡C型（8）　SE12B（2）出土曲物

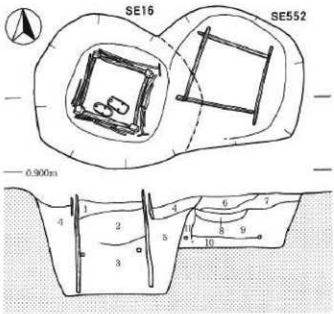
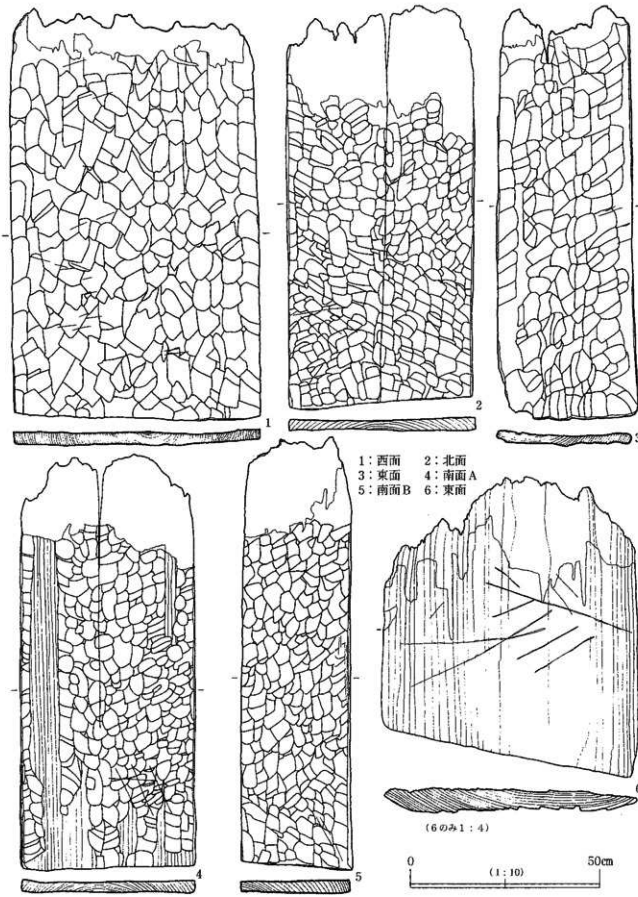


写真1：SE16　全景(南→)
2：SE16・SE552　全景(東→)
3：SE16　木製線刻のある縦板(東面)
4：SE16　下駄出土状況

SE16・SE552
1.黒色(2.5Y2/1)粘土質シルト層、しまり強、地山を塊状に3%含む
2.オリーブ黒色(5Y3/1)シルト層、地山を塊状に5%含む
3.黒色(5Y2/1)シルト層、草をごっそり含む
4.黒色(5Y2/1)埋込土|シルト層、青地山を塊状に5%含む
5.オリーブ黒色(5Y3/1)|黒込土|シルト層、地山5%・小礫3%含む
6.黒褐色(10YR3/1)砂層、しまり強、黒褐色粘質土を塊状に5%・地山を塊状に10%・炭化物1%含む
7.黒褐色(2.5Y3/2)砂層、しまり強、地山を塊状に10%・炭化物1%含む
8.黒色(5Y2/1)シルト層、しまり弱、青地山を塊状に3%含む
9.オリーブ黒色(5Y3/1)砂層、青地山を塊状に5%・小礫2%含む
10.黒色(5Y2/1)シルト層、しまり弱、小礫3%含む
11.暗オリーブ灰色(2.5GY3/1)砂層、オリーブ黒色土を塊状に10%含む

第42図　井戸跡C型（9）　SE16（1）、SE552（D型）



第43図　井戸跡C型（10）　SE16（２）井戸側縦板（１）

東面縦板
（写真左：109×35×4.0）

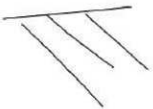
西面縦板
（100×65×4.1）

北面縦板
（写真左：106×49×3.7）

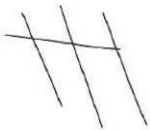
（　）内は，材の長さ×幅×厚さ，単位cm

南面縦板A＋B
（写真左A:108×45×3.3，B:114×29×3.6）

北面縦板下部の線刻部分写真（約1：4）

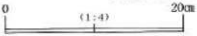


北面縦板下部の線刻

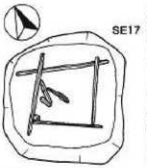


南面縦板A 下部の線刻

（線刻図）



第44図　井戸跡C型（11）　SE16（3）井戸側縦板（2）



SE17
確認面:黒褐色(10YR2/2)砂質,小礫含む

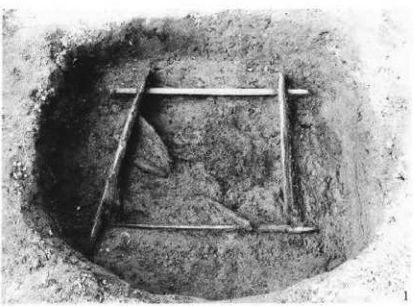
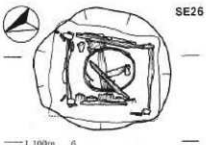
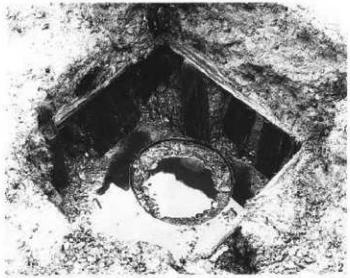


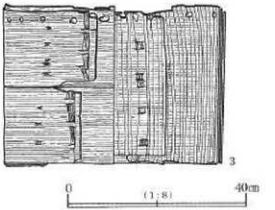
写真1：SE17確認状況(南→)
工事による削平の及ばない区域であることが判明し、この状態で平面図作成と写真撮影を行い埋め戻した
2：SE26全景(西→)
3：同上水溜に使用の動物
(写真は第290図に収録)





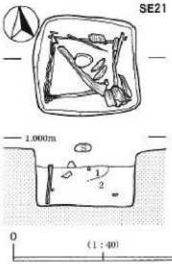
0　(1:40)　2m

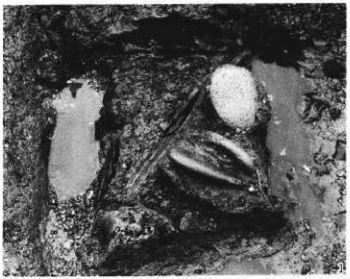
SE26
1.暗褐色(10YR3/3)砂質,褐色砂をブロック状に5%,炭化物3%含む
2.暗褐色(10YR3/3)砂質,炭化物2%,小礫1%含む
3.黒褐色(10YR3/1)砂質,炭化物5%,小礫5%含む
4.黒褐色(10YR3/2)砂質,しまり悪,褐色砂を斑状に20%,小礫5%,炭化物2%含む
5.黒色(10Y2/1)粘土質シルト質,しまり悪,炭化物2%,小礫2%,砂をブロック状に1%含む
6.暗褐色(10YR3/3)砂質,褐色砂を斑状に10%,炭化物1%含む
7.黒褐色(10YR3/2)砂質,炭化物2%,砂をブロック状に2%含む
8.にぶい黄褐色(10YR4/3)砂質,褐色砂を斑状に20%,炭化物少量含む
9.褐色(10YR4/4)砂質,しまり悪,炭化物少量含む
10.暗褐色(10YR3/3)砂質,炭化物3%,小礫3%,砂をブロック状に2%含む
11.にぶい黄褐色(10YR4/3)砂質,小礫5%,炭化物2%含む



0　(1:8)　40cm

第45図　井戸跡C型(12)　SE17・26





SE21
1.黒褐色(10YR3/1)砂層、グライ化地山を現代に5%・小礫1%含む
2.灰色(7.5Y4/1)砂層、グライ化地山10%・炭化物5%含む、人為堆積

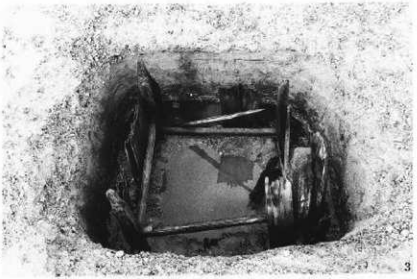
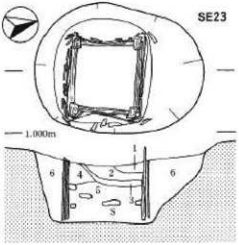


写真1：SE21部材・礫確認状況(東→)
2：同上部材・礫及び土層堆積状況(南→)
3：同上全景(南→)

第46図　井戸跡C型（13）　SE21



1

1：SE23全景（西→）1・2層面除去後

SE23
1.黒色(5Y2/1)砂質、地山を塊状に5%含む
2.黒色(10YR2/1)砂質、炭20%、地山30%含む
3.黒褐色(10YR2/2)シルト質、しまり弱、炭30%・暗褐色土を斑状に3%含む、水成堆積
4.黒色(5Y2/1)シルト質、しまり弱、暗褐色土を斑状に3%含む、水成堆積
5.黒色(7.5Y2/1)シルト質、しまり弱、炭10%・人頭2個含む、人為堆積
6.オリーブ黒色(5Y3/1)砂質混礫土、地山を塊状に5%・小礫3%含む

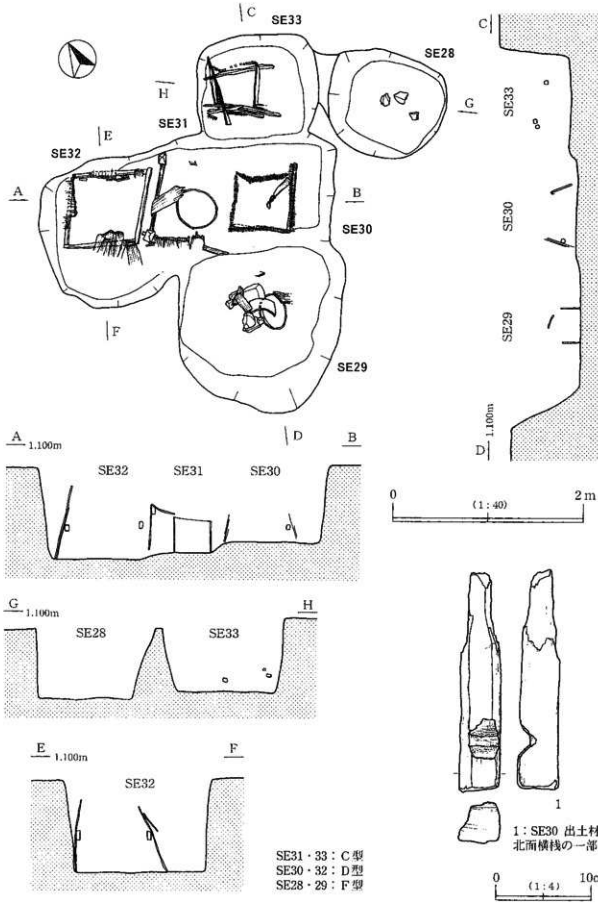
2

3

2：全景（北→）5層中における部材・礎板上状況、写真手前（右）は北面礎板（84×69×43cm）

3：全景（東→）同上

第47図　井戸跡C型（14）　SE23



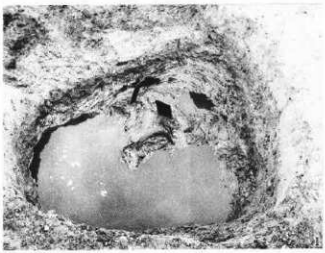
第48図　井戸跡C型（15）　SE28～33（１）全体図

SE28～33全景（南西→）
手前右側がSE29

同上全景（南→）

SE28全景（北東→）
底面近くに拳大の礫が3点出土

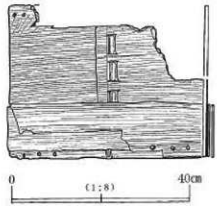
第49図　井戸跡C型（16）　SE28～33（2）井戸跡写真



4

写真1：SE29全景（東→）
2：SE30全景（東→）
3：SE30・31全景（北→）
4：SE29出土の曲物（写真は第290図に収録）
5：SE31水溜に使用の曲物（下：実測図）

5



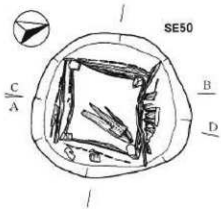
第50図　井戸跡C型（17）　SE28～33（3）井戸跡写真・曲物

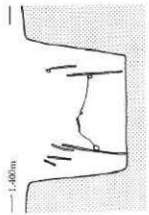
SE32全景（南西→）

SE33全景（南→）
横桟検出状況

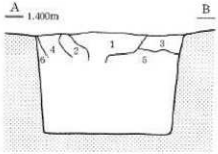
同上（南→）
井戸側の草雑検出状況

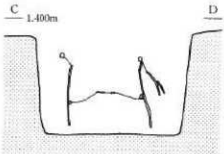
第51図　井戸跡C型（18）　SE28～33（4）井戸跡写真

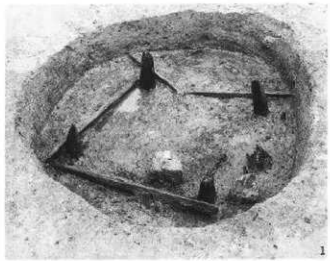




北西隅柱





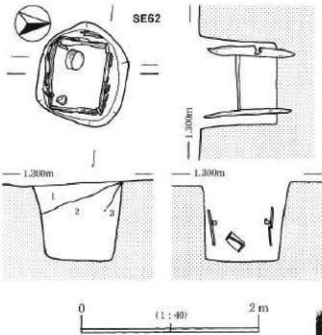

1

2

SE50
1.黒褐色(10YR2/2)砂質シルト層、炭化物を現状に1%、小礫微量含む
2.にぶい黄褐色(10YR4/3)砂層、炭化物2%、黒褐色土微量含む
3.暗褐色(10YR3/4)砂層、炭化物微量含む
4.黒褐色(10YR3/1)砂質シルト層、地山5%含む
5.黒褐色(10YR3/1)砂質シルト層、炭化物2%、地山少量含む
6.褐色(10YR4/4)砂

写真1：SE50
部材等確認状況(南→)
2：同上全景(南東→)

第52図　井戸跡C型（19）　SE50



SE62
1.暗褐色(10YR3/3)砂質シルト層、地山10%・黒色土を斑状に5%・炭化物3%・小礫3%含む、人為堆積か
2.黒褐色(10YR2/1)シルト層、地山7%・炭化物を斑状に3%・小礫少量含む、人為堆積か
3.黒褐色(10YR3/2)砂層、しまり弱、炭化物2%含む、人為堆積か

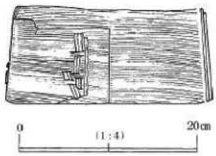
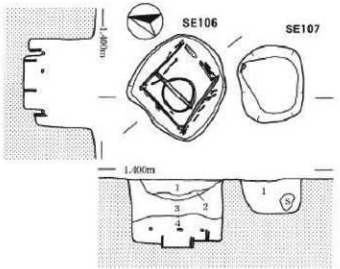
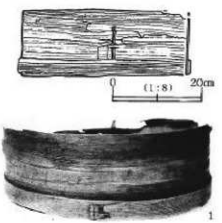
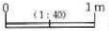


写真1：SE62出土の曲物(上：実測図)
2：同上曲物出土状況(北東→)
3：同上井戸全景(南→)

第53図　井戸跡C型（20）　SE62





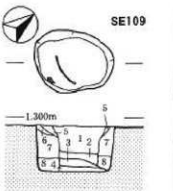


SE106
1.黒褐色(10YR3/2)砂質、地山を状に10%小礫5%炭化物微量含む、自然堆積か
2.黒褐色(10YR3/1)シルト質、自然堆積か
3.黒褐色(2.5Y3/2)砂質、地山を斑状に20%小礫2%炭化物1%含む、人為堆積
4.オリーブ黒色(5Y3/1)砂質、しまり弱、小礫3%炭化物微量含む

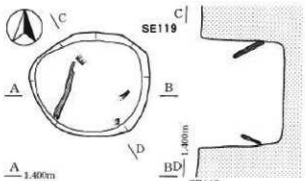
SE107
1.黒褐色(10YR3/2)砂質、地山を斑状に10%小礫3%縄1個黒色泥炭土を高状に1本含む

写真1：SE106水面に杭周の
　　曲物（上：実測図）
2：同上部材等検出状況
　　（南東→）
　　曲物未検出段階
3：同上部材・曲物検出
　　状況（北→）

第54図　井戸跡C型（21）　SE106・107



SE109
1.黒褐色(2.5Y3/1)シルト層、地山を斑状に10%・炭化物3%・小礫少量含む、人為堆積か
2.黒色(N2/0)泥炭シルト層、しまり弱、オリーブ黒色土及び黒褐色土を斑状に含む、自然堆積
3.黒色(5Y2/1)シルト層、しまり弱、自然堆積
4.暗オリーブ灰色(5GY4/1)粗砂層、しまり弱、小礫少量含む、自然堆積
5.黒褐色(10YR3/2)砂層、地山を斑状に20%含む、自然堆積
6.黒色(N2/0)シルト層、しまり弱、地山10%含む、自然堆積
7.黒褐色(10YR3/1)[裏込土]シルト層、黒色泥炭土を斑状に5%・小礫少量含む
8.暗オリーブ灰色(2.5GY4/1)砂層[裏込土]、しまり弱、酸化地山を斑状に含む



SE119
1.黒褐色(10YR3/1)細砂層、しまり強、地山5%・炭化物1%含む、自然堆積
2.黒褐色(10YR3/2)砂層、地山30%・黒色泥炭土を斑状に15%・炭化物2%含む、人為堆積
3.暗オリーブ灰色(5GY4/1)砂層、しまり弱、炭化物2%・小礫少量含む
4.[上面：暗褐色(10YR4/3)砂層、黒褐色土を斑状に5%・黒色土を斑状に5%・炭化物1%含む
5.暗褐色(10YR3/3)砂層、しまり弱、地山30%・黒色土泥土を斑状に20%含む
6.褐色(10YR4/6)砂層、地山
7.暗褐色(10YR3/3)砂層、しまり弱、小礫多量・黒色土含む

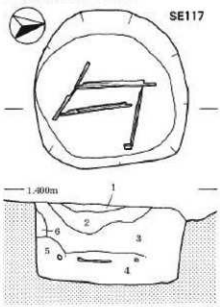
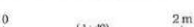
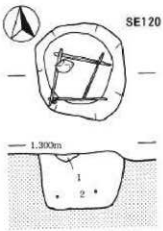


写真1：SE109全景(北西→)
　2：SE119土層堆積状況(西→)



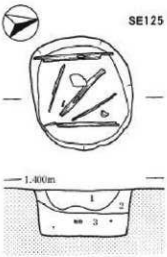
SE117
1.黒褐色(10YR3/2)砂層、炭化物3%含む、人為堆積
2.黒褐色(10YR2/1)シルト層、小礫3%・炭化物2%含む、人為堆積
3.黒褐色(10YR3/2)砂層、黒色シルト質土を斑状に5%・小礫2%・炭化物1%含む、自然堆積か
4.黒色(5Y2/1)粗砂層、しまり弱、小礫3%含む
5.黒褐色(10YR3/1)シルト層、小礫2%含む
6.褐色(10YR4/6)砂層

第55図　井戸跡C型（22）　SE109・117・119



SE120
1.黒褐色(10YR3/2)砂質シルト層、地山ブロック5%含む
2.暗褐色(10YR3/3)砂層、褐色地山土を斑状に20%・黒褐色土を斑状に5%・炭化物2%・小礫2%含む、人為堆積か

SE120全景（東→）

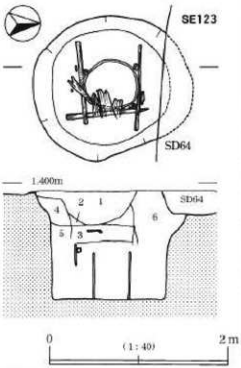


SE125
1.黒褐色(10YR3/2)砂層、地山30%・黒色泥炭土ブロック1%・小礫5%含む、自然堆積
2.黄色(2.5Y8/4)砂層、黒色泥炭土を帯状に含む、自然堆積
3.黒褐色(2.5Y3/2)砂層、しまり弱、地山ブロック10%・炭化物2%含む、人為堆積

0　(1:40)　2m

SE125全景（西→）

第56図　井戸跡C型（23）　SE120・125

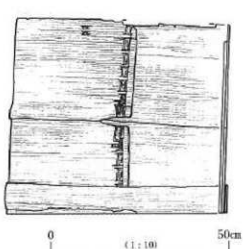


SE123
1.黒褐色(2.5Y3/2)砂質、しまり弱、小礫5% 炭化物2% 黒色泥炭土を斑状に3%含む
2.暗褐色(10YR3/4)砂層、小礫多量 地山30%含む
3.暗オリーブ灰色(2.5GY3/1)粗砂層、しまり弱、小礫5% 炭化物2%含む
4.暗褐色(10YR3/3)砂質、地山20% 黒色泥炭土含む
5.オリーブ黒色(5Y3/1)砂層、しまり弱、黒色土の泥炭土を斑状に20%含む
6.暗褐色(10YR3/3)砂層、地山20% 炭化物1% 小礫1%含む

1

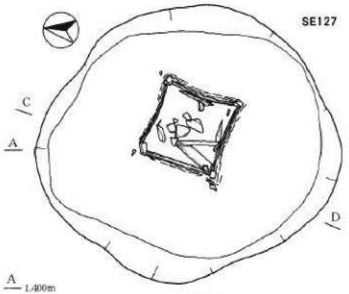
2

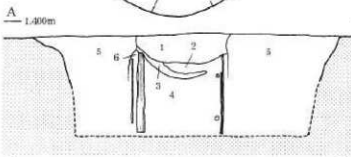
写真1：SE123部材(縦板)検出状況(東→)
2：同上部材・曲物検出状況(南→)
西面横桟も検出されたが、出水に伴う流失により、実測できなかった
3：同上水漏に使用の曲物(左：実測図)



3

第57図　井戸跡C型（24）　SE123





SE127
1.にぶい黄褐色(10YR4/3)砂質,暗褐色土20%・黒色粘質土を微比に3%含む,人為堆積か
2.暗オリーブ灰色(5GY4/1)細砂層,小礫少量含む,自然堆積
3.黒色(N2/0)シルト層,しまり弱,暗オリーブ灰色土を斑状に10%・炭化物3%含む,自然堆積
4.黒色(5Y2/1)両オリーブ灰色土を斑状に20%含む,自然堆積
5.褐色(10YR4/6)砂層(裏込土),鉄褐色土5%含む
6.褐灰黄色(2.5Y4/2)裏込土細砂層,しまり弱,小礫少量含む

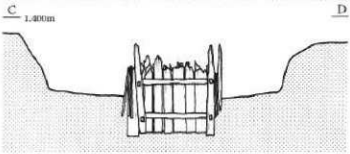
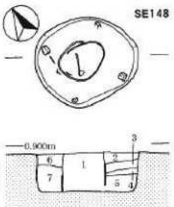


写真1：SE127部材等確認状況(東→)
　　1段下面
　2：同上部材検出状況(東→)
　3：同上全景(西→)

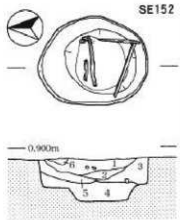
0　(1:40)　2m

第58図　井戸跡C型（25）　SE127

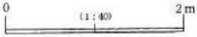


SE148
1.黒色(7.5Y2/1)砂層,黒色泥炭土を斑状に30%含む
2.暗オリーブ灰色(2.5GY3/1)砂層
3.暗オリーブ灰色(2.5GY4/1)砂層,地山
4.褐色(10YR4/6)砂層
5.黒褐色(10YR3/2)シルト層,しまり弱,地山
6.暗オリーブ灰色(2.5GY3/1)砂層,黒色泥炭土を斑状に15%含む
7.暗オリーブ灰色(5GY3/1)砂層,黒色土を斑状に10%含む

SE148全景(北→)

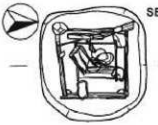


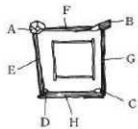
SE152全景(東→)



SE152
1.暗オリーブ灰色(2.5GY3/1)砂層,小礫3%含む
2.暗オリーブ灰色(2.5GY3/1)砂層,泥炭シルトを斑状に30%含む
3.暗オリーブ灰色(5GY4/1)砂層,オリーブ黒色シルト質土5% 小礫1%含む
4.オリーブ黒色(5Y3/1)シルト層
5.暗オリーブ灰色(2.5GY4/1)粗砂層
6.にぶい黄褐色(10YR4/3)砂礫層

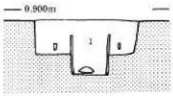
第59図　井戸跡C型(26)　SE148・152

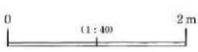




A：南西隅柱(43×10×10，丸柱)
B：北西隅柱(38×8×7，角柱)
C：北東隅柱(40×8×5，半割した丸柱)
D：南東隅柱(20×7×3，1/4割した丸柱)
E：南面横桟(78×5×4)
F：西面横桟(上段：76×5×3)
G：北面横桟(76×6×3)
H：東面横桟(78×6×3)

※（　）内は長さ×幅×厚さcm





SE149
1層オリーブ灰色(2.5GY3/1)砂質，オリーブ黒色土を斑状に5%・炭化物1%含む

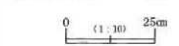
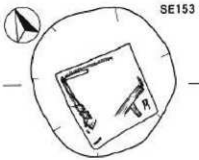
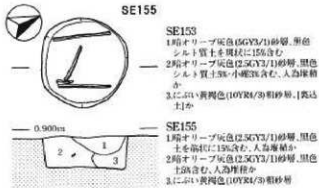


写真1：SE149全景(北→)
2：同上(南→)河原石除去後
3：木樋に使用の方形箱

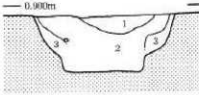
第60図　井戸跡C型（27）　SE149



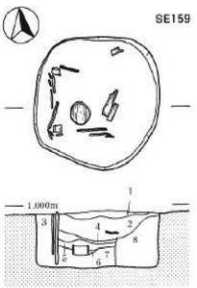


SE153
1.暗オリーブ灰色(5GY3/1)砂質,黒色シルト質土を斑状に15%含む
2.暗オリーブ灰色(2.5GY3/1)砂質,黒色シルト質土5%・小礫3%含む,人為堆積か
3.にぶい黄褐色(10YR4/3)粗砂質,1層ブロック土か

SE155
1.暗オリーブ灰色(2.5GY3/1)砂質,黒色土を斑状に15%含む,人為堆積か
2.暗オリーブ灰色(2.5GY3/1)砂質,黒色土5%含む,人為堆積か
3.にぶい黄褐色(10YR4/3)粗砂質



SE159
1.黒色(7.5Y2/1)シルト質,地山を斑状に5%含む
2.黒色(5Y2/1)砂質,暗オリーブ灰色土20%・小礫少量含む
3.暗オリーブ灰色(2.5GY3/1)砂質[裏込土],黒色土を斑状に50%・炭化物1%含む
4.暗オリーブ灰色(2.5GY3/1)砂質,しまり悪,黒色炭化土を斑状に50%・Ka計を斑状に10%含む
5.黒色土(N2/0)単一大きく受けた木・炭化物に類似した黒色シルトからなる層,遺物あり
6.オリーブ黒色(5Y3/1)粘土質シルト層,しまり弱
7.暗オリーブ灰色(2.5GY3/1)砂質,オリーブ黒色土を斑状に5%・黒色土を斑状に3%含む
8.暗オリーブ灰色(2.5GY4/1)砂質[裏込土],黒色土を斑状に3%含む



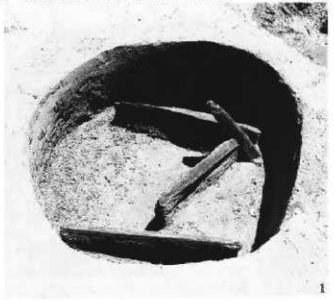
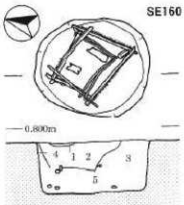
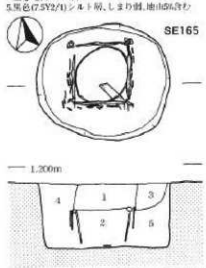


写真1：SE155全景(西→)
2：SE159全景(北→)
3：同上井戸跡出土の遺物

第61図　井戸跡C型(28)　SE153・155・159



1.黒褐色(10YR2/1)砂質、しまり強
2.黒褐色(2.5Y3/1)砂質、しまり強、小礫3%・地山ブロック化物2%含む、人為堆積
3.暗オリーブ灰色(2.5GY3/1)砂質混入土上、黒褐色土を斑状に2%含む
4.暗オリーブ灰色(2.5GY3/1)砂質混入土上、黒褐色土を斑状に20%含む
5.黒色(7.5Y2/1)シルト質、しまり弱、地山5%含む



土層註記は第63図左下に収録

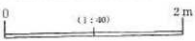
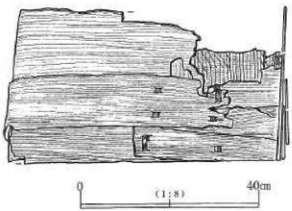
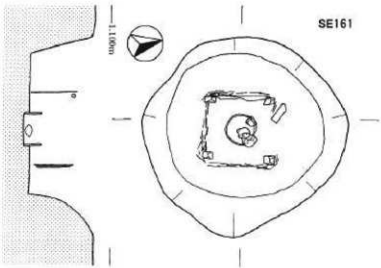
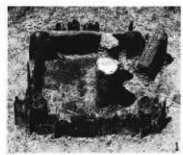


写真1：SE160全景（南東→）
2：SE165全景（南→）
3：SE165水溜に使用の曲物（左：実測図）



第62図　井戸跡C型（29）　SE160・165





SE161
1.黒褐色(10YR3/2)砂質、地山を斑状に30%・地山10%・炭化物1%含む、人為堆積か
2.黒色(7.5Y2/1)砂質、地山を斑状に10%・小礫3%含む、人為堆積か
3.黒褐色(2.5Y3/2)砂質[裏込土]、しまり強、黒色土20%・地山20%・小礫3%含む
4.オリーブ褐色土(2.5Y4/3)[裏込土]、黒色土15%・炭化物1%含む

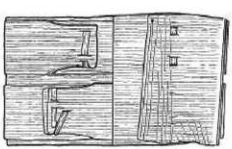


写真1：SE161部材・礎等検出状況(東→)2層上面
2：同上木組に使用の曲物(上：実測図)
3：同上全景(東→)

SE165（第62図）土層註記
1.黒色(N2/0)泥炭シルト層,暗褐色土の粘土質シルトを斑状に5%・地山を斑状に5%・炭化物1%含む
2.暗オリーブ灰色(2.5GY3/1)砂層,泥炭土5%・炭化物2%含む
3.黒褐色(10YR3/2)砂層、褐色土の砂20%・炭化物3%含む
4.黒褐色(10YR3/2)砂層,炭化物1%含む,[裏込土]
5.褐色(7.5YR4/4)砂層,[裏込土]

第63図　井戸跡Ｃ型（30）　SE161

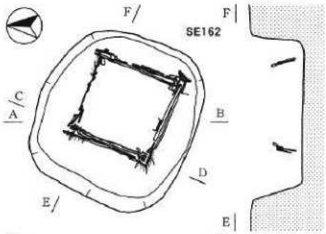
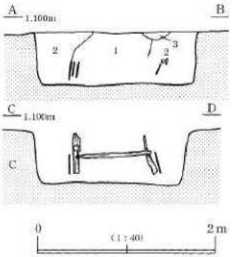


写真1：SE162 全景・部材出土状況(西→)
2：同上断柱・縦板・横板検出状況(西→)



SE162
1.黒褐色(10YR3/2)粘土層,黒色土の砂を斑状に20%-
混山20%,炭化物1%含む,人為堆積
2.暗オリーブ灰色(2.5GY3/1)砂層(裏込土),黒色砂を
斑状に15%,小礫数量含む
3.炭化物の混乱

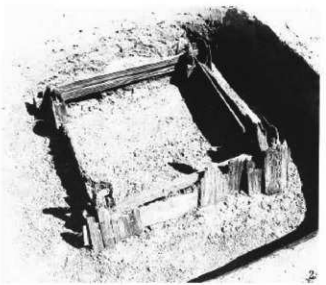
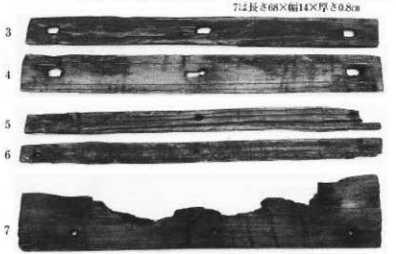
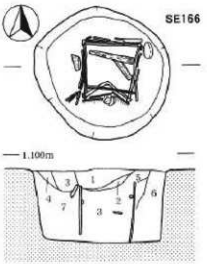


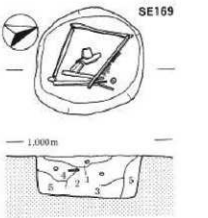
写真3～7：横板に使用した材　3・4：前面　5・6：東面　7：西面
7は長さ68×幅14×厚さ0.8cm



第64図　井戸跡C型（31）　SE162



SE166
1.黒色(7.5Y2/1)礫砂層、しまり強、地山を斑状に5%・小礫2%含む
2.黒色(N2/0)シルト層、炭化物3%含む
3.黒色(10Y2/1)シルト層、地山を斑状に5%・小礫2%含む
4.オリーブ黒色(5Y3/1)砂層、酸化地山を斑状に10%・小礫2%含む
5.オリーブ黒色(7.5Y3/1)砂層、しまり弱、地山を斑状に20%・炭化物3%含む
6.褐色(10YR4/4)砂層、地山、掘りすぎ
7.黒色(5Y2/1)砂層、地山を斑状に20%含む



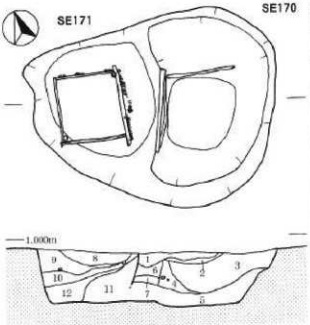
SE169
1.黒色(5Y2/1)砂層、しまり強、地山5%含む
2.オリーブ黒色(5Y3/1)礫砂層、地山5%・炭化物2%含む、人為堆積
3.オリーブ黒色(7.5Y3/1)砂層、地山20%・小礫2%含む、人為堆積
4.黒褐色(10YR3/1)砂層[裏込土]、地山30%・炭化物3%含む
5.灰オリーブ色(5Y4/2)砂層[裏込土]、黒褐色土を斑状に5%含む

1
写真1：SE166全景(東→)
2：同上(北→)

2

3
写真3：SE169 全景(北→)

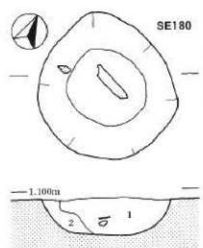
第65図　井戸跡C型（32）　SE166・169



SE171
8.黒褐色(2.5Y3/1)砂層、しまり強、地山10%含む
9.黒褐色(2.5Y3/2)砂層、地山を現状に30%含む
10.オリーブ黒色(5Y3/1)砂質、地山10%・炭化物2%含む
11.黒色(2.5Y2/1)細砂層、地山10%・黒色シルト質土を現状に3%含む
12.暗オリーブ灰色(2.5GY3/1)砂層、地山を現状に20%含む

SE180
1.黒色(5Y2/1)砂層、地山を現状に30%含む
2.オリーブ黒色(5Y3/2)砂層、地山を現状に30%・炭化物2%含む

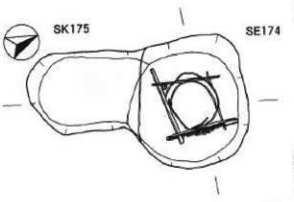
SE170
1.黒褐色(2.5Y3/1)砂層、しまり強、酸化地山15%・炭化物1%含む
2.黒色(5Y2/1)シルト層、地山5%含む、人為堆積か
3.黒色(2.5Y2/1)シルト層、地山を基状に20%含む、人為堆積か
4.オリーブ黒色(2.5Y3/1)砂層、黒色シルト質土を現状に10%・地山10%含む、人為堆積か
5.暗オリーブ灰色(2.5GY3/1)砂層、しまり弱、黒色シルト質土20%含む
6.オリーブ黒色(5Y3/1)[裏込土]細砂層、地山5%含む
7.暗オリーブ灰色(2.5GY3/1)砂層[裏込土]、地山にオリーブ黒色土を現状に10%含む



0　(1:40)　2m

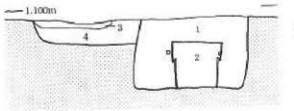
写真1：SE171部材検出状況(南→)
2：SE170・171全景(南→)
3：SE180全景(北→)

第66図　井戸跡C型（33）　SE170・171・180



SE174
1.黒褐色(10YR3/1)砂層、しまり強、地山を現状に10%小礫2%含む
2.オリーブ黒色(5Y3/1)砂層、地山3%含む

SK175
3.黒褐色(10YR3/2)砂層、しまり強、地山を現状に5%炭化物2%含む
4.暗褐色(10YR3/3)砂層、オリーブ黒色土を現状に3%斑状に2%含む



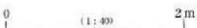


写真1：SE174部材・曲物等検出状況
(西→)
2：同上全景(南→)
3：同上水溜に使用の曲物

SE182（第60図　土層註記
1.黒褐色(2.5Y3/1)砂層、しまり強、地山を現状に10%炭化物1%含む、人為堆積
2.灰オリーブ色(5Y4/2)砂層、黒褐色土を現状に20%含む、自然堆積
3.暗オリーブ灰色(2.5GY3/1)砂層、炭化物1%含む
4.暗オリーブ灰色(2.5GY4/1)砂層、しまり弱、黒色土を現状に25%含む、自然堆積
5.暗オリーブ灰色(2.5GY4/1)砂層(裏込土)、黒色土を斑状に30%含む
6.オリーブ黒色(5Y3/2)砂層、黒褐色土を現状に15%含む、自然堆積

SE208
1.黒褐色(10YR3/2)砂層、木根多量・炭化物2%・小礫2%含む、新しい掘込み
2.黒褐色(10YR3/1)砂層、地山20%・炭化物1%含む
3.黒褐色(2.5Y3/1)砂層、炭化物2%含む
4.オリーブ黒色(5Y3/1)砂層、炭化物2%含む
5.褐色(10YR4/4)砂層、炭化物1%含む
6.黒褐色(10YR3/1)砂層、しまり弱、地山15%・黒色系土を現状に5%・小礫2%・炭化物1%含む

第67図　井戸跡C型（34）　SE174、SK175

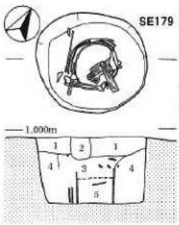
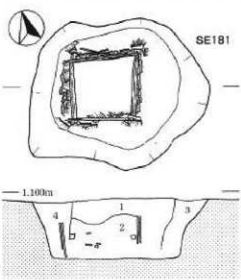
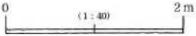


写真1：SE179全景(北→)、2：SE179出物



SE181
1.黒色(5Y2/1)砂層、しまり強、地山を斑状に5%・炭化物3%含む
2.黒色(7.5Y2/1)砂層、炭化物2%・地山1%含む
3.黒褐色(10YR2/2)砂利(裏込土)、黒色土を斑状に20%・炭化物2%含む
4.灰オリーブ色(5Y4/2)砂層(裏込土)、黒色土を斑状に50%・炭化物2%含む

写真3：SE181全景(北→)



第68図　井戸跡C型(35)　SE179・181

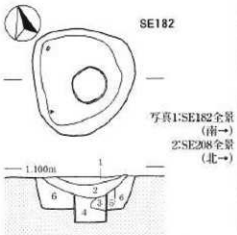
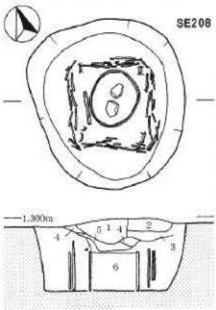


写真1:SE182全景
(南→)
2:SE208全景
(北→)

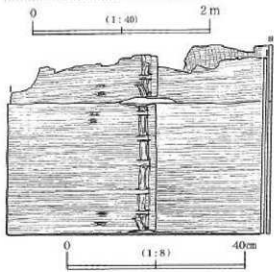
※SE182・208の土層注記は第67図に収録

1



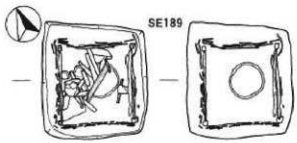
2

3：同上木樋に使用の曲物(左：実測図)



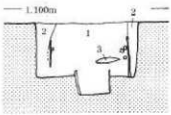
3

第69図　井戸跡C型（36）　SE182・208



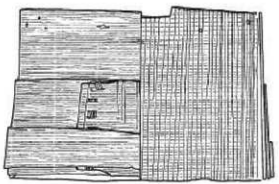
SE189
1.黒色(7.5Y2/1)砂質、しまり強、黄褐色地山をブロック状に30%
炭化物5%含む、人為堆積
2.褐色(10YR4/4)砂質[掘込 も]、小礫5%含む
3.暗オリーブ灰色(2.5GY4/1)砂質、人為堆積

[投入された板材・礎除去後]



1

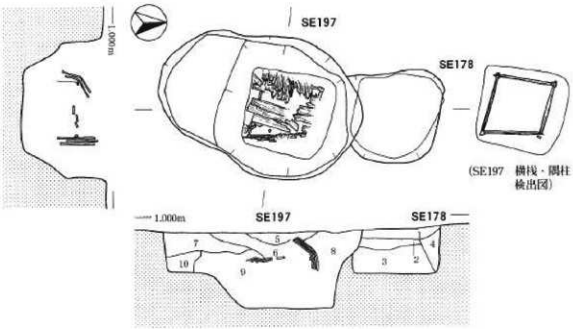
2



3

写真1：SE189木組に使用の出物
（下：実測図）
2：同上部材・礎等検出状況
（南→）
3：同上全景（南→）

第70図　井戸跡C型（37）　SE189



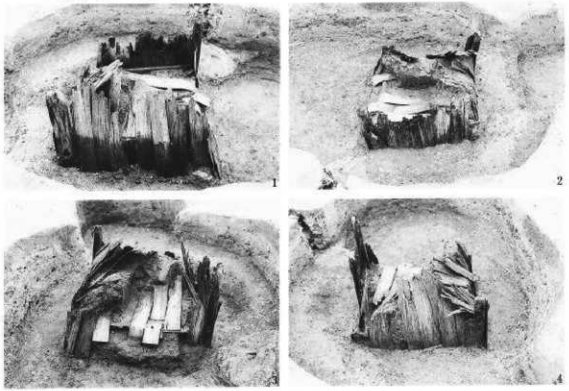
(SE197　構浅・関柱検出図)

SE197
5.オリーブ黒色(5Y3/1)砂層、地山を斑状に5%・炭化物2%含む
6.オリーブ黒色(5Y3/2)砂層、地山3%・炭化物2%含む
7.灰黄色(2.5Y4/2)砂層、黒色泥炭土を斑状に30%・炭化物2%含む
8.黒褐色(2.5Y3/1)砂層、地山を斑状に10%・小礫3%・炭化物2%含む
9.黒色(7.5Y2/1)砂層、地山を斑状に5%・小礫2%・炭化物1%含む
10.黒色(N2/0)シルト層、しまり弱、黒色泥炭土3%・炭化物3%含む

0　(1:40)　2m

SE178
1.黒褐色(10YR3/1)砂層、黒色泥炭土を斑状に20%・炭化物5%・小礫3%含む、人為堆積
2.褐色(10YR4/4)砂層、黒褐色土を斑状に5%含む、人為堆積
3.オリーブ黒色(5Y3/2)砂層、黒色土を斑状に10%・炭化物2%含む、人為堆積
4.黒褐色(2.5Y3/2)砂層[裏込土]、黒色土を斑状に20%・地山10%含む

写真1：SE197部材検出状況（西→）
2：同(東→)、3：同(北→)、4：同(南→)



第71図　井戸跡C型（38）　SE197、SE178（F型）

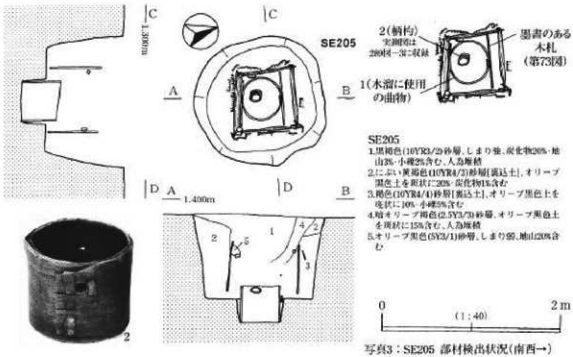
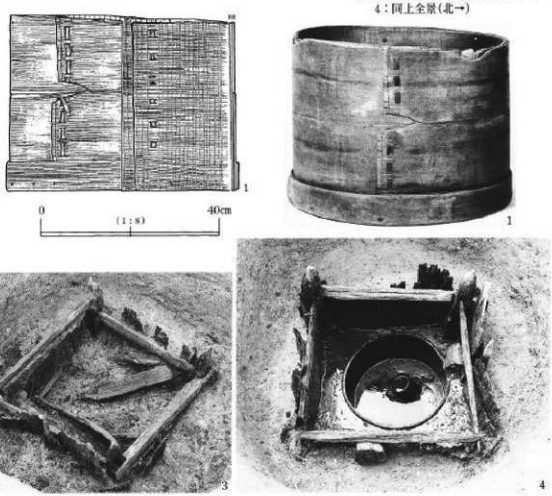
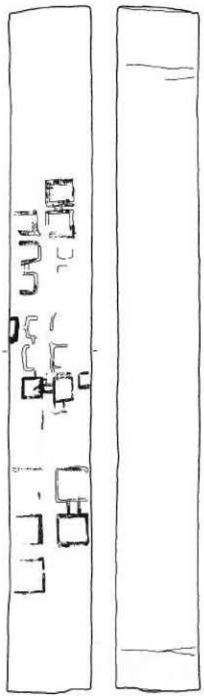


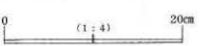
写真3：SE205 部材検出状況(南西→)
4：同上全景(北→)



第72図　井戸跡C型（39）　SE205（1）全体図



1

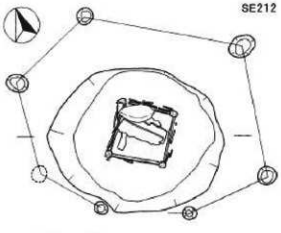


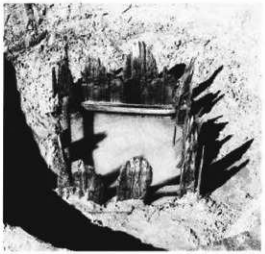
2

3

写真1：墨書板・曲物を北側で押さえていた横板
（表：墨書、裏：両端に線刻）
2：墨書板全体写真、3：部分写真(中央部分)

第73図　井戸跡C型（40）　SE205（2）墨書板

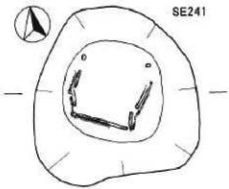




SE212部材検出状況（東→）

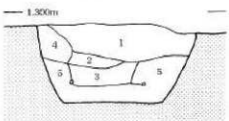
SE212

1.オリーブ黒色(5Y3/1)砂層，しまり強，地山5%・炭化物1%含む，人為堆積
2.暗褐色(10YR3/4)砂層，地山20%・オリーブ褐色土10%・小礫2%含む，人為堆積
3.黒色(5Y2/1)シルト層，しまり強，小礫5%含む
4.黒褐色(10YR3/2)砂層[裏込土]，地山10%・炭化物1%含む
5.褐色(10YR4/4)砂層[裏込土]，オリーブ黒色土15%・小礫5%含む
6.暗褐色(10YR3/3)砂層[裏込土]，オリーブ黒色土を斑状に20%・地山10%含む

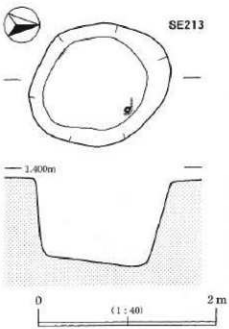


SE241

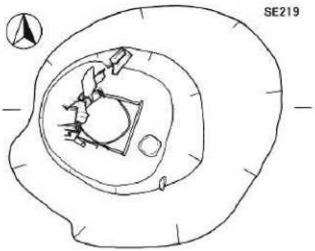
1.黒褐色(10YR3/1)砂層，地山を斑状に5%・炭化物3%含む，人為堆積
2.褐色(10YR4/4)粘砂層，黒褐色土を斑状に30%含む，人為堆積
3.暗オリーブ灰色(2.5GY5/1)砂層，しまり弱，黒色泥炭シルトを斑状に20%・小礫2%含む，水成堆積か
4.黒褐色(10YR3/2)砂層[裏込土]，地山を斑状に20%・炭化物5%含む
5.暗オリーブ褐色(2.5Y3/3)砂層[裏込土]，黒色土を斑状に10%含む

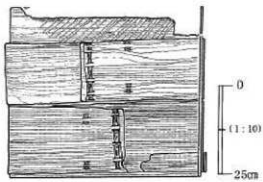


SE241全景
（西→）



第74図　井戸跡Ｃ型（41）　SE212・213・241

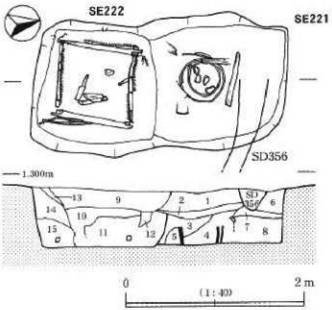




SE219
1.黒色(5Y2/1)砂層、しまり強、炭化物を斑状に10%、暗土に3%地山ブロック5%含む
2.黒褐色(10YR3/1)砂層、黒色泥炭土を斑状に10%、地山ブロック5%、炭化物2%含む
3.黒色(N2/0)シルト層、地山ブロック3%、炭化物2%含む
4.オリーブ黒色(5Y3/1)砂層、地山ブロック15%、小礫3%含む
5.黒色(N2/0)シルト層、炭化物5%含む
6.オリーブ黒色(5Y3/1)細砂層、地山ブロック20%、黒色泥炭土を斑状に10%、炭化物1%含む
7.暗オリーブ灰色(2.5GY5/1)砂層、しまり弱、黒色泥炭シルトを斑状に50%含む
8.褐色(10YR4/4)砂層、しまり強、黒色土5%、小礫5%含む
9.黒褐色(10YR3/2)砂層、地山ブロック15%、黒色土をブロック状に10%含む
10.黒褐色(10YR3/1)砂層、地山ブロック15%含む

写真1：SE219水溜に使用の曲物(上：実測図)
2：同上全景(北→)
3：同上部材検出状況(西→)

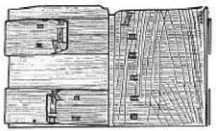
第75図　井戸跡C型（42）　SE219



SE222東面の草検出状況

SE221
1.黒褐色(10YR3/2)砂層、地山を斑状に10%・炭化物2%含む
2.黒褐色(2.5Y3/1)砂層、地山5%・炭化物微量含む
3.オリーブ色(5Y4/2)砂層、黒色泥炭土を斑状に5%・炭化物1%含む
4.オリーブ黒色(5Y3/1)砂層、炭をオリーブ色土30%・黒色泥炭土5%・炭化物2%含む
5.オリーブ黒色(7.5Y3/1)砂層、炭オリーブ色土20%・炭化物2%含む
6.暗褐色(10YR3/3)砂層[裏込土]、オリーブ黒色土を斑状に50%・炭化物1%含む
7.にぶい黄褐色(10YR4/3)砂層[裏込土]、オリーブ黒色土30%・炭化物2%含む
8.褐色(10YR4/4)砂層[裏込土]、オリーブ黒色土5%・炭化物1%含む

SE222
9.黒褐色(10YR3/1)砂層、地山3%・炭化物1%含む
10.黒色(7.5Y2/1)砂層、地山2%・炭化物微量含む、人為堆積
11.黒褐色(2.5Y3/2)砂層、地山を斑状に20%・炭化物1%含む、人為堆積
12.オリーブ黒色(5Y3/1)砂層、炭化物微量含む、人為堆積
13.暗褐色(10YR3/3)砂層、黒色土を斑状に50%含む、人為堆積
14.暗褐色(10YR3/4)砂層、黒色シルトを斑状に10%・炭化物1%含む、人為堆積
15.褐色土(10YR4/4)、黒色土を斑状に20%・小礫少量含む、人為堆積



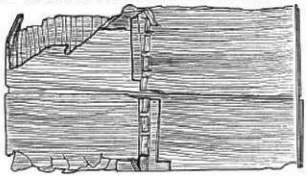


写真1：SE221水溜に使用の曲物
(内側、上：実測図)
2：同曲物(外側、上：実測図)

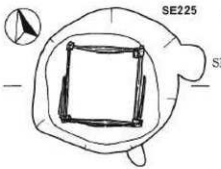
第76図　井戸跡C型（43）　SE222、SE221（D型）（1）

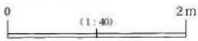
SE221全景(東→)

SE222全景(東→)

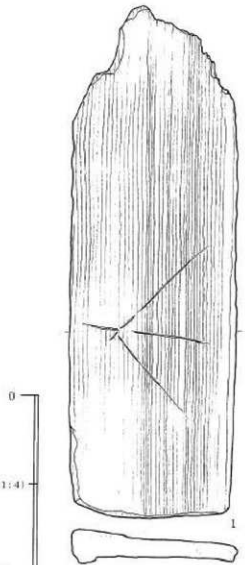
同上　西面の状況(東→)

第77図　井戸跡C型（44）　SE222、SE221（D型）（2）





SE225
1.黒褐色(10YR3/1)砂質､小礫2%･炭化物2%含む､人為堆積
2.黒褐色(10YR2/2)シルト質､粒径最上5%･地山を斑状に5%炭化物1%･小礫1%含む､人為堆積
3.黒色(2.5Y2/1)砂質､地山を斑状に20%含む､人為堆積
4.黒色(10Y2/1)シルト質､しまり弱､小礫5%･地山を斑状に5%含む
5.黒褐色(10YR3/2)砂質(裏込土)､しまり強､小礫10%･地山を斑状に10%含む
6.黒褐色(10YR3/1)砂質(裏込土)､小礫5%･地山5%含む
7.暗褐色(10YR3/3)砂質(裏込土)､地山30%･小礫5%含む

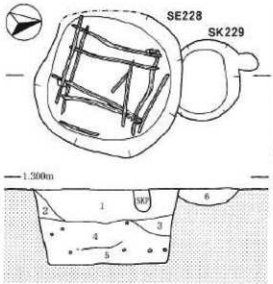


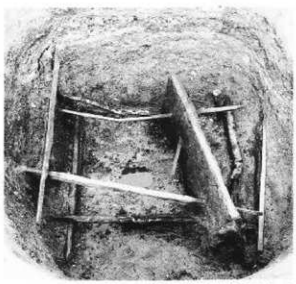
東面縦板(57×19×3.9cm)

写真3：SE225 土層堆積状況(南→)

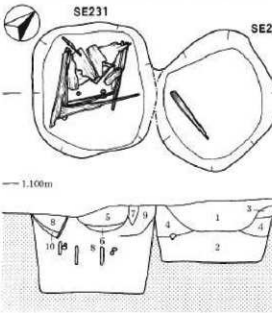
東面縦板・線刻　2

第78図　井戸跡C型（45）　SE225

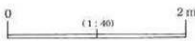




SE228全景・部材検出状況(東→)



(SE231　横桟・隅柱検出図)



SE231全景(北→)左側にSE230

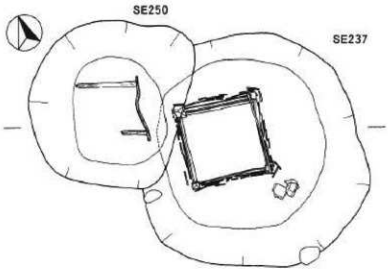
SE228
1.黒褐色(10YR3/1)砂礫、しまり強、地山を現状に5%・小喋2%・炭化物1%含む、人為堆積
2.茶褐色(10YR2/2)砂礫、地山5%・小喋1%含む、人為堆積
3.黒色(5Y2/1)砂質、地山5%・小喋2%含む、人為堆積
4.黒色(7.5Y2/1)シルト質、小喋3%、地山を斑状に2%含む、人為堆積
5.黒色(N2/0)シルト質、グライ化地山を斑状に10%含む、人為堆積

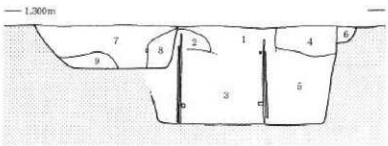
SK229
6.オリーブ黒色(5Y3/1)砂礫、地山を斑状に10%・炭化物2%含む

SE230
1.黒色(5Y2/1)砂質、しまり強、地山を現状に5%・炭化物1%含む
2.暗オリーブ灰色(2.5GY3/1)砂礫、黒色シルトを斑状に30%・炭化物1%含む
3.暗褐色(10YR3/4)砂礫、黒色土を斑状に10%含む
4.黒褐色(10YR3/1)砂礫、地山を斑状に20%・炭化物1%含む

SE231
5.黒褐色(10YR3/1)砂礫、しまり強、地山を現状に5%・炭化物1%含む、人為堆積
6.黒色(N2/0)シルト質、しまり弱、地山を斑状に3%含む
7.茶褐色(10YR3/2)砂礫、地山2%含む
8.黒褐色(2.5Y3/1)砂質、地山10%・炭化物2%含む
9.黒褐色(10YR2/2)砂質[粘土]、地山10%・小喋2%含む
10.黒色(5Y2/1)細砂質、地山5%含む

第79図　井戸跡C型（46）　SE228・231、SE230（F型）、SK229





SE237
1.黒色(5Y2/1)砂質、しまり強、黒色泥炭シルトを斑状に20%含む
2.暗褐色(10YR3/4)砂層、黒色土20%、地山を斑状に20%含む
3.オリーブ黒色(7.5Y3/1)砂層、グライ化地山を斑状に30%含む
4.黒褐色(10YR3/1)砂層、地山5%・炭化物2%含む
5.オリーブ黒色(5Y3/1)砂層、炭化物5%、黒褐色土の粘土質シルトを斑状に3%含む
6.灰褐色(10YR5/3)砂層、小礫20%含む、SE237の周囲に入る砂礫層

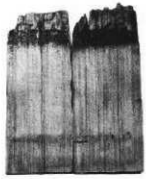
0　(1:40)　2m

SE250
7.黒色(5Y2/1)砂層、しまり強、地山を斑状に5%・炭化物2%含む、人為堆積
8.灰褐色(10YR5/4)砂層、黒色土を斑状に15%・小礫3%含む、人為堆積
9.黒褐色(10YR3/1)[裏込土]細砂層、地山を斑状に15%含む

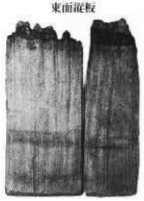
SE237・250全景（東→）

北面縦板

南面縦板

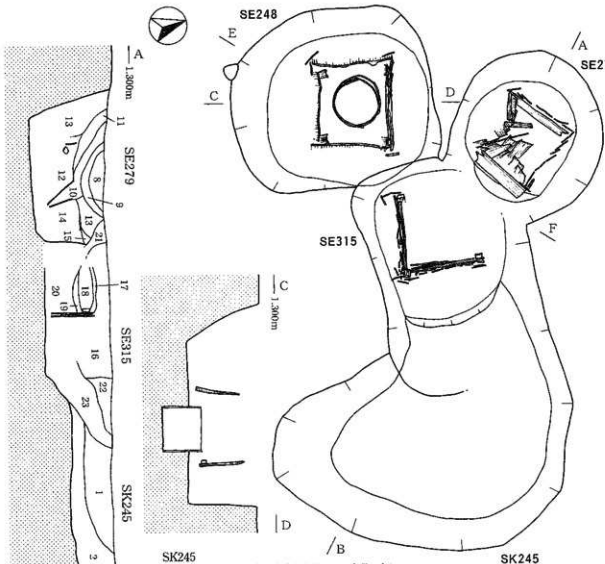


東面縦板

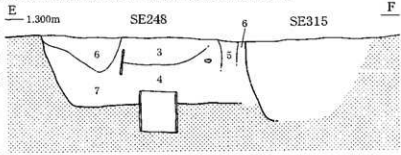


西面縦板

第80図　井戸跡C型（47）　SE237、SE250（D型）



SK245
1.暗褐色(10YR3/4)砂質,黒色土を斑状に30%・小礫2%含む
2.暗褐色(10YR3/4)砂層,黒色土を斑状に10%斑状に5%含む
SE248
3.黒褐色(2.5Y3/1)砂層,地山を斑状に20%・黒色斑状土を斑状に3%・炭化物2%含む,人為堆積
4.オリーブ黒色(5Y3/1)砂質,黒色泥炭シルト10%・地山を斑状に3%・炭化物2%含む
5.黒褐色(10YR3/1)砂質[裏込土],地山を斑状に10%含む
6.褐色(10YR4/4)砂質[裏込土],オリーブ褐色土を斑状に10%・小礫5%含む,ボソボソする
7.黒褐色(10YR3/1)砂層[裏込土],地山10%・炭化物2%含む
SE279
8.黒色(10YR2/1)砂質,しまり強,白色の灰を斑状に20%・炭化物2%含む
9.黒褐色(10YR3/1)砂質,地山2%含む
10.黒褐色(10YR3/2)砂層,地山を斑状に5%含む
11.暗褐色(10YR3/3)砂質,地山20%・炭化物2%含む
12.暗オリーブ灰色(2.5GY3/1)砂層,オリーブ黒色シルト質土を斑状に15%含む
13.暗オリーブ褐色(2.5Y3/3)砂質[裏込土],地山を斑状に20%・小礫3%含む
14.オリーブ黒色(5Y3/1)[裏込土]褐砂層,グライ化地山15%含む
15.暗褐色(10YR3/3)砂層
SE315
16.黒褐色(10YR3/1)砂質,しまり強,地山を斑状に5%・炭化物2%含む
17.黒褐色(2.5Y3/2)砂層,オリーブ褐色土[焼土ホ]をブロック状に30%含む
18.オリーブ黒色(5Y3/1)褐砂層,地山を斑状に15%・炭化物1%含む,自然堆積
19.黒色(N2/0)シルト層,しまり弱,地山20%・小礫少量含む,自然堆積
20.黒色(7.5Y2/1)シルト層,地山を斑状に10%含む,自然堆積
21.オリーブ黒色(5Y3/1)砂層,小礫2%・炭化物1%含む
22.黒褐色(10YR3/2)砂層[裏込土],地山を斑状に15%・小礫1%含む
23.暗褐色(10YR3/3)砂質[裏込土],地山を斑状に20%・小礫3%含む



0　2m
(1:40)

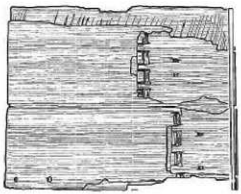
第81図　井戸跡C型（48）　SE248・315、SE279（D型）、SK245（1）

調査区中央南部の遺構群(南→)
中央手前にSE248・279・315
等が位置する

SE248・279・315全景(北→)

SE279全景(東→)

第82図　井戸跡C型（49）　SE248・315、SE279（D型）、SK245（2）

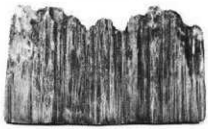


0　(1：8)　40cm

1

南面縦板(49×75×4.8)

東面縦板(55×82×4.8)



西面縦板(53×88×8.8)

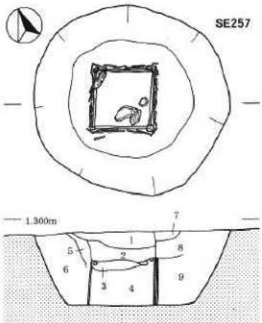
北面縦板(49×94×4.5)

写真1：SE248水溜に使用の曲物(上：実測4)
2：同上部材検出状況(西→)
3：同上全景(北→)

2

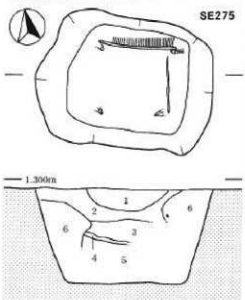
3

第83図　井戸跡C型(50)　SE248(3)



SE257部材・礎・遺物出土状況(南→)

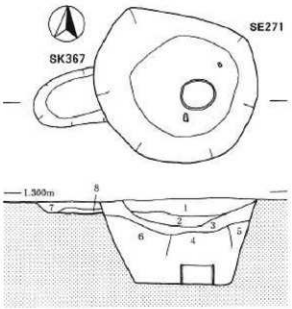
SE257
1.黒褐色(10YR3/1)砂層,地山を斑状に10%.黒色泥炭土を斑状に5%.炭化物1%含む.人為堆積
2.黒褐色(10YR3/1)粘土質シルト層,地山を斑状に15%.黒色泥炭土を斑状に10%含む.人為堆積
3.オリーブ黒色(5Y3/1)粘土質シルト層,しまり弱.黒色泥炭土10%.地山2%.炭化物2%含む.人為堆積
4.暗オリーブ灰色(2.5GY3/1)砂層,黒色土20%含む.人為堆積
5.暗褐色(10YR3/3)砂層[裏込土],炭化物5%含む
6.にぶい黄褐色(10YR4/3)砂層[裏込土],炭化物2%.地山よりポソポソする
7.暗褐色(10YR3/4)砂層[裏込土],黒褐色土を斑状に5%.炭化物1%含む
8.にぶい黄褐色(10YR4/3)砂層[裏込土],オリーブ黒色土を斑状に5%含む
9.褐色(10YR4/4)砂層[裏込土],オリーブ黒色土を斑状に10%含む

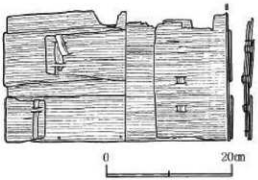


SE275部材等検出状況(東→)

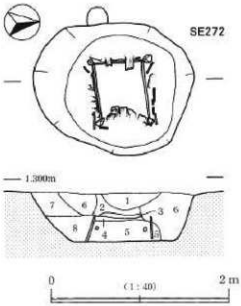
SE275
1.黒褐色(10YR3/2)砂層,地山を斑状に5%含む
2.黒褐色(10YR3/1)砂層,地山を斑状に5%.小礫2%含む
3.オリーブ黒色(5Y3/1)シルト層,黒色泥炭粘土質シルトを帯状に20%含む
4.暗オリーブ灰色(2.5GY4/1)砂層,グライ化地山と同じ
5.暗オリーブ灰色(2.5GY3/1)砂層,しまり弱,オリーブ黒色シルト質土を斑状に30%含む
6.褐色(10YR4/4)粗砂層,オリーブ黒色土を斑状に20%.小礫3%含む.ポソポソする

第84図　井戸跡C型(51)　SE257・275





SE271水溜に使用の曲物（上：実測図）

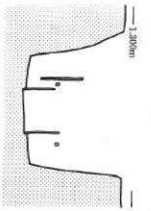


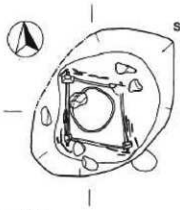
SE271
1.褐色(10YR4/4)砂層,暗褐色土を斑状に20% 炭化物3%含む,人為堆積
2.にぶい黄褐色(10YR4/3)砂層,地山10% 炭化物3%含む,人為堆積
3.オリーブ褐色(2.5Y4/3)砂層,黒色土を斑状に15% 炭化物3%含む
4.暗オリーブ灰色(2.5GY3/1)砂層,黒色土を斑状に5%含む
5.暗褐色(10YR3/3)砂質土上,地山を斑状に15% 炭化物3%含む
6.暗オリーブ灰色(2.5GY3/1)砂質(粘土),黒色土を斑状に2%含む

SK367
7.黒褐色(10YR3/2)砂層,地山を斑状に2% 炭化物3%含む
8.にぶい黄褐色(10YR6/3)砂層,黒褐色土を斑状に含む

SE272
1.黒褐色(10YR2/2)砂層,しまり強,地山を斑状に10%・炭化物2%含む
2.黒褐色(10YR3/2)砂層,地山を斑状に20%,炭化物3%含む
3.黒褐色(10YR3/2)砂層,炭化物5%含む
4.暗オリーブ褐色(2.5Y3/3)砂層,オリーブ黒色土を斑状に20%含む
5.暗オリーブ灰色(2.5GY3/1)砂層,炭化物1%含む,片・粒状のみ,人為堆積
6.褐色(10YR4/4)砂層,オリーブ黒色土を斑状に30%含む,人為堆積
7.褐色(10YR4/4)砂層,オリーブ黒色土を斑状に2%含む,人為堆積
8.オリーブ黒色(5Y3/1)砂層,地山を斑状に20%含む,人為堆積

第85図　井戸跡C型（52）　SE271・272





SE276
1.黒褐色(10YR3/1)砂層、地山10%・炭化物2%・小礫2%含む
2.オリーブ黒色(5Y3/1)砂層、地山15%・炭化物2%含む、人為堆積、大礫2個あり
3.暗褐色(10YR3/3)砂層、地山20%・黒色土を斑状に10%・炭化物2%含む、人為堆積
4.黒褐色(10YR3/2)砂質[掘込土]、地山20%・小礫3%含む
5.暗褐色(10YR3/3)砂質[掘込土]、地山25%・小礫3%含む
6.にぶい黄褐色(10YR4/3)砂質[掘込土]、地山30%・黒色土を斑状に30%・小礫2%含む

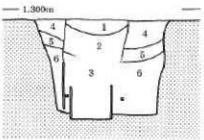
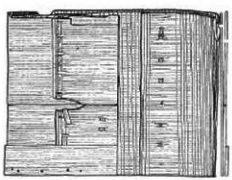
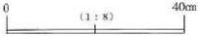
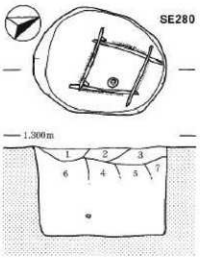


写真1：SE276水溜に使用の曲物
（右：実測図）
2：同上部材・礫検出状況(南→)
3：同上全景(東→)

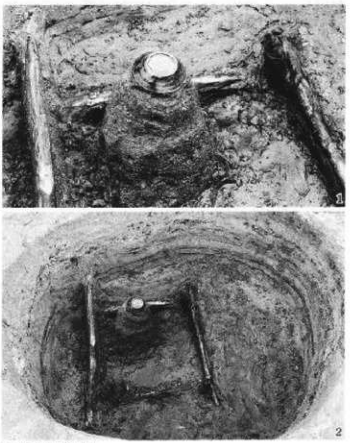




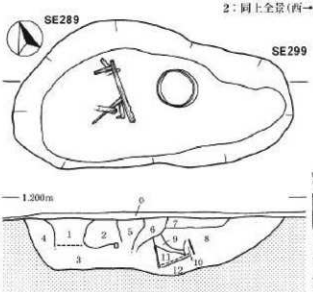
第86図　井戸跡C型（53）　SE276



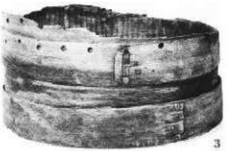
SE280
1.黒褐色(10YR3/2)砂質,炭化物2%・小礫2%・地山2%含む,人為堆積
2.黒褐色(10YR3/1)砂質,しまり弱,小礫3%・地山3%・炭化物1%含む,人為堆積
3.黒褐色(10YR3/2)砂質,地山を斑状に15%・炭化物2%含む,人為堆積
4.オリーブ黒色(5Y3/1)細砂質,地山をブロック状に5%・グライ化地山2%含む,人為堆積
5.暗褐色(10YR3/3)砂質,オリーブ黒色土を斑状に15%含む,人為堆積
6.暗オリーブ灰色(2.5GY5/1)砂質,オリーブ黒色土を斑状に30%・小礫3%含む,人為堆積,[裏込土]か
7.オリーブ黒色(5Y3/1)細砂質,地山5%・小礫2%含む,人為堆積

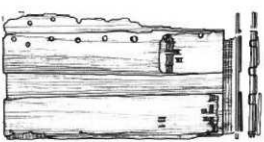


1：SE280 陶器出土状況(西→)
2：同上全景(西→)



※上層注記は1966に取録



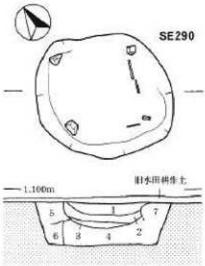


3：SE299 曲物(下：実測図)

0　2m
(1:40)

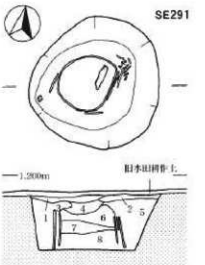
0　20cm

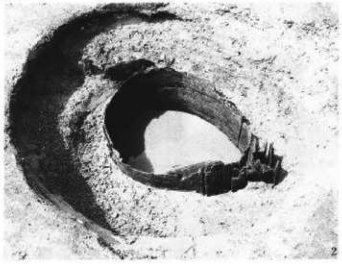
第87図　井戸跡C型（54）　SE280・289、SE299（E型）



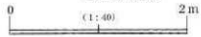
SE290
1.黒褐色(2.5Y3/2)砂質、オリーブ黒色土を斑状に20%・地山5%・炭化物3%含む
2.オリーブ褐色(2.5Y4/3)砂質、炭化物2%、地山20%、オリーブ黒色土を斑状に10%含む
3.暗黄色(7.5YR2/4)粘土質、しまり弱、黒色シルトを斑状に30%・地山10%含む
4.オリーブ褐色(2.5Y4/4)砂質、黒色土を斑状に15%・炭化物3%含む
5.暗褐色(10YR3/4)砂質、地山を斑状に10%・炭化物3%含む
6.にぶい黄褐色(10YR4/3)砂質(掘込土)、地山20%・炭化物3%含む
7.黒褐色(10YR2/1)砂質(掘込土)、地山を斑状に10%・炭化物2%含む

写真1：SE290全景(南→)
2：SE291全景(東→)
3：同西面縦板に転用された刳板

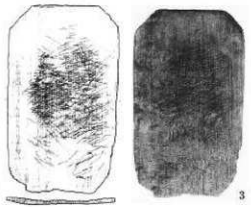




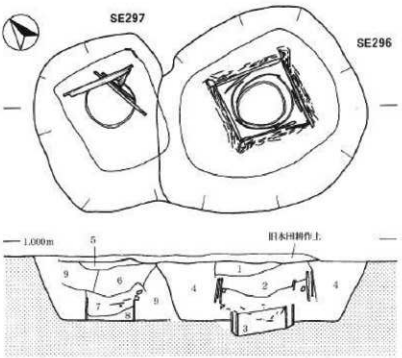
(断面図左端が北側)



SE291
1.黒褐色(10YR3/2)砂質、黒色泥炭土を斑状に30%・地山20%含む、白黒埴積
2.にぶい黄褐色(10YR4/3)砂質、地山を斑状に30%・炭化物を斑状に3%含む、白黒埴積
3.褐色(10YR4/4)砂質、炭化物2%含む、人為堆積か
4.黒褐色(10YR3/2)砂質、地山10%・炭化物3%含む、人為堆積か
5.オリーブ褐色(2.5Y4/3)砂質、炭化物3%含む、人為堆積か
6.暗褐色(10YR3/3)砂質、黒色土を斑状に10%・炭化物2%含む、人為堆積か
7.灰オリーブ褐色(2.5GY3/1)砂質、黒色泥炭土を斑状に20%含む
8.褐色(10YR4/4)砂質、しまり強

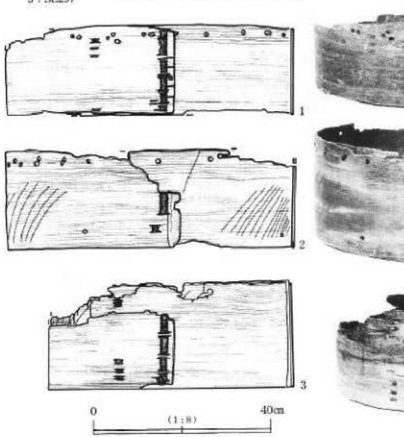


第88図　井戸跡C型（55）　SE290・291

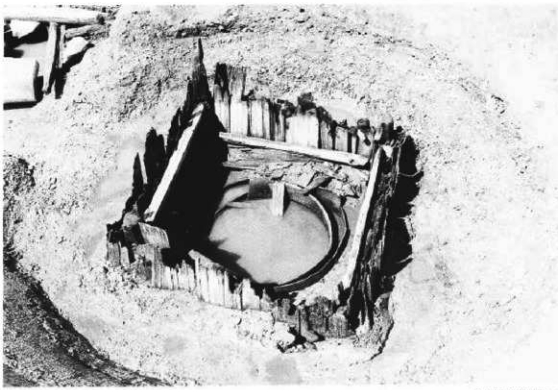


SE296
1.黒褐色(10YR3/2)砂質、黒色土15%・地山10%・炭化物3%含む、人為堆積
2.オリーブ黒色(5Y3/1)砂層、黒色土10%・炭化物5%含む、人為堆積
3.暗オリーブ灰色(2.5GY5/1)砂層、しまり弱、黒色土を斑状に5%含む、井戸枠内に堆
4.暗褐色(10YR3/3)砂質、地山30%・小礫3%含む

SE297
5.黒褐色(10YR3/1)砂質、暗褐色土の粘土質シルトを斑状に5%・地山5%含む
6.黒褐色(10YR3/2)砂質、地山を斑状に20%含む
7.黒色(7.5Y2/1)シルト層、しまり弱、礫混在の物質多量に含む
8.暗オリーブ灰色(2.5GY3/1)砂層
9.黒褐色(10YR3/2)砂質(第5上)、オリーブ黒色土を斑状に20%・地山20%含む



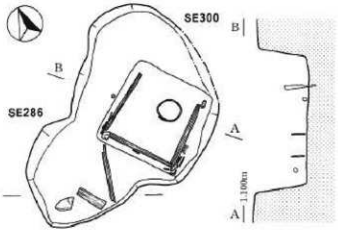
第89図　井戸跡C型（56）　SE296、SE297（D型）（1）

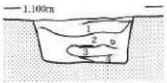


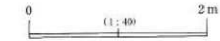
SE296全景(南→)

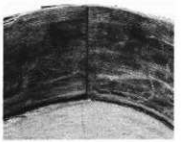
SE297部材・曲物検出状況(南→)

第90図　井戸跡C型（57）　SE296、SE297（D型）（2）









SE286
1.オリーブ褐色(5Y4/3)砂層、オリーブ黒色土を斑状に5%・小礫3%含む、人為堆積
2.灰オリーブ色(7.5Y4/2)砂層、オリーブ黒色土を斑状に20%・炭化物1%含む、人為堆積
3.灰オリーブ色(5Y4/2)砂層、オリーブ黒色土を斑状に10%・炭化物2%含む、人為堆積
4.黒色(N2/0)シルト層、しまり弱、グライ化地山を斑状に10%含む、人為堆積

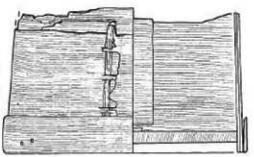


写真1：SE300出土の曲物容器
（上：内面、下：実測図・
成形が残る）
2：SE286・300全景（北→）
（手前：SE300、右上：SE286）

第91図　井戸跡C型（58）　SE300、SE286（F型）

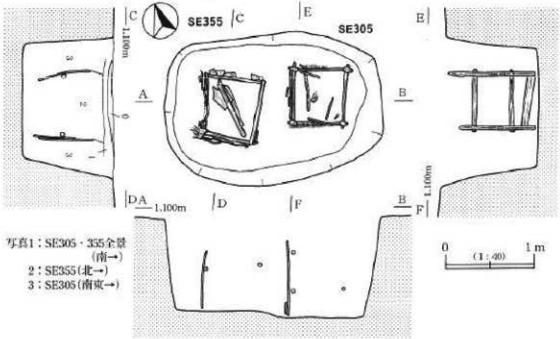
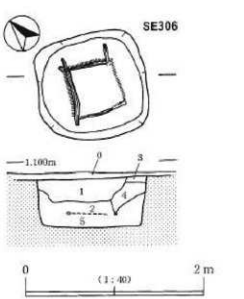


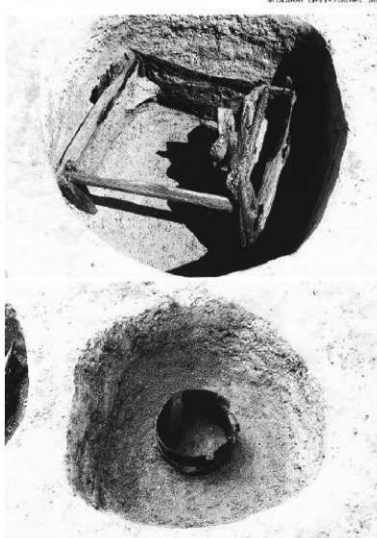
写真1：SE305・355全景
（南→）
2：SE355（北→）
3：SE305（南東→）

SE355
0.耕作土
1.オリーブ黒色(5Y3/1)細砂層、しまり強、炭化物2%含む
2.暗オリーブ褐色(2.5Y3/3)砂層、小礫5%・地山を局部に5%含む
3.オリーブ黒色(2.5Y4/3)砂質(粘)土、地山を現状に10%・小礫2%含む

第92図　井戸跡C型（59）　SE305、SE355（D型）



※SE308 部材の黒は、焦げている範囲



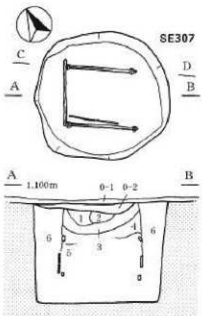
SE306
0.肘木田圃作土
1.黒褐色(2.5N3/1)砂層、小礫5%・地山を斑状に5%含む
2.黒色(5Y2/1)シルト層、小礫3%・炭化物2%・地山少量含む
3.黒褐色(10YR3/2)砂質[裏込土]、小礫20%・炭化物2%含む
4.オリーブ黒色(5Y3/1)[裏込土]掘形埋土、地山を斑状に5%・小礫2%含む
5.にぶい黄褐色(10YR4/3)粘土質シルト層、自然堆積

SE308
1.オリーブ黒色(5Y3/2)砂層、しまり強、地山を斑状に10%含む
2.黒褐色(10YR3/1)砂層、地山を斑状に30%・炭化物3%含む、人為堆積
3.オリーブ黒色(5Y3/1)砂層、地山を斑状に5%・炭化物3%含む、人為堆積
4.褐色(10YR4/4)粗砂層、小礫15%・オリーブ黒色土を斑状に5%含む、ボソボソする、人為堆積
5.黒褐色(10YR3/1)砂層、地山5%含む
6.暗オリーブ色(5Y4/3)[裏込土]掘形埋土、小礫多量・オリーブ黒色土5%含む、ボソボソする
7.オリーブ黒色(5Y3/1)砂層[裏込土]、小礫10%・地山を斑状に10%含む、ボソボソする

SE314
0.黒褐色土(10YR3/1)、旧水田圃作土
1.暗褐色(10YR3/3)砂層、オリーブ黒色土を斑状に20%・地山20%・小礫2%含む、人為堆積
2.オリーブ黒色(5Y3/2)砂層、オリーブ黒色土を斑状に30%・地山10%含む、人為堆積
3.オリーブ黒色(5Y3/1)砂層、地山10%・炭化物2%含む、人為堆積
4.黒褐色(10YR3/2)砂質[裏込土]、地山を斑状に30%含む

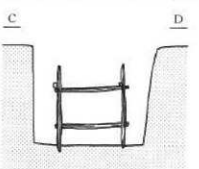
写真1：SE308 全景(南→)
2：SE314 全景(東→)

第93図　井戸跡C型（60）　SE306・308、SE314（E型）



SE307部材検出状況（北西→）

SE307
01.黒褐色土(10YR3/1) 02.オリーブ黒色(5Y3/1)杭堰旧木田耕作土
1.オリーブ褐色(2.5Y4/3)粗砂,小礫10%含む,人為堆積か
2.黒色(5Y2/1)細砂層,地山15%・炭化物2%・小礫2%含む,人為堆積か
3.黒褐色(10YR3/1)砂層,地山を斑状に5%・炭化物5%・小礫2%含む,人為堆積か
4.黒褐色(10YR3/2)砂層,地山を斑状に15%・小礫10%含む,人為堆積か
5.黒色(5Y2/1)シルト層,ラミ(化石)15%含む
6.黒褐色(2.5Y3/1)砂層(氾濫土),地山20%・小礫5%含む



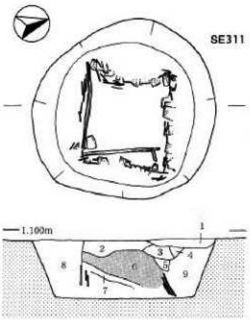
北面横板（長さ76cm×幅11cm×厚さ0.4cm）

南・東面横板として転用された組板
写真上半分が南面に、下が東面にそれぞれ分割転用

※隅柱は同一材を「みかん割」にして使用。全て樹皮が残る。左から北西・南東・北東・南西隅柱が写真のように接合する。北西隅柱は長さ96cm×幅8cm×厚さ4.5cm。

「みかん割」模式図

第94図　井戸跡C型（61）　SE307

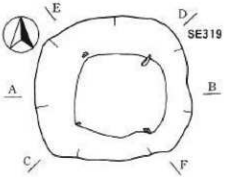


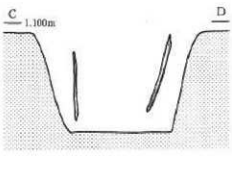
SE311 シジミ貝層(6層)検出状況(西→)

SE311
1.黒褐色(10YR3/1)砂質、しまり強、地山を斑状に5%・炭化物3%含む、自然堆積か
2.黒褐色(2.5Y3/1)砂質、しまり強、地山をブロック状に20%・炭化物2%含む、人為堆積
3.黒色(5Y2/1)シルト質、地山を斑状に5%含む、人為堆積
4.黒褐色(10YR3/2)砂質、地山を斑状に3%・炭化物2%含む、人為堆積
5.黒色(N2/0)粘土質、しまりなし、地山をブロック状に2%含む、人為堆積
6.オリーブ黒色土(5Y3/1)シジミ貝の層で構成される層、貝殻と貝殻の隙間に土少量含む、井戸側内に充填、人為堆積
7.オリーブ黒色(5Y3/1)砂質、地山を斑状に10%含む、人為堆積
8.褐灰色(10YR5/1)砂質(裏込土)、地山をブロック状に15%・炭化物3%含む
9.オリーブ褐色(5Y4/3)砂質(裏込土)、炭化物3%・地山3%

井戸側部材検出状況(北→)

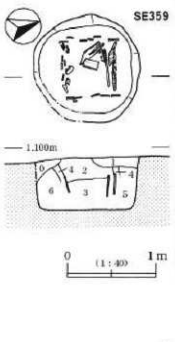
第95図　井戸跡C型（62）　SE311





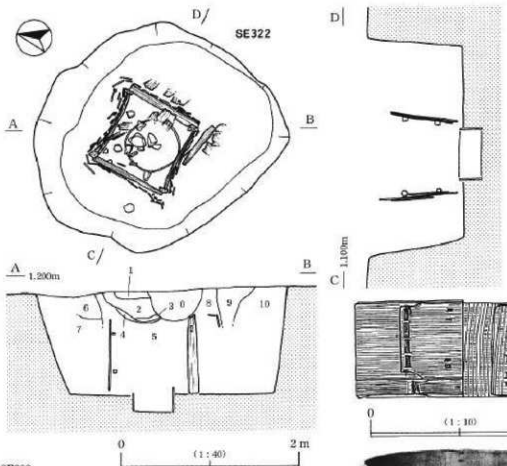
SE319
1.黒色(10Y2/1)砂層、地山を現状に5%・炭化物2%含む
2.黒色(5Y2/1)砂層、しまり強、炭化物5%・地山5%含む
3.褐色(10YR4/4)砂層、黒色土を現状に3%・小礫1%含む
4.黒色(7.5Y2/1)砂層、小礫2%・炭化物1%含む
5.灰オリーブ色(5Y4/2)砂層、黒色土を現状に15%・小礫2%含む
6.褐色(10YR4/4)砂層
7.にぶい黄褐色(10YR4/3)砂層[掘込土]、黒色土を現状に30%含む

SE359
0.旧水田耕作土
1.褐色(10YR4/4)砂層、黒褐色土を現状に10%・小礫5%含む
2.黒褐色(10YR3/1)砂層、地山を現状に5%・炭化物2%含む、人為堆積か
3.黒褐色(2.5Y3/1)砂層、地山を現状に8%・黒色土を現状に5%・炭化物2%含む、人為堆積か
4.黒褐色(10YR3/2)砂層[掘込土]、地山を現状に15%・炭化物3%含む
5.灰褐色(10YR5/2)砂層[掘込土]、地山10%・炭化物5%含む
6.にぶい黄褐色(10YR4/3)砂層[掘込土]、オリーブ黒色土を現状に5%・炭化物2%含む



SE359 全景(西→)

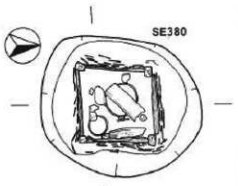
第96図　井戸跡C型(63)　SE319・359



SE322
0.オリーブ褐色土(5Y4/3)現通側溝
1.黒褐色(10YR3/1)砂層,地山を現状に2%含む
2.黒色(N2/0)シルト層,地山を現状に2%含む
3.にぶい黄褐色(10YR4/3)砂層
4.黒色(7.5Y2/1)細砂層,しまり弱,グライ化地山を現状に5%含む
5.オリーブ黒色(5Y3/1)砂層,グライ化地山を現状に5% 炭化物2%含む
6.黒褐色(10YR3/1)砂層,黒色土を現状に2%・地山を現状に5%・小礫2%含む.　6～10[第15土]
7.褐色(10YR4/4)砂質,小礫2%含む,地山よりやや明い
8.オリーブ黒色(5Y3/1)砂層,地山を現状に5% 炭化物2%含む
9.黒褐色(10YR3/2)砂層,地山を現状に15%・炭化物3%・小礫2%含む
10.黒褐色(10YR3/1)砂層,地山を現状に5%・炭化物1%含む

写真1：木留に使用の曲物(上：実測図)
2：部材等出土状況(北→)、3：全景(西→)

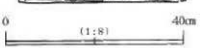
第97図　井戸跡C型（64）　SE322



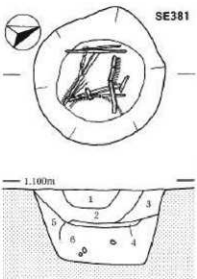
SE380
1.黒褐色(10YR3/2)砂層、地山を現状に15%炭化物1%含む
2.黒褐色(10YR3/2)砂層、地山5%炭化物3%含む
3.暗褐色(10YR3/3)砂層、地山を現状に10%含む
4.黒褐色(10YR2/1)砂層、炭化物5%・地山を現状に3%含む
5.にぶい黄褐色(10YR4/3)砂層、オリーブ黒色土を現状に30%含む
6.黒褐色(7.5YR3/2)シルト層
7.オリーブ黒色(5Y3/1)砂層、しまり弱、グライ化地山を現状に5%含む、自然堆積
8.暗褐色(10YR3/3)砂層(黄土)、土、地山を現状に30%・黒褐色土を現状に20%含む

1 写真1：井戸側内に遺棄された曲物容器
(右：実測図)
2：水溜に使用の曲物(上：実測図)

写真3：部材・礫出土状況
(北→)
4：全景(北→)

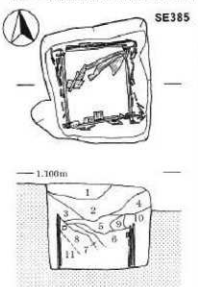


第98図　井戸跡C型（65）　SE380

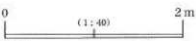


SE381全景（東→）

SE381
1.黒褐色(2.5Y3/1)砂質、地山3%・炭化物1%含む
2.黒褐色(10YR2/1)砂質、地山を斑状に10%・黄褐色土の粘土質シルトを
ブロック状に3%、木成堆積か
3.黒褐色(2.5Y3/1)砂質、地山5%・炭化物2%含む
4.暗褐色(7.5YR3/3)粘砂質、しまり強、小礫5%含む
5.暗褐色(10YR3/3)砂質(黒色土)、地山を斑状に15%・炭化物2%含む
6.オリーブ黒色(5Y3/1)砂質、地山を斑状に10%・炭化物3%含む

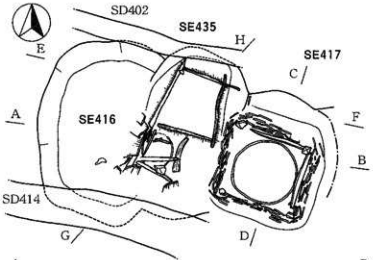


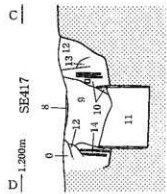
SE385全景（西→）

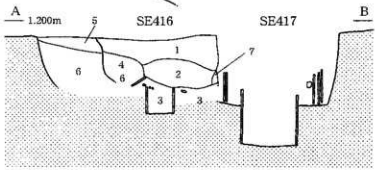


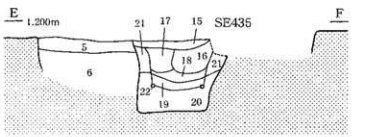
SE385
1.黒褐色(10YR3/2)砂質、地山5%・炭化物3%含む、人為堆積
2.黒褐色(10YR3/1)砂質、地山を斑状に10%・炭化物3%含む、人為堆積
3.オリーブ黒色(5Y3/1)砂質、炭化物5%含む、人為堆積
4.黒褐色(10YR3/2)砂質、地山10%・炭化物1%含む、人為堆積
5.オリーブ黒色(5Y3/1)砂質、地山3%・炭化物2%含む、人為堆積
6.暗褐色(10YR3/3)砂質、地山を斑状に10%含む、水成堆積か
7.暗オリーブ褐色(2.5Y3/3)砂質、地山5%・炭化物2%含む、水成堆積か
8.暗褐色(10YR3/3)砂質、地山10%含む、水成堆積か
9.暗褐色(10YR3/3)砂質、地山を斑状に50%含む、人為堆積
10.オリーブ黒色(5Y3/1)砂質、地山15%・炭化物3%含む、人為堆積
11.オリーブ黒色(5Y3/1)砂質、地山をブロック状に3%・炭化物2%含む、人為堆積

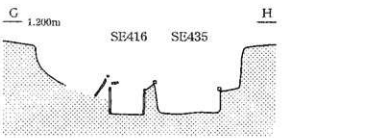
第99図　井戸跡C型（66）　SE381・385











SE416

1.黒褐色(10YR3/2)砂層、小礫3%・地山を現状に2%・炭化物1%含む、人為堆積
2.黒褐色(10YR3/1)砂層、小礫10%・地山を現状に5%・炭化物1%含む、人為堆積
3.オリーブ黒色(5Y3/1)砂層、地山を現状に2%含む、人為堆積
4.暗褐色(10YR3/3)砂質[裏込土]、地山を現状に10%・炭化物2%・小礫1%含む
5.暗オリーブ褐色(2.5Y3/3)砂層、黒褐色土を現状に3%・炭化物2%含む、[裏込土]か
6.オリーブ褐色(2.5Y4/3)砂層、黒褐色土を現状に3%・炭化物2%含む、[裏込土]か
7.オリーブ褐色(2.5Y4/3)砂層、6とほぼ同じ

SE417

8.黒褐色(10YR3/2)砂層、地山5%・炭化物3%含む
9.褐色(10YR4/4)砂層、一結理土
10.暗褐色(10YR3/3)砂層、地山30%・小礫2%含む、一括堆土
11.オリーブ黒色(5Y3/1)砂層、小礫2%・地山を現状に微量含む、一括埋土
12.暗褐色(10YR3/4)砂層[裏込土]、地山10%・炭化物5%含む
13.にぶい黄褐色(10YR4/3)[裏込土]粘土質シルト層、地山を現状に20%含む
14.暗オリーブ褐色(2.5Y3/3)砂層[裏込土]、地山10%・炭化物2%含む

SE435

15.黒褐色(10YR2/2)砂層、しまり強、地山を現状に5%・小礫1%含む、自然堆積か
16.黒褐色(10YR3/2)砂層、地山を現状に5%・炭化物1%・小礫1%含む、人為堆積
17.黒褐色(10YR3/2)砂層、地山を現状に15%・小礫3%・炭化物2%含む、人為堆積
18.黒色(5Y2/1)砂層、地山を現状に10%含む、人為堆積
19.オリーブ黒色(7.5Y3/2)砂層、グライ化地山を斑状に50%・炭化物2%含む、人為堆積
20.暗オリーブ灰色(2.5GY3/1)砂層、オリーブ黒色土を斑状に15%含む、人為堆積
21.暗褐色(10YR3/3)砂層、地山10%・炭化物2%・小礫少量含む、人為堆積
22.黒褐色(10YR3/1)砂層、オリーブ黒色土を斑状に10%・地山10%含む、人為堆積

第100図　井戸跡C型（67）　SE417・435、SE416（D型）（1）

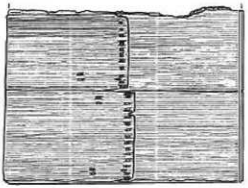
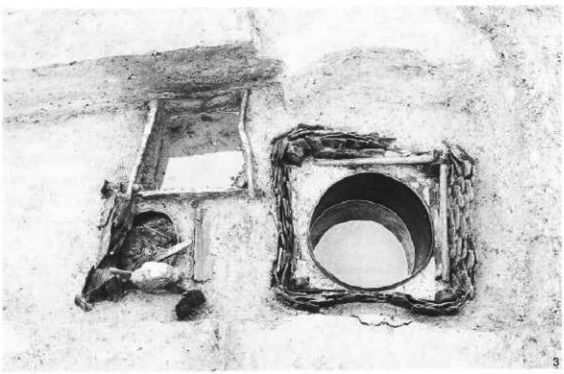


写真1：SE416 木組に使用の曲物（上：実測図）
2：SE417 木組に使用の曲物（上：実測図）
3：SE416・417・435 全景（南→）
（右：SE417、左手前：SE416、左奥：SE435）



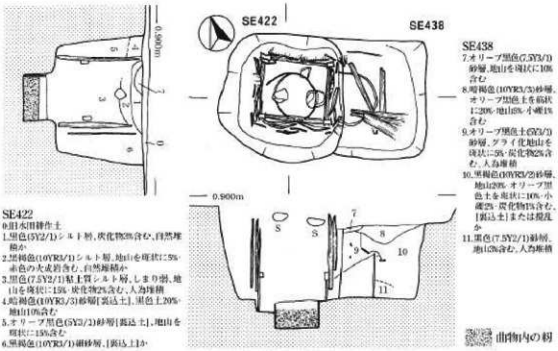
第101図　井戸跡C型（68）　SE417・435、SE416（D型）（2）

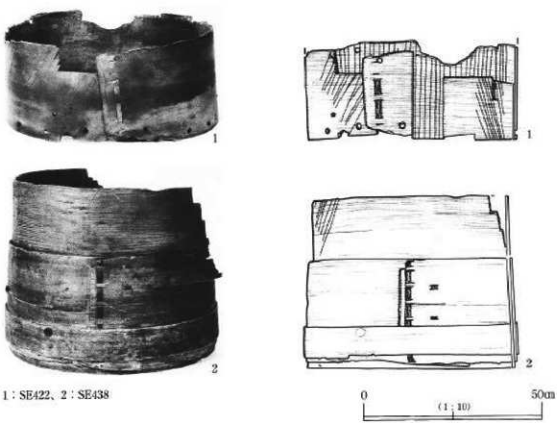
SE417全景(北→)

SE416全景(南→)

SE435全景(西→)

第102図　井戸跡C型（69）　SE417・435、SE416（D型）（3）





第103図　井戸跡C型（70）　SE422、SE438（D型）（1）

1

2

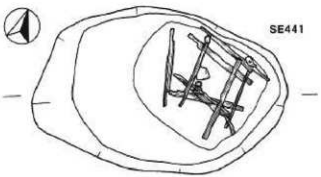
3

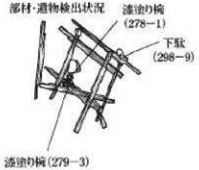
4

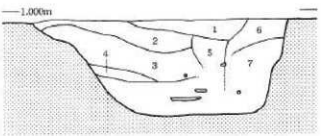
SE422北面縦板（92×35×6.5cm）
表裏面に多数の刃物痕あり、
組板として使用後に縦板に転用か

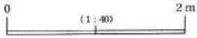
写真1：SE422全景（北→）
2：SE422・438全景（南→）
3：SE438全景（北東→）
4：SE422・438部材・曲物検出状況（南→）
SE422縦板除去後に撮影

第104図　井戸跡C型（71）　SE422、SE438（D型）（2）

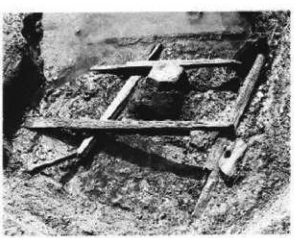






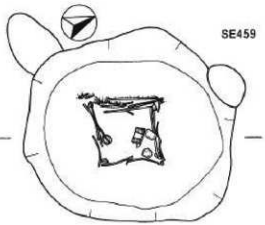


SE441
1.黒褐色(2.5Y3/1)砂層、地山ブロック(5～10cm)10%、炭化物2%含む、人為堆積
2.暗褐色(10YR3/3)砂層、地山を斑状に20%、黒褐色土を斑状に5%、小礫3%、炭化物2%含む、人為堆積
3.黒褐色(10YR3/2)砂層、黒色土を斑状に20%及びブロック状に5%、地山を斑状に15%、小礫2%含む、水成堆積か
4.黒色(7.5Y2/1)シルト層、しまり弱、小礫1%、地山微量含む、水成堆積か
5.黒褐色(2.5Y3/2)砂層、地山を斑状に10%含む、人為堆積
6.黒褐色(10YR3/1)砂層、地山を斑状に5%、炭化物2%含む、人為堆積
7.黒色(5Y2/1)細砂層、地山を斑状に3%、炭化物1%含む、人為堆積

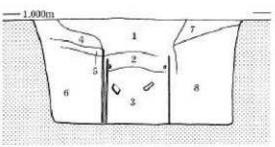


1：部材・遺物検出状況(東→)
2：漆器出土状況
3：全景(南→)

第105図　井戸跡C型（72）　SE441



部材・遺物検出状況



SE459
1.黒褐色(10YR3/1)砂層,地山5%・小礫2%・炭化物1%含む
2.オリーブ黒色(5Y3/1)砂質,地山を斑状に2%含む
3.黒色(5Y2/1)シルト質,しまり弱,地山5%含む
4.黒褐色(10YR3/2)砂層[裏込土],地山を斑状に10%・炭化物2%・小礫1%含む
5.黒色(5Y3/1)砂層[裏込土],地山20%・小礫2%・炭化物1%含む
6.にぶい黄褐色(10YR4/3)砂層[裏込土],黒色土を斑状に5%含む
7.暗褐色(10YR3/3)砂層[裏込土],地山を斑状に5%・小礫1%含む
8.暗褐色(10YR3/4)砂層[裏込土],オリーブ黒色土を斑状に20%・地山20%・小礫1%含む

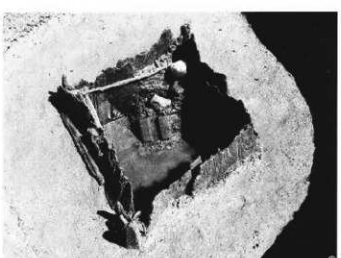
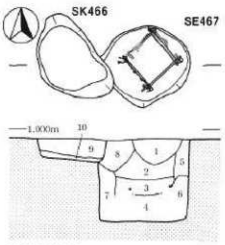


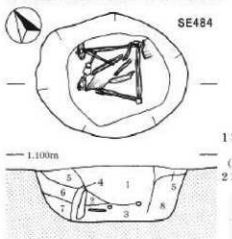
写真1：遺物出土状況・桁杓と浮子(北→)
　　3暗黒土
　2：遺物出土状況・下駄(南→)3暗黒土、
　　上に見えるのが礫
　3：井戸側全景(南西→)

第106図　井戸跡C型（73）　SE459



SE467・SK466
1.黒褐色(10YR2/2)砂質、炭化物5%・焼褐色の砂をブロック状に5%・黄褐色砂3%含む、人為堆積
2.黒褐色(10YR2/1)砂質、地山をブロック状に15%炭化物1%含む、人為堆積
3.オリーブ黒色(5Y3/1)細砂質、地山を斑状に2%・小礫2%・炭化物1%含む、人為堆積
4.黒色(5Y2/1)シルト質、しまり弱、地山を斑状に2%含む、人為堆積
5.黒褐色(2.5Y3/2)砂質(裏込土)、地山を斑状に15%・小礫5%含む
6.オリーブ褐色(2.5Y4/3)砂質、オリーブ黒色土を斑状に30%含む、人為堆積
7.暗褐色(10YR3/3)砂質(裏込土)、地山を斑状に30%・小礫2%含む
8.にぶい黄褐色(10YR4/3)砂質、オリーブ黒色土を斑状に30%含む、人為堆積
9.黒褐色(10YR2/2)砂質、地山を斑状に5%・小礫少量含む
10.暗褐色(10YR3/3)砂質、地山20%・小礫2%・炭化物1%含む

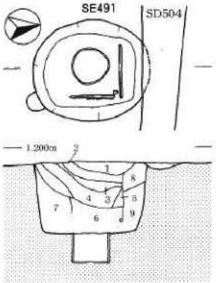
SE467　全景(西→)

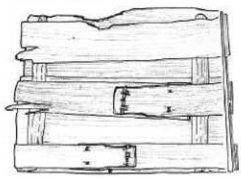


SE484
1.黒褐色(10YR3/2)砂質、地山5%・炭化物2%含む、人為堆積
2.暗褐色(10YR3/3)砂質、地山20%・炭化物1%含む、人為堆積
3.オリーブ黒色(5Y2/1)シルト質、しまり弱、地山5%・小礫2%・炭化物1%含む、人為堆積
4.黒褐色(10YR3/1)砂質(裏込土)、地山を斑状に2%含む
5.暗褐色(10YR3/3)砂質(裏込土)、地山を斑状に10%・小礫3%含む
6.暗オリーブ灰色(2.5GY3/1)砂質(裏込土)、オリーブ黒色シルト質土20%・地山10%含む
7.暗褐色(10YR3/4)砂質(裏込土)、しまり弱、オリーブ黒色シルト質土5%・地山5%・小礫2%含む
8.暗褐色(10YR3/4)砂質(裏込土)、地山30%・オリーブ黒色土20%・小礫3%含む

1：SE484　遺物出土状況
(1層中出土の鎌鉢)
2：同上全景(南西)

第107図　井戸跡C型（74）　SE467・484、SK466





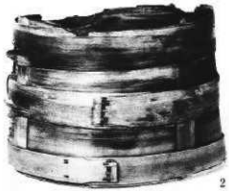
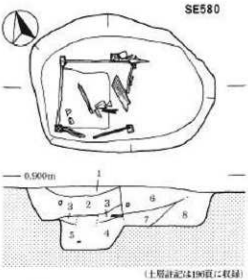
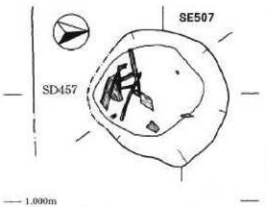


写真1：SE491全景（西→）、
2：SE491木樋に使用の曲物（左：実測図）

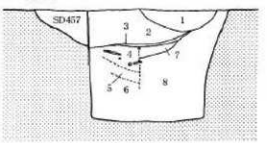


3：SE580全景（南→）

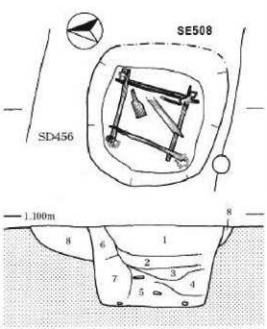
第108図　井戸跡C型（75）　SE491・580



SE507
1.黒褐色(10YR3/2)砂層、地山を現状に5%・炭化物2%・小礫2%含む
2.黒褐色(10YR3/1)砂層、地山を現状に3%・炭化物3%・小礫2%含む
3.にぶい黄褐色(10YR4/3)粘土層、しまり弱、地山20%含む
4.オリーブ黒色(5Y3/1)シルト層、地山10%・炭化物1%含む
5.暗オリーブ褐色(2.5Y3/3)砂層、オリーブ黒色土を現状に10%・炭化物3%含む
6.オリーブ黒色(5Y3/1)[裏込土]粘土質シルト層、しまり弱、炭化物1%・大礫1個含む
7.黒褐色(7.5YR3/1)シルト層、しまり弱、地山2%・炭化物2%含む
8.オリーブ黒色(7.5Y3/1)シルト層、地山を3%・炭化物2%含む



SE508
1.黒褐色(10YR3/1)砂層、地山を現状に3%・炭化物1%・小礫2%含む、人為堆積
2.黒色(5Y2/1)砂層、地山をブロック状に5%・炭化物2%含む、人為堆積
3.黒色(5Y2/1)シルト層、地山を現状に3%・炭化物1%含む、人為堆積
4.黒色(5Y2/1)シルト層、しまり弱、小礫少量・地山少量含む、人為堆積
5.オリーブ黒色(5Y2/1)シルト層、しまり弱、草多量に含む、人為堆積
6.暗褐色(10YR3/4)砂層[裏込土]、地山を現状に20%含む
7.黒色(5Y2/1)[裏込土]シルト層、地山を現状に15%・炭化物2%含む



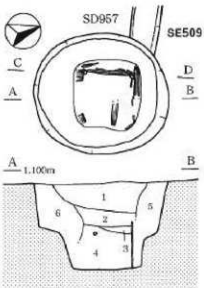
SD456
8.オリーブ黒色(5Y3/1)砂層[裏込土]、地山をブロック状に10%・炭化物1%含む

1

2

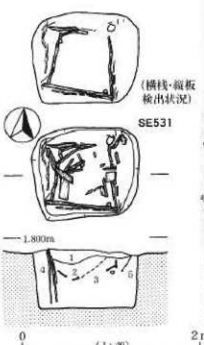
1：SE508部材出土状況(南→)、2：全景(南→)

第109図　井戸跡C型（76）　SE507・508



SE509全景（南→）

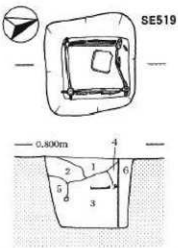
SE509
1.黒褐色(10YR3/1)砂層、地山を斑状に5%　炭化物5%含む、人為堆積
2.黒褐色(10YR3/2)砂層、暗褐色土を斑状に15%　炭化物2%含む、木成堆積
3.黒色(5Y2/1)粘土層、地山15%含む、木成堆積
4.オリーブ黒色(5Y3/1)シルト層、しまり弱、地山を斑状に5%含む、木成堆積
5.褐灰色(10YR5/2)砂層[粗土]、オリーブ黒色土を斑状に20%　小礫2%含む
6.黒褐色(10YR3/2)砂層[粗土]、暗褐色土を斑状に15%含む



SE531全景（西→）

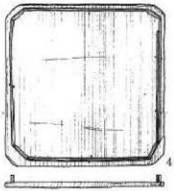
SE531
1.黒褐色(10YR3/2)砂層、地山を斑状に15%　炭化物2%含む
2.オリーブ黒色(5Y3/1)砂層、グライ化地山を斑状に5%含む、木成堆積
3.黒色(5Y2/1)シルト層、グライ化地山を斑状に10%含む、木成堆積
4.黒色(5Y2/1)粗土[1400層]、炭化物1%　地山少量含む
5.暗オリーブ灰色(2.5GY3/1)砂層[粗土]、オリーブ黒色土を斑状に20%含む

第110図　井戸跡C型（77）　SE509・531

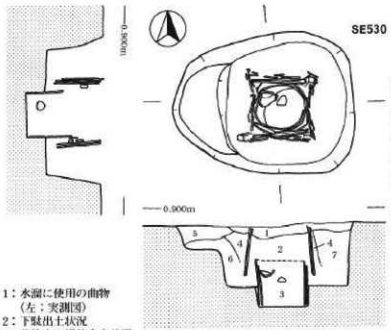


SE519
1.暗褐色(10YR3/4)砂層、地山ロ20%・オリーブ黒色土を斑状に10%小礫1%含む、人為堆積
2.暗オリーブ灰色(2.5GY3/1)砂層、小礫2%含む、人為堆積
3.オリーブ黒色(5Y2/1)シルト層、しまり弱、地山ロ5%・小礫2%含む、人為堆積
4.黒褐色(10YR3/1)砂層、地山ロ20%・炭化物少量含む、人為堆積
5.暗オリーブ灰色(2.5GY4/1)粗砂層、小礫2%含む、グライ化地山ロ近い、人為堆積
6.オリーブ黒色(5Y3/2)砂質[裏込土]、グライ化地山ロ5%・灰色の粘土を斑状に5%含む

写真1：遺物出土状況(折敷、3層中、実測図4、283－1)
2：全景(西→)
3：同上(南→)

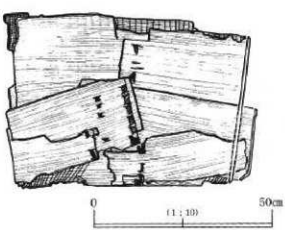


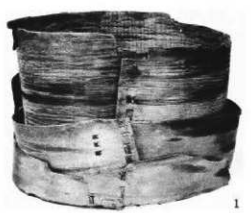
第111図　井戸跡C型（78）　SE519



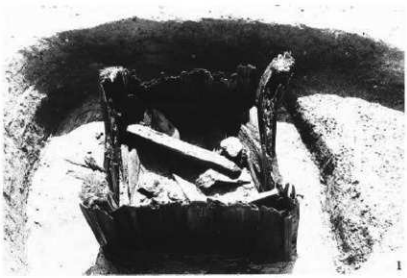
SE530
1.褐色(10YR4/4)砂層、しまり強、オリーブ黒色土を斑状に10%・小礫3%含む、人為堆積
2.オリーブ黒色(5Y3/1)砂層、グライ化地山を斑状に10%含む、水成堆積
3.黒褐色(2.5Y3/1)シルト層、地山を斑状に3%含む、水成堆積
4.オリーブ黒色(5Y3/1)砂層(裏込土)、灰色土の粘土を斑状に10%・地山5%含む
5.暗褐色(10YR3/3)砂層、しまり強、地山20%・オリーブ黒色土を斑状に15%・小礫2%含む、人為堆積
6.オリーブ黒色(5Y3/2)砂質(裏込土)、グライ化地山15%・灰色の粘土を斑状に5%含む
7.オリーブ黒色(5Y3/2)砂層(裏込土)、グライ化地山を斑状に10%含む

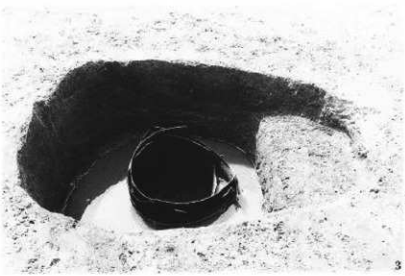
1：水漏に使用の曲物
（左：実測図）
2：下駄出土状況
3：曲物内の植鉢出土状況

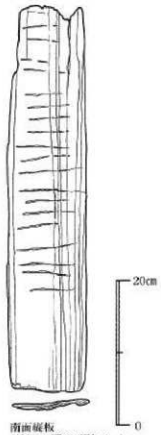




第112図　井戸跡C型（79）　SE530（1）



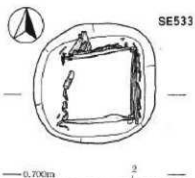




南面底板
（長さ54×幅12×厚さ1.3cm）
図示面に20本の並行する線刻あり

写真1：SE530 部材等検出状況
（北→）
2：同上全景（南東→）
3：同上曲物検出状況（北→）
隅柱・横桟・縦板除去後

第113図　井戸跡Ｃ型（79）　SE530（２）

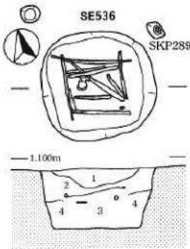


SE533全景（西→）

SE533
1.暗褐色(10YR3/3)砂層、しまり強、地山をブロック状に10%、炭化物1%、小礫1%含む
2.黒褐色(10YR3/1)砂層、しまり強、地山を斑状に15%、炭化物2%、小礫1%含む
3.黒色(10Y2/1)砂層、グライ化地山を斑状に5%含む
4.黒色(5Y2/1)砂層、グライ化地山を斑状に20%、炭化物1%含む、木成堆積か
5.オリーブ黒色(5Y3/1)シルト層、グライ化地山を斑状に10%含む
6.暗オリーブ灰色(2.5GY4/1)砂層[裏込土]、黒色土を斑状に30%含む

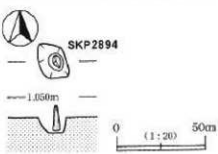
同上部材検出状況（西→）
写真正面は東面、横桟が３段であることが分かる

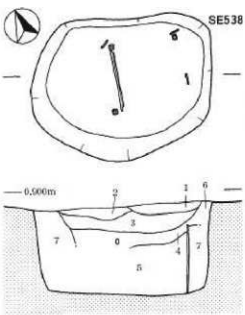
第114図　井戸跡Ｃ型（81）　SE533



SE536全景（東→）

SE536
1.黒色(5Y2/1)砂層、しまり強、地山をブロック状に5%含む極めに5%・炭化物1%含む
2.オリーブ黒色(5Y3/1)砂層、地山を斑状に5%及び極めに5%・炭化物2%・小礫2%含む
3.黒色(5Y2/1)粘土質シルト層、しまり弱、地山を斑状に10%含む
4.黒色(5Y2/1)シルト層、地山を斑状に3%含む、掘込土か

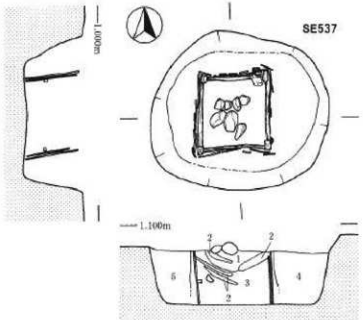




SE538全景（東→）

SE538
1.黒褐色(10YR3/2)粗砂層、小礫5%・炭化物1%含む
2.黒褐色(10YR3/1)砂層、地山を斑状に20%・炭化物2%含む
3.オリーブ黒色(5Y3/1)砂層、グライ化地山を斑状に5%・小礫2%含む
4.オリーブ黒色(5Y3/1)細砂層、グライ化地山を斑状に15%・小礫1%含む
5.暗オリーブ灰色(2.5GY4/1)砂層、オリーブ黒色土を斑状に10%含む、1～5とも人為堆積か
6.オリーブ黒色(5Y3/1)砂質[掘込土]、しまり強、グライ化地山10%含む
7.オリーブ黒色(5Y3/1)砂質[掘込土]、グライ化地山5%・炭化物3%含む

第115図　井戸跡C型（82）　SE536・538



SE537
1.黒褐色(10YR3/1)砂層、地山を斑状に5%含む、炭入～人頭大の礫数個入れられている
2.暗オリーブ灰色土(2.5GY5/1)、地山の流れ込み
3.黒色(5Y2/1)シルト層、グライ化地山を斑状に5%炭化物2%含む
4.暗褐色(10YR3/4)砂層[裏込土]、地山を斑状に20%、オリーブ黒色土を斑状に5%、小礫2%含む
5.黒褐色(10YR3/2)砂層[裏込土]、地山20%・オリーブ黒色土を斑状に15%含む

写真1：SE537確認状況(西→)
　　既に礫が確認できる
2：同上井戸側全景(東→)
　　礫は1層出土
3：同上全景(南西→)
　　縦板除去後、隅柱と横桟の構造が明確に観察できる

第116図　井戸跡C型（83）　SE537

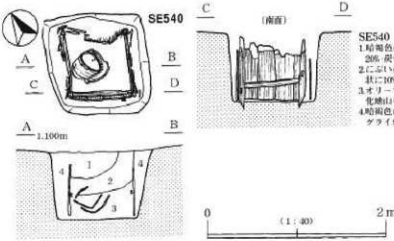


写真1：遺物出土状況(掘跡、260－1)、2：土層堆積状況
(2・3層、砂が細い筋状に堆積しており、人為ではなく自然営力による水成堆積であることが判る)

1

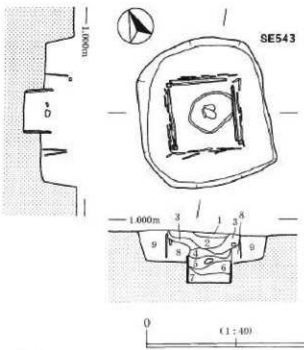
2

3

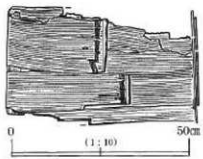
4

写真3：全景(東→)井戸跡内に掘跡(灰褐色土は290－1)と曲物(写真4)が置かれている。
曲物上部と底板内側の一部が焼けていることから廃棄の前段階で火を受けたことが予想される。

第117図　井戸跡C型（84）　SE540



SE543
1.黒褐色(2.5Y3/2)砂層
2.暗オリーブ灰色(2.5GY3/1)砂層、褐色土20%、黒褐色土10%・炭化物2%含む
3.オリーブ黒色(5Y3/1)細砂層、地山10%、炭化物2%含む
4.暗オリーブ灰色(2.5GY3/1)砂層、オリーブ黒色土を斑状に15%含む
5.黒色(5Y2/1)シルト層、地山5%・炭化物2%含む
6.暗オリーブ灰色(5GY3/1)粘層、オリーブ黒色土を斑状に15%含む
7.暗オリーブ灰色(5GY3/1)粘礫層
8.暗オリーブ灰色(2.5GY4/1)砂層、人為堆積
9.褐色(10YR4/4)砂層[掘込上]



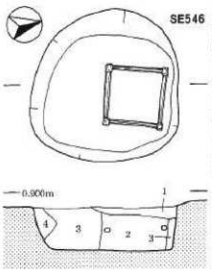
1

2

写真1：水漏に使用の曲物（上：実測4）
2：土層堆積状況(南→)
3：全景(南→)

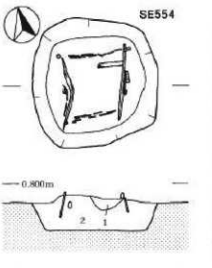
3

第118図　井戸跡C型（85）　SE543

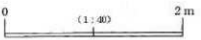


SE546 全景(西→)

SE546
1.黒褐色(2.5Y3/1)砂層、地山を斑状に5%・小礫2%・炭化物1%含む
2.オリーブ黒色(5Y3/1)砂層、グライ化地山を斑状に10%・小礫2%含む
3.暗オリーブ灰色(2.5GY3/1)砂質(掘込土)、小礫5%・オリーブ黒色土を斑状に5%含む
4.暗褐色(10YR3/4)砂層(掘込土)、小礫多量・グライ化地山を斑状に20%含む

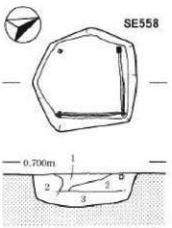


SE554 全景(南→)



SE554
1.黒褐色(2.5Y3/1)砂層、グライ化地山少量含む
2.オリーブ黒色(5Y3/1)砂層、グライ化地山を斑状に30%・炭化物1%・小礫1%含む

第119図　井戸跡C型(86)　SE546・554

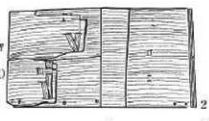


SE558
1.暗オリーブ灰色(2.5GY3/1)砂質,オリーブ黒色土を現状に5%含む,一括埋土
2.暗オリーブ灰色(2.5GY3/1)砂質,しまり強,小礫5%・オリーブ黒色土を現状に5%含む
3.暗褐色(10YR3/4)砂質,一括埋土

SE570
1.黒褐色(10YR3/1)砂質,地山を現状に30%含む
2.暗オリーブ灰色(5GY4/1)砂質,地山を現状に20%含む
3.暗オリーブ灰色(2.5GY3/1)砂質,地山10%・黒褐色土を現状に5%含む
4.暗オリーブ灰色(2.5GY3/1)[注記3,上]砂質岩
5.暗オリーブ灰色(2.5GY4/1)砂質[最古上]
6.にぶい褐色(10YR4/3)砂質,グライ化地山含む,地山に近い

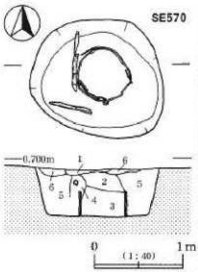
3

写真1：SE558　全景
（西→）
2：SE558　出土曲物
（左：実測図）
（3は内面の状況）
4：SE570　全景
（南→）



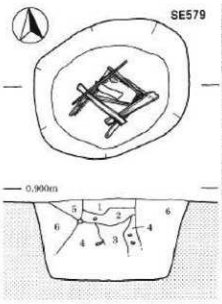
2

2

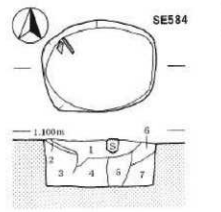


4

第120図　井戸跡C型（87）　SE558・570



SE579
1.黒色(5Y2/1)砂層、しまり強、グライ化地山を斑状に15%含む
2.オリーブ黒色(5Y3/1)砂層、グライ化地山を斑状に20%小礫3%炭化物2%含む
3.暗オリーブ灰色(2.5GY3/1)シルト層、草多量・小礫2%含む
4.オリーブ黒色(5Y3/1)シルト層、しまり弱、導30%・グライ化粘土(10%小礫1%含む
5.オリーブ黒色(5Y3/2)砂層[裏込土]、地山を斑状に30%小礫3%含む
6.暗オリーブ灰色(2.5GY4/1)砂層[裏込土]、しまり強、小礫・オリーブ黒色シルト質土をブロック状に5%含む

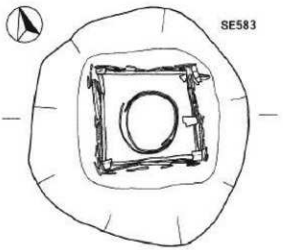


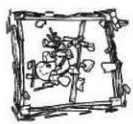
0　(1:40)　2m

SE584
1.黒褐色(10YR3/2)シルト層、小礫2%・炭化物1%含む
2.黒色(2.5Y2/1)砂層、炭化物10%・小礫5%含む
3.オリーブ黒色(5Y3/1)砂層、オリーブ褐色の砂をブロック状に3%含む
4.オリーブ黒色(5Y3/1)砂層、しまり弱、炭化物をブロック状に10%・小礫5%含む
5.オリーブ黒色(5Y3/1)砂層、小礫3%含む
6.にぶい黄橙色(10YR4/3)粗砂層、小礫3%含む
7.灰色(7.5Y4/1)砂層、しまり弱、小礫5%含む

写真1：SE579 全景(南→)　礫検除去後
2：同上部材検出状況(南→)
3：SE584 全景(南→)

第121図　井戸跡C型〔88〕　SE579・584

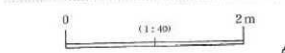




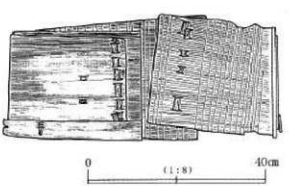
4層上面における部材・遺物出土状況

南面側面図

東面側面図



SE583
1.黒褐色(10YR3/1)砂層.炭化物5%.黄褐色地山を現状に5%含む
2.オリーブ黒色(5Y3/1)砂層.裏込土上.しまり弱.小礫5%.炭化物3%含む
3.黒色(10Y2/1)砂層.炭化物5%含む.礫.木片あり
4.黒褐色(2.5Y3/1)シルト層.炭化物5%含む.礫.木片あり
5.オリーブ褐色(2.5Y4/3)砂層.黄褐色地山(10%.炭化物2%含む
6.黒褐色(10YR3/1)砂層.地山を現状に5%.炭化物3%含む
7.黒褐色(2.5Y3/1)砂層.炭化物2% 地山を現状に3%含む
8.黒褐色(10YR3/1)砂層(裏込土).炭化物2%含む

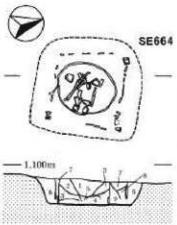


水溜に使用の曲物（上：実測図）

第122図　井戸跡C型（89）　SE583（1）全体図

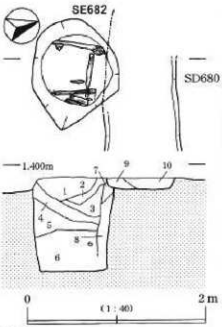
写真1：SE583遺物出土状況
（北東→）
3層上面で多くの礫・陶器が塊を出している
2：同上　土層堆積状況
（北→）
上部が礫等の入っている3層、下に部材等の見えるのは4層
3：SE583全景（南西→）
4：同上　内部の状況
（北西→）
底板を押さえる横桟が2段あり、底面には木製の曲物が埋められている

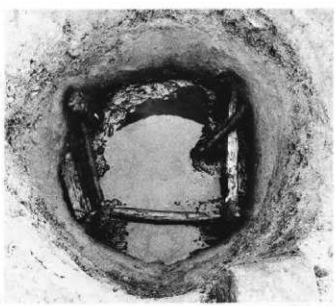
第123図　井戸跡C型（90）　SE583（2）井戸跡写真



SE664全景（東→）

SE664
1.黒褐色(10YR3/1)砂層,地山をブロック状に10%・炭化物2%・小礫1%含む
2.黒褐色(10YR3/2)砂層,地山を斑状に15%・炭化物1%含む
3.黒褐色(2.5Y3/1)砂層,地山を斑状に20%・黒色土を斑状に5%・炭化物3%含む
4.にぶい黄褐色(10YR4/3)砂層,グライ化地山を斑状に20%含む,地山に近い
5.オリーブ黒色(5Y3/1)砂層,しまり弱,炭化物1%・地山を斑状に少量含む
6.暗褐色(10YR3/4)砂層,黒色土を斑状に10%・炭化物2%含む
7.暗褐色(10YR3/3)砂層,オリーブ黒色土を斑状に15%・炭化物1%含む
8.暗褐色(10YR3/4)砂層,しまり弱
9.にぶい黄褐色(10YR4/3)砂層,黒褐色土を斑状に5%・炭化物少量含む

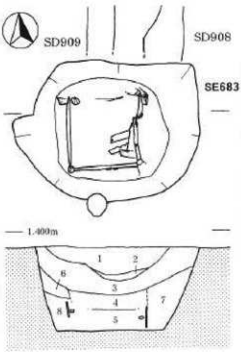


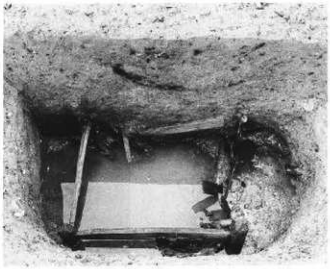


SE682全景（北→）

SE682
1.黒褐色(10YR3/1)砂層,地山を斑状に3%・炭化物1%・小礫少量含む,人為堆積
2.暗褐色(10YR3/3)砂層,地山を斑状に15%・炭化物1%・黒褐色の粘土4×2cmをブロック状に1個含む,人為堆積
3.黒褐色(10YR3/2)砂層,地山を斑状に10%・炭化物1%含む,人為堆積
4.暗褐色(10YR3/4)砂層,黒褐色土を斑状に20%・地山を斑状に30%・炭化物3%含む,人為堆積
5.暗褐色(10YR3/4)砂層,黒褐色土を斑状に15%・炭化物2%含む,人為堆積
6.オリーブ褐色(2.5Y4/3)砂層,黒褐色土を斑状に10%・小礫5%含む,人為堆積
7.黒褐色(10YR3/1)砂層,地山を斑状に10%・炭化物1%含む,人為堆積
8.オリーブ黒色(5Y3/1)砂層(掘込 1),地山を斑状に15%・炭化物1%含む
SD680
9.黒褐色(10YR3/1)砂層,地山を斑状に5%・炭化物1%含む
10.黒褐色(2.5Y3/1)砂層,地山2%含む

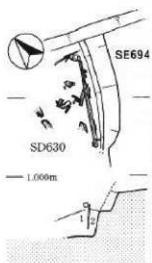
第124図　井戸跡C型（91）　SE664・682





SE683土層堆積状況(南→)

SE683
1.黒褐色(10YR3/2)砂層、しまり強、地山を斑状に10%・炭化物5%含む、人為堆積
2.黒褐色(10YR3/1)砂層、炭化物をブロック状に50%含む、人為堆積
3.黒褐色(10YR3/2)砂層、しまり弱、床面直上の砂を斑状に30%・炭化物5%含む、人為堆積
4.暗褐色(10YR3/3)砂層、しまり弱、炭化物をブロック状に10%含む
5.オリーブ黒色(5Y3/1)砂層、しまり弱、グライ化地山を帯状に30%・炭化物3%・小礫3%含む
6.暗褐色(10YR3/3)[裏込土]崩落層
7.黒褐色(10YR3/2)砂層[裏込土]、しまり弱、炭化物3%含む
8.オリーブ黒色(5Y3/1)砂層[裏込土]、しまり弱、炭化物5%含む



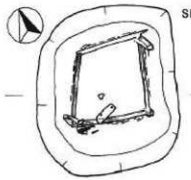
SE694全景(南西→)

北東隅柱
(長さ74cm)
下端に加工痕があり、転用材であることが判る

0　(1:40)　2m

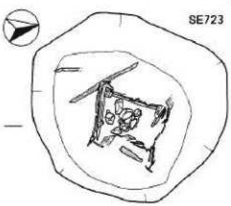
SE694
1.オリーブ黒色(5Y3/1)砂層、グライ化地山を斑状に20%・炭化物2%・小礫2%含む
2.黒褐色(2.5Y3/1)砂層、グライ化地山を斑状に15%・小礫3%・炭化物1%含む

第125図　井戸跡C型（92）　SE683・694



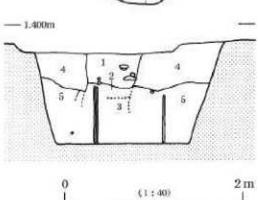
SE700 全景(南→)

SE700
1.黒褐色(10YR3/1)砂質、しまり強、地山を現状に10%・炭化物1%含む、人為堆積
2.オリーブ黒色(5Y3/1)細砂質、地山を現状に3%・炭化物2%・小礫2%含む、人為堆積
3.黒色(5Y2/1)砂質シルト層、黒褐色粘土を3%程に5%・地山を現状に5%含む、人為堆積
4.黒色(7.5Y2/1)シルト層、しまり弱、地山を現状に5%含む、人為堆積
5.黒色(7.5Y3/1)シルト層、しまり弱、グライ化地山を現状に20%含む、人為堆積
6.オリーブ黒色(5Y3/1)砂質(裏込土)、グライ化地山を現状に15%・炭化物2%含む
7.暗オリーブ灰色(2.5GY5/1)砂質、小礫10%・炭化物1%含む、人為堆積
8.黒色(5Y2/1)砂質(裏込土)、地山を現状に5%・小礫1%含む



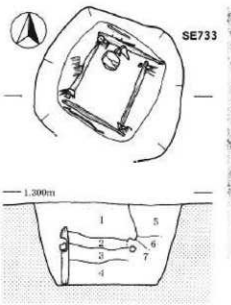
礫除去後における部材等出土状況

SE723
1.黒褐色(2.5Y3/2)砂質、しまり強、地山を現状に5%・小礫2%・炭化物1%含む
2.黒褐色(10YR3/1)粘土質、地山20%・小礫1%・炭化物少量含む
3.オリーブ黒色(7.5Y3/2)砂質、グライ化地山を現状に10%・小礫1%含む
4.オリーブ黒色(5Y3/1)細砂質、地山を現状に5%・炭化物2%・小礫2%含む
5.オリーブ黒色(5Y3/1)細砂質、グライ化地山を現状に2%・炭化物1%・小礫1%含む



SE723 部材検出状況(南→)

第126図　井戸跡C型（93）　SE700・723

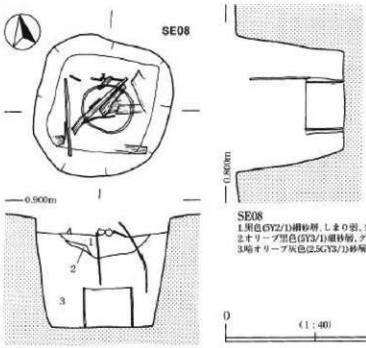


SE733全景（北西→）

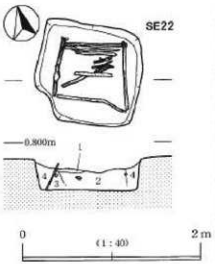
SE733
1.黒褐色土(10YR3/2)砂質、地山を斑状に5%・小礫2%含む
2.黒褐色土(10YR3/1)砂質、地山を斑状に10%・炭化物1%含む
3.オリーブ黒色土(5Y3/1)砂質、地山を斑状に10%・黒色土をブロック状に5%・炭化物少量含む
4.黒色土(5Y2/1)シルト質、しまり弱い、ダライ化地山を斑状に30%含む
5.黒褐色土(2.5Y3/2)砂質、地山を斑状に5%・小礫3%・炭化物1%含む
6.暗褐色土(10YR3/4)砂質、地山をブロック状に10%・炭化物少量含む
7.黒褐色土(10YR3/1)砂質、炭化物3%・地山3%・小礫2%含む

調査風景：調査区中央南側（北東→）

第127図　井戸跡C型（94）　SE733



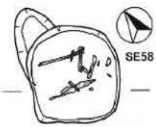
第128図　井戸跡Ｄ型（１）　SE08



※土層断面図作成後土砂崩落し、註記はできなかった

写真1：SE22土層堆積状況（南→）
2：同上全景（南→）
3：同上全景（東→）

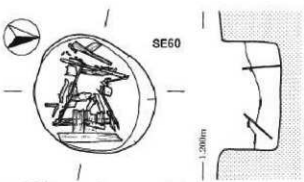
第129図　井戸跡D型（2）　SE22



SE58
1.黒褐色(10YR3/2)細砂層、炭化物少量含む
2.黒褐色(10YR3/1)シルト層、小礫3%・地山を斑状に2%・炭化物を斑状に2%含む
3.オリーブ黒色(5Y3/1)シルト層、小礫2%・地山2%・炭化物1%含む

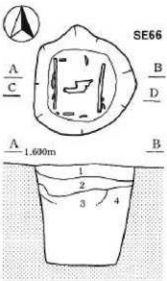
SE58全景(西→)

1：SE60全景(西→)、2：同左(北→)



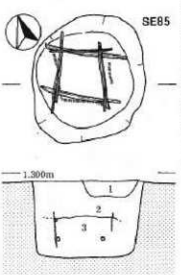
SE60
1.黒色(N2/0)シルト層、地山を斑状に少量含む、自然堆積
2.黒褐色(2.5Y3/1)シルト層、炭化物を斑状に10%・褐色地山2%・小礫2%含む、人為堆積
3.オリーブ黒色(5Y3/1)シルト層、炭化物3%・地山少量含む、人為堆積
4.褐色(10YR4/4)砂質、地山

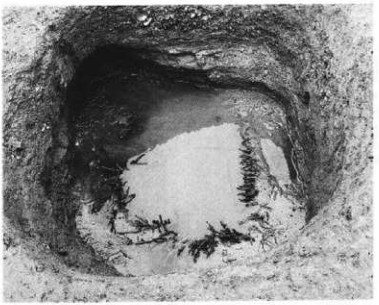
第130図　井戸跡Ｄ型（３）　SE58・60



SE66部材検出状況（北東→）

SE66
1.黒褐色(10YR3/2)シルト層，しまり強，小礫多量・炭化物2%・地山を斑状に含む，人為堆積
2.黒色(N2/0)泥炭シルト層，しまり弱，褐色地山と互層を成す，木成堆積
3.オリーブ黒色(7.5Y3/1)シルト層，しまり弱，小礫3%・炭化物1%含む，自然堆積
4.暗褐色(10YR3/4)砂層，しまり弱，小礫5%・炭化物2%含む，地山に混入物少量含む，自然堆積



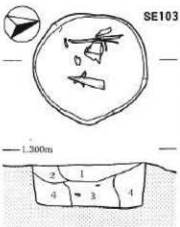


SE85全景（南→）
橫桟未検出段階，炉が見える

SE85
1.暗褐色(10YR3/3)砂層，しまり強，地山20%・小礫3%含む，自然堆積
2.黒褐色(10YR3/2)砂層，地山5%・小礫2%含む，　　埋積土
3.オリーブ黒色(7.5Y3/1)シルト層，しまり弱，人為堆積か

0　(1:40)　2 m

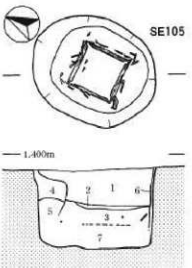
第131図　井戸跡D型（4）　SE66・85

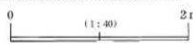


SE103
1.黒褐色(10YR3/1)砂質、地山を斑状に10%・炭化物2%含む、人為堆積か
2.暗褐色(10YR3/4)砂質、地山に黒褐色土5%含む、人為堆積か
3.暗オリーブ灰色(5GY4/1)砂質、しまり弱、黒色土を筋状に含む、自然堆積
4.暗緑灰色(5GY4/1)砂質、しまり弱、黒色土を斑状に含む、自然堆積

1

写真1：SE103全景（東→）





SE105
1.黒褐色(10YR3/2)砂層、炭化物5%・小礫3%含む
2.赤褐色(7.5YR2/3)シルト層、炭化物2%含む
3.黒色(10Y2/1)細砂層、しまり弱、小礫1%・炭化物微量含む
4.暗褐色(10YR3/4)砂層、地山50%・黒色泥炭土を斑状に2%含む
5.暗褐色(10YR3/3)砂層、地山50%・黒色泥炭土を斑状に3%含む
6.暗褐色(10YR3/4)砂層、地山50%含む
7.黒色(5Y2/1)シルト層、しまり弱、腐食した草のような細かい木多量・小礫5%含む

2

3

写真2：SE105土層堆積状況（西→）
3：同上全景（西→）

第132図　井戸跡Ｄ型（５）　SE103・105

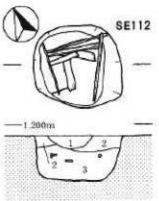
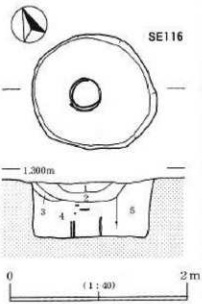
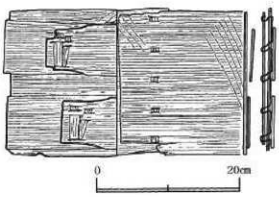


写真1：SE112全景（南→）
2：SE116全景（北→）
3：SE116水溜に使用の曲物
（左：実測図）

※SE112・116の土層注記は196頁に収録





第133図　井戸跡D型（6）　SE112・116

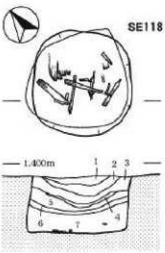
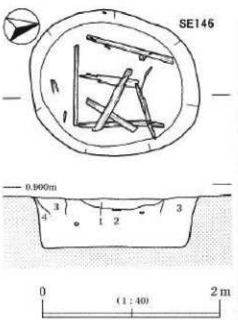
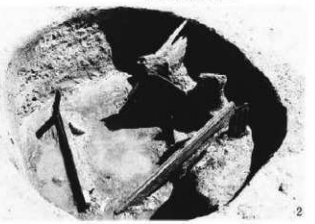


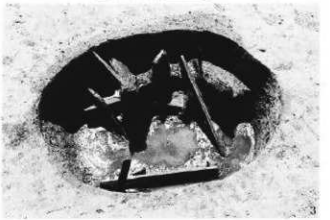
写真1：SE118全景(北→)

SE118
1.黒色(5Y2/1)シルト層，しまり強，小礫5%・炭化物2%含む，自然堆積
2.黒褐色(10YR3/1)砂層，地山5%・炭化物3%含む，自然堆積
3.暗褐色(10YR3/3)砂層，炭化物5%・黒色土を斑状に5%・地山20%含む，自然堆積
4.黒色(N2/0)泥炭シルト層，しまり弱，自然堆積
5.暗オリーブ褐色(2.5Y3/3)砂層，地山10%・黒色土2%・炭化物少量含む，自然堆積
6.黒褐色(2.5Y3/2)砂層，小礫2%含む，自然堆積
7.黒褐色(10YR3/2)シルト層，しまり弱，炭化物2%・小礫2%含む，自然堆積

写真2：SE146部材検出状況(南西→)
3：同上全景(西→)

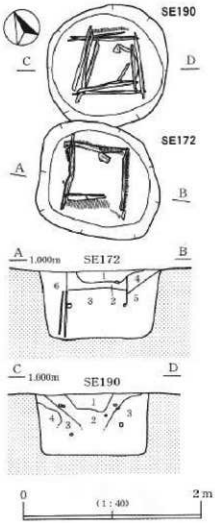






SE146
1.黒色(7.5Y2/1)細砂層，黒褐色粘土質シルト15%・地山を斑状に5%含む
2.オリーブ黒色(5Y3/1)砂層，地山を斑状に30%・炭化物1%含む
3.黒褐色(2.5Y3/1)砂層，地山を斑状に20%・炭化物1%含む
4.暗オリーブ灰色(2.5GY3/1)砂層，暗オリーブ灰色土20%含む

第134図　井戸跡D型（7）　SE118・146



SE190全景（東→）

SE190
1.黒色(N2/0)シルト層、地山を斑状に10%・炭化物2%含む
2.黒色(5Y2/1)砂層、地山を斑状に15%・炭化物1%含む
3.オリーブ黒色(5Y3/2)砂層、黒色シルト質土30%・小礫2%含む
4.黒褐色(2.5Y3/2)砂層、黒色シルト質土20%・小礫1%含む

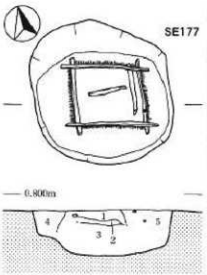
1

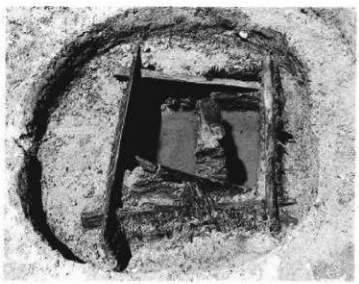
SE172
1.黒色(5Y2/1)シルト層、しまり弱、地山5%・炭化物2%含む、人為堆積か
2.黒色(5Y2/1)砂層、地山を斑状に20%・炭化物2%含む、人為堆積か
3.黒色(7.5Y2/1)シルト層、地山を斑状に15%含む、自然堆積
4.オリーブ色(5Y4/2)砂層[掘込土]、黒色土を斑状に20%・炭化物2%含む
5.黒褐色(2.5Y3/2)[掘込土]砂層
6.暗褐色(10YR3/4)[掘込土]細砂層、小礫15%含む

2

1：SE172部材出土状況（西→）
2：同上全景（東→）

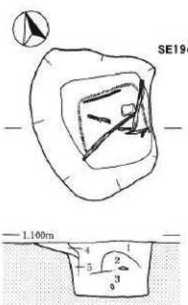
第135図　井戸跡D型（8）　SE172、SE190（C型）





SE177全景（東→）

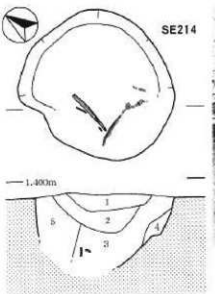
SE177
1.黒色(7.5Y2/1)砂質，グライ化地山を現状に15%小礫3%含む，人為堆積
2.黒色(2.5Y2/1)シルト質，しまり弱，地山5%・焼土・炭化物を含む
3.暗オリーブ灰色(2.5GY3/1)砂質，黒色土を現状に5%含む
4.暗オリーブ灰色(2.5GY3/1)砂質，黒色土を現状に20%含む，人為堆積[裏込土]
5.暗オリーブ灰色(2.5GY4/1)，地山に黒色土を現状に10%含む，[裏込土]

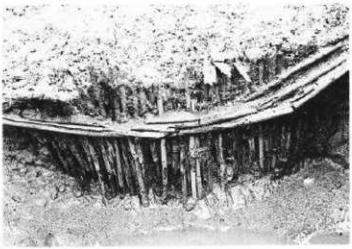


SE194全景（西→）

SE194
1.黒褐色(2.5Y3/1)砂質，しまり強，地山2%・小礫少量含む，人為堆積
2.黒色(7.5Y2/1)砂質，地山3%・炭化物2%含む，人為堆積
3.黒色(2.5GY2/1)砂質，しまり弱，地山を部状に30%・炭化物1%含む
4.オリーブ黒色(5Y2/2)砂質，地山を現状に5%・炭化物2%含む
5.暗オリーブ色(5Y4/3)砂質[裏込土]，オリーブ黒色土を現状に10%・炭化物1%含む

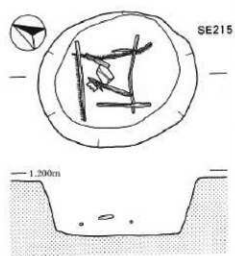
第136図　井戸跡D型（9）　SE177・194





SE214南面に使用された草鞋（北→）
横桟も草の束を利用

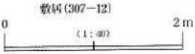
SE214
1.黒褐色(7.5Y3/2)砂質、しまり強、地山ブロック5%・炭化物1%含む、人為堆積
2.黒色(5Y2/1)細砂質、炭化物3%・地山ブロック3%含む、人為堆積
3.黒褐色(10YR3/1)砂質、地山を粒上に30%・黒色シルト質土を粒上に10%含む、自然堆積
4.オリーブ黒色(5Y3/1)砂質、地山ブロック10%・炭化物1%含む
5.灰オリーブ色(5Y4/2)砂質(裏込土)、小礫多量に含む



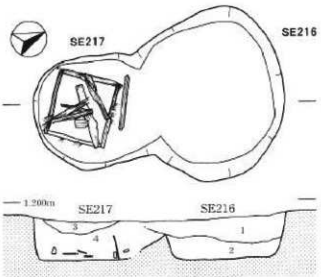
SE215部材・木製品出土状況（北東→）

木製品出土状況

敷板(307－12)



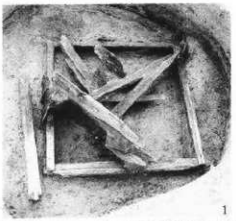
第137図　井戸跡D型（10）　SE214・215



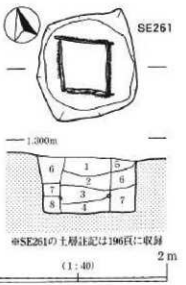
SE216
1.黒褐色(2.5Y3/2)砂層、地山を現状に30%、黒色土を現状に20%、炭化物2%含む
2.暗オリーブ灰色(2.5GY3/1)砂層、黒色土を現状に20%、炭化物2%含む、人為堆積
SE217
3.黒色(N2/0)シルト層、地山を現状に5%、炭化物2%含む、自然堆積
4.オリーブ褐色(2.5Y4/3)砂層、炭化物3%、小礫3%含む、人為堆積

3

4


1

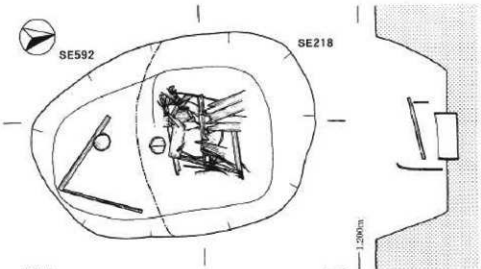
2

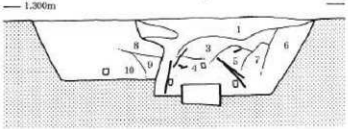


※SE261の土層注記は196頁に収録

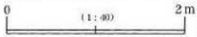
写真1：SE217部材出土状況(西→)
2：SE217横桟・縦板等出土状況(南→)
3：SE216・217全景(西→)
4：SE261全景(東→)

第138図　井戸跡D型（11）　SE217・261、SE216（F型）



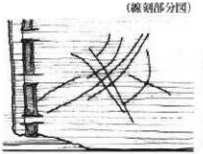


SE218
横桟・曲物
検出状況

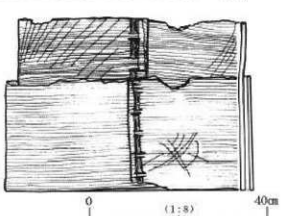


SE218
1.黒褐色(10YR3/1)砂層、地山5%、炭化物2%含む、人為堆積
2.黒褐色(10YR3/2)砂層、地山15%・炭化物1%含む、人為堆積
3.黒褐色(2.5Y3/1)砂層、地山15%・炭化物2%含む、人為堆積
4.黒色(5Y2/1)礫砂層、しまり弱、グライ化地山を塊状に20%含む
5.黒色(7.5Y2/1)礫砂層、地山2%・小礫1%含む
6.黒褐色(10YR3/4)砂層(裏込土)、地山20%・黒色土2%・炭化物1%含む
7.暗オリーブ灰色(2.5GY3/1)砂層、黒色土を塊状に20%・炭化物3%含む、(裏込土)か
SE592
8.黒褐色(10YR3/2)砂層、地山を塊状に10%・黒色土5%含む
9.暗オリーブ灰色(2.5GY3/1)砂層、黒色土を塊状に20%・小礫3%含む
10.黒褐色(2.5Y3/2)砂層、黒色土を塊状に5%・小礫1%含む、8～10(裏込土)か

(線刻部分図)



SE218水溜に使用の曲物(左：実測図)



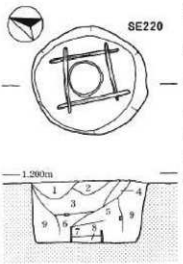
第139図　井戸跡D型（12）　SE218・592（1）全体図・曲物

SE218・592全景(西→)

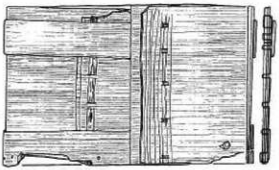
SE218全景(西→)

同上(東→)

第140図　井戸跡D型（13）　SE218・592（2）井戸跡写真



SE220
1.黒褐色(10YR3/1)砂質、しまり強、小礫2%・地山ブロック5%含む
2.オリーブ黒色(5Y3/1)砂質、地山10%・炭化物2%・小礫2%含む
3.黒褐色(2.5Y3/2)砂質、地山20%・炭化物1%・小礫1%含む
4.黒褐色(10YR2/2)細砂質、地山2%含む
5.黒褐色(10YR3/1)砂質、地山10%含む
6.黒色(5Y2/1)細砂質、地山10%含む
7.暗オリーブ灰色(2.5GY3/1)砂質、しまり弱、黒色土を斑状に20%含む
8.黒色(7.5Y2/1)シルト質、しまり弱、小礫3%含む
9.暗褐色(10YR3/3)砂質、オリーブ黒色土を斑状に20%・地山を斑状に20%・黒色シルト質土3%含む



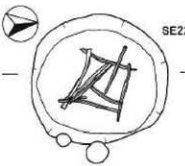
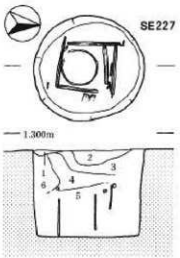


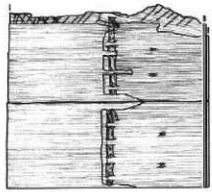
写真1：SE220 曲物(右上：実測図)、2：SE220 全景(西→)
3：SE226 上層堆積状況(東→)

SE226
1.黒褐色(2.5Y3/1)砂質、しまり強、地山を斑状に30%・小礫1%含む
2.黒褐色(10YR3/1)砂質、地山を斑状に15%・炭化物2%・小礫1%含む
3.黒褐色(10YR3/2)砂質、地山を斑状に20%・小礫2%・炭化物1%含む
4.にぶい黄褐色(10YR4/3)砂質、地山10%・炭化物2%含む
5.暗オリーブ灰色(5GY3/1)砂質、黒色泥炭土を斑状に20%・炭化物2%含む
6.暗オリーブ灰色(2.5GY3/1)砂質、しまり弱、黒色泥炭土を斑状に30%・小礫3%含む

0　2m
(1:40)

第141図　井戸跡D型（14）　SE220・226



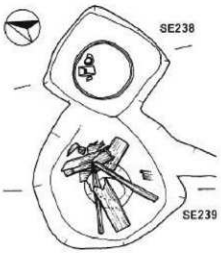


水溜に使用の曲物
（上：実測図）

SE227
1.黒褐色(2.5Y3/2)砂質、黒色土を斑状に15%・地山10%含む、自然堆積
2.暗オリーブ褐色(2.5Y3/3)砂質、地山を斑状に20%・炭化物3%含む、人為堆積
3.黒褐色(10YR3/1)砂質、地山5%・炭化物1%含む、人為堆積
4.にぶい黄褐色(10YR4/3)砂質、黒色土を斑状に20%・炭化物2%含む、人為堆積
5.暗褐色(10YR3/3)砂質、暗オリーブ灰色土30%・黒色土を斑状に5%含む、人為堆積
6.褐色(10YR4/4)砂質(裏込土)、黒色土を斑状に3%含む

SE227全景（東→）

第142図　井戸跡D型（15）　SE227



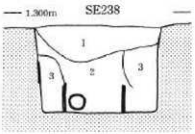
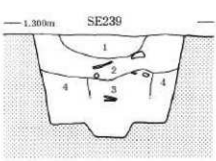
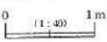
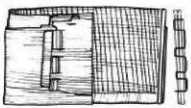


写真1：SE238 曲物内
遺物出土状況(南→)
2：同上内の曲物容器
(左：実測図)
曲物容器の内面は黒色化している。
漆塗りであった可能性がある。
3：SE239 全景(西→)

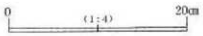


1



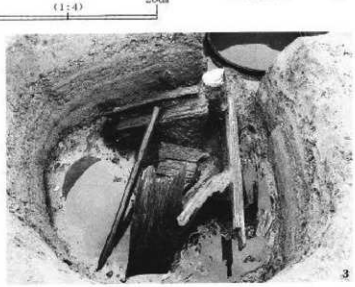


2

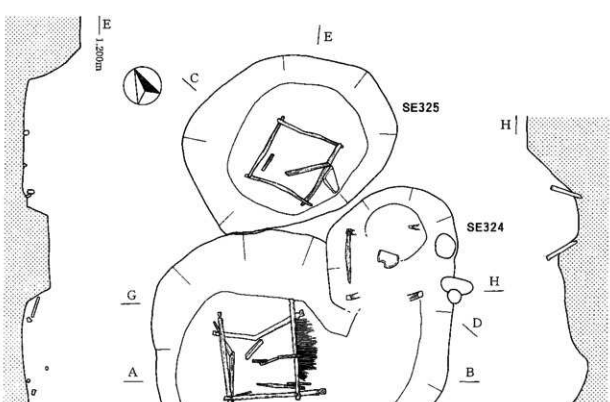


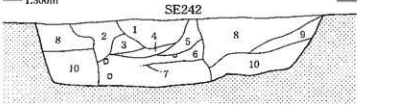
SE238
1.黒色(7.5Y2/1)細砂層、地山を斑状に5%・炭化物2%含む
2.暗オリーブ灰色(2.5GY3/1)砂層、黒色土を斑状に20%含む、人為堆積
3.明褐色(10YR5/2)砂質[裏込土]、地山20%・小礫5%・黒色土5%含む

SE239
1.黒褐色(10YR3/1)砂層、小礫5%・地山を斑状に5%・炭化物1%含む、一括埋土
2.黒色(7.5Y2/1)砂層、地山を斑状に含む、崩壊状態の木材あり、一括埋土
3.オリーブ黒色(7.5Y3/1)シルト層、地山を斑状に10%・小礫3%含む、一括埋土
4.黒色(5Y2/1)シルト層、地山を斑状に5%含む、[裏込土]か


3

第143図　井戸跡D型（16）　SE239、SE238（E型）





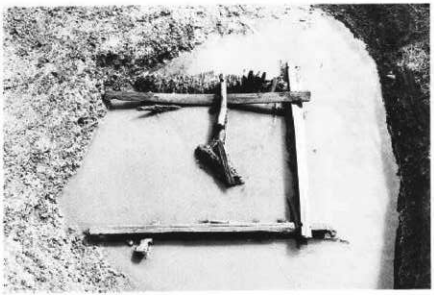
SE242
1.黒色(5Y2/1)砂質、しまり強、炭化物2%含む
2.黒褐色(10YR3/2)砂質、炭化物2%・小礫1%含む
3.明褐色(10YR5/3)砂質、地山ブロム・黒色土10%含む
4.黒色(5Y2/1)シルト質
5.3と同じ
6.暗オリーブ褐色(2.5GY5/1)砂質、黒色粘質シルトを斑状に20%含む
7.4と同じ
8.黒褐色(2.5Y3/2)粘質土[1]砂質
9.暗褐色(10YR3/3)砂質[2]、黒色土を斑状に20%含む
10.オリーブ黒色(10Y3/2)[炭化主]砂質

SE324
1.黒褐色(10YR3/2)砂質、オリーブ黒色土を斑状に5%・地山を斑状に5%含む、自然堆積か
2.黒色(5Y2/1)砂質、地山ブロ・炭化物2%含む
3.オリーブ黒色(5Y3/1)砂質、地山5%・小礫2%含む、人為堆積
4.黒色(5Y2/1)シルト質、グライ化地山を斑状に10%・炭化物1%含む、人為堆積
5.灰黄色(10YR6/2)砂質、地山を斑状に5%含む
6.黒色(5Y2/1)シルト質、しまり弱、地山を斑状に5%含む
7.黒褐色(10YR3/2)砂質[1]、地山ブロム・炭化物1%含む

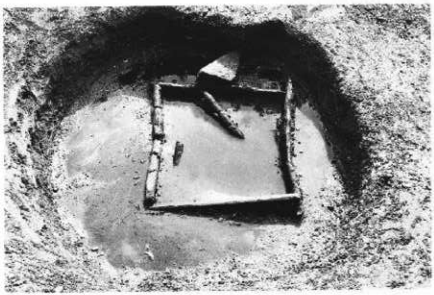
SE325
1.黒色(5Y2/1)砂質、しまり強、地山を斑状に2%・炭化物2%含む、人為堆積か
2.褐灰色(10YR6/1)砂質、地山を斑状に2%含む、人為堆積か
3.黒褐色(10YR3/2)粘質、地山を斑状に10%・小礫2%・炭化物1%含む、人為堆積か
4.オリーブ黒色(5Y3/1)シルト質、グライ化地山を10%・小礫2%含む、人為堆積か
5.暗オリーブ灰色(2.5GY5/1)砂質、黒色シルトを斑状に10%含む、人為堆積か
6.オリーブ黒色(7.5Y3/1)砂質、しまり弱、グライ化地山20%・小礫2%含む、人為堆積か
7.黒褐色(2.5Y3/2)砂質[炭化土]、地山を斑状に20%・小礫2%含む
8.黒褐色(10YR3/2)砂質[炭化土]、地山[粒状]を斑状に20%・小礫3%含む
9.褐灰色(10YR6/3)砂質[炭化土]、地山30%・小礫10%含む
10.黒褐色(10YR3/2)砂質[炭化土]、地山30%・小礫3%、炭化物2%含む
11.オリーブ黒色(5Y3/1)砂質[炭化土]、地山10%・小礫3%含む

第144図　井戸跡D型（17）　SE242・325、SE324（C型）（1）全体図

SE242・324・325全景(西→)

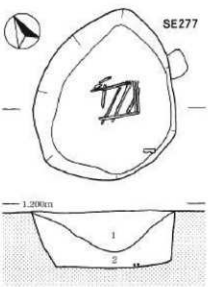


SE242全景(西→)

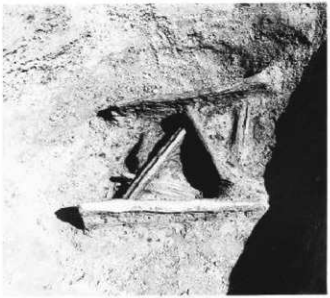


SE325全景(北西→)

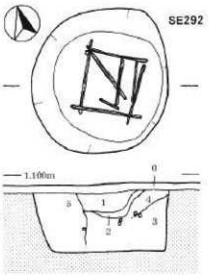
第145図　井戸跡D型（18）　SE242・325、SE324（C型）（2）井戸跡写真



SE277
1.オリーブ黒色(5Y3/1)砂質,地山を斑状に20%・炭化物3%・小礫1%含む
2.暗褐色(10YR3/4)砂層,オリーブ黒色土を斑状に5%・炭化物1%含む



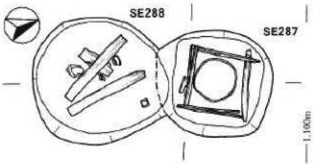
SE277部材検出状況(南→)

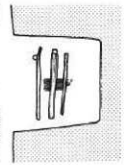


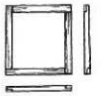
SE292部材検出状況(西→)

SE292
0.井水用掘作土
1.黒褐色(2.5Y3/1)砂層,地山を斑状に5%・炭化物3%・小礫3%含む
2.にぶい黄褐色(10YR4/3)粘土質シルト層,黒色土を斑状に10%含む
3.黒色(5Y2/1)礫混砂層,炭化物3%・小礫2%含む
4.黒褐色(10YR3/1)砂層,地山を斑状に5%・小礫2%・炭化物1%含む。
【裏込土か】
5.黒褐色(10YR3/1)砂層【裏込土】,地山を斑状に10%・小礫3%含む

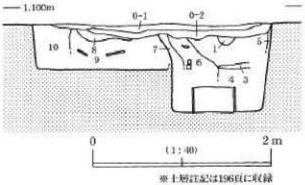
第146図　井戸跡D型(19)　SE277・292







SE287 横桟構造模式図

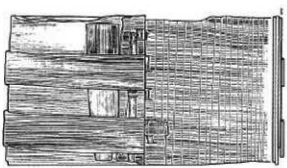


※土層注記は196頁に収録

写真1：SE287 水溜に使用の曲物(下：実測図)
2：同上部材(東面の横桟・箍など)
検出状況(西→)

1

写真3：SE288 全景(東→)
4：同上遺物出土状況(東→)
右(浦幕刺274-11)、左(珠洲焼鉢)



3

0　20cm

第147図　井戸跡D型（20）　SE287、SE288（C型）

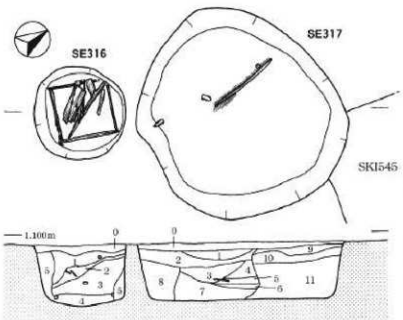


写真1：SE316部材検出状況
（北東→）
2：同上全景（東→）
3：SE317全景（東→）

SE316

1.オリーブ黒色(2.5GY3/1)砂層、酸化地山10% 炭化物2%含む
2.暗オリーブ灰色(2.5GY5/1)砂層、炭化物2%含む
3.オリーブ黒色(5GY3/1)砂層、グライ化地山10% 酸化地山5% 炭化物2%含む
4.黒色(5Y2/1)砂層、グライ化地山20%含む
5.暗オリーブ灰色(2.5GY4/1)砂層、オリーブ黒色土を斑状に20%含む

SE317

1.黒褐色(10YR3/2)砂層、地山5% 炭化物1%含む
2.黒褐色(10YR3/1)砂層、地山を斑状に5% 炭化物1%含む
3.黒色(5Y2/1)砂層(シルト層に近い)、地山を斑状に5% 炭化物1%含む
4.暗オリーブ灰色(2.5GY5/1)砂層、黒色土を斑状に20% 炭化物微量含む
5.暗オリーブ灰色(2.5GY5/1)砂層、黒色土を斑状に50%含む
6.暗オリーブ灰色(2.5GY5/1)砂層、黒色混礫シルト5%、炭化木片5%含む
7.オリーブ黒色(5GY3/2)シルト層、しまり弱、グライ化地山を斑状に30%含む
8.暗オリーブ灰色(2.5GY5/1)砂質土、地山を斑状に20%、炭化物1%、炭化木片を微量に含む
9.黒色(5Y2/1)砂質土、地山を斑状に30%含む
10.黒色(7.5YR2/1)砂質土、1～3cm大礫シルトをブロック状に5%～地山10%含む
11.暗オリーブ灰色(2.5GY5/1)砂質土、黒色土を斑状に20%、炭化物1%含む

第148図　井戸跡D型（21）　SE316、SE317（C型）

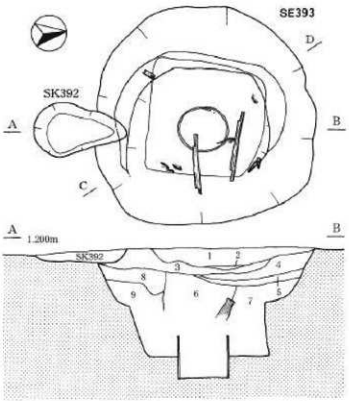
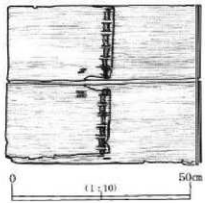


写真1：部材検出状況（西→）
2：曲物検出状況（南→）
3：水溜に使用の曲物
（下：実測図）

0　(1:40)　2m

※土層注記は次頁（第150図右下）に収録



0　(1:10)　50cm

第149図　井戸跡D型（22）　SE393、SK392

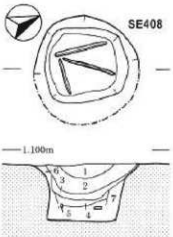
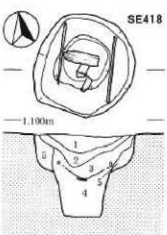


写真1：SE408全景（東→）

SE408
1.黒褐色(10YR3/1)砂層、炭化物3%含む、自然堆積
2.黒色(N2/0)粘土層、しまり弱、黒色炭化上3%・地山5%含む、流入土か
3.暗褐色(10YR3/4)砂層、黒色土を現状に50%含む
4.黒褐色(2.5Y3/1)砂層、地山を現状に10%・炭化物3%含む
5.オリーブ黒色(5Y3/1)砂層、しまり弱、地山20%・炭化物2%含む
6.暗褐色(10YR3/3)砂層[裏込土]、地山10%・炭化物2%含む
7.黒褐色(10YR3/2)砂層[裏込土]、地山15%・炭化物1%含む

写真2：SE418全景（東→）



0　(1:40)　2m

SE418
1.黒褐色(10YR3/2)砂層、しまり強、地山を現状に3%・小礫2%・炭化物1%含む、自然堆積か
2.黒褐色(10YR3/2)砂層、地山を現状に5%・炭化物1%含む、人為堆積
3.暗褐色(10YR3/3)砂層、地山30%・オリーブ黒色土を現状に20%・小礫3%含む、人為堆積
4.オリーブ黒色(5Y3/1)砂層、地山を現状に20%含む、木成堆積か
5.暗褐色(10YR3/4)砂層[裏込土]、オリーブ黒色土5%含む

第149図
SE335
1.黒褐色(2.5Y3/2)砂層、地山を現状に5%・炭化物2%含む、自然堆積か
2.暗褐色(10YR3/4)砂層、地山30%・黒褐色土10%含む、人為堆積
3.黒褐色(10YR3/1)砂層、地山15%・炭化物5%・小礫2%含む、人為堆積
4.にぶい黄褐色(10YR4/3)砂層、地山30%・黒褐色土15%含む、人為堆積
5.黒褐色(10YR3/1)砂層、地山を現状に20%含む、人為堆積
6.オリーブ黒色(5Y3/1)砂層、地山を現状に20%・炭化物2%・小礫1%含む、人為堆積
7.にぶい黄褐色(10YR4/3)砂層[裏込土]、オリーブ黒色土を現状に5%・炭化物1%含む
8.暗色(10YR4/4)砂層[裏込土]、オリーブ黒色土を現状に5%・炭化物1%含む
9.黒色(5Y2/1)砂層[裏込土]、褐色地山を現状に15%含む

第150図　井戸跡D型（23）　SE408・418

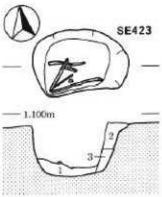
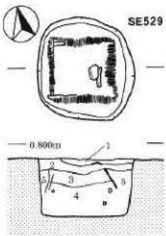


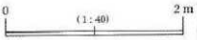
写真1：SE423全景（南→）

SE423
1.黒褐色(2.5Y3/2)砂層、しまり弱、地山30%・炭化物[泥炭土か]10%含む、人為堆積か
2.黒褐色(10YR3/2)砂層[埋込土]、地山を斑状に5%・炭化物2%・小礫1%含む
3.暗褐色(10YR3/4)砂層[埋込土]、地山20%・炭化物2%含む



横桟検出状況
（東面のみ加工材、
他は自然木を使用）

2

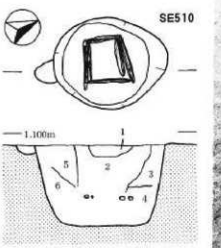


SE529
1.黒褐色(10YR3/2)砂層、しまり強、地山20%・黒色土を斑状に10%・炭化物2%含む、人為堆積か
2.暗褐色(10YR3/3)砂層、黒色土を斑状に20%・炭化物1%・小礫1%含む、人為堆積か
3.黒色(5Y2/1)細砂層、グライ化地山を斑状に10%含む、木成腐植
4.暗オリーブ灰色(2.5GY3/1)砂層、黒色土を斑状に20%含む、木成堆積
5.暗オリーブ灰色(2.5GY3/1)砂層[裏込土]、黒色土を斑状に20%含む

3

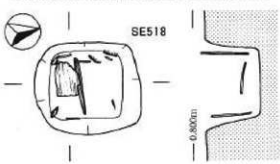
写真2：SE529　横桟検出状況（南→）
左図と同一方向から
3：同上全景（南→）

第151図　井戸跡D型（24）　SE423・529



SE510
1.黒褐色(2.5Y3/2)砂質、しまり強、地山を斑状に3%・炭化物2%・小礫1%含む、自然堆積か
2.黒褐色(10YR3/2)砂質、オリーブ黒色土を斑状に20%・地山を斑状に10%・炭化物2%含む、人為堆積
3.黒褐色(10YR3/1)砂質[裏込土]、地山を斑状に10%・炭化物2%・小礫2%含む
4.オリーブ黒色(5Y3/1)[裏込土]シルト層、地山20%・小礫3%含む
5.黒褐色(10YR3/1)砂質[裏込土]、オリーブ黒色土を斑状に5%・地山5%・炭化物2%含む
6.暗褐色(10YR3/3)[裏込土]粗砂質、地山10%・小礫3%・炭化物1%含む

SE510全景(南→)



SE518
1.黒色(5Y2/1)砂層、地山を斑状に5%・小礫1%含む
2.オリーブ黒色(5Y3/1)砂層、グライ化地山を斑状に15%含む
3.暗オリーブ灰色(2.5GY3/1)砂層、オリーブ黒色シルト質土を斑状に20%・炭化物2%含む
4.オリーブ黒色(5Y3/1)シルト層、しまり弱、炭化物2%・グライ化地山少量含む
5.褐色(10YR4/4)[裏込土]粗砂層、オリーブ黒色シルト質土を斑状に5%含む
6.黒色(5Y2/1)[裏込土]シルト層、しまり弱、グライ化地山10%含む

0　(1:4)　10cm

0　(1:40)　2m

写真1：南西隅出土の漆器椀
2：同上内面
3：同上外面
図4：実測図

第152図　井戸跡D型（25）　SE510・518

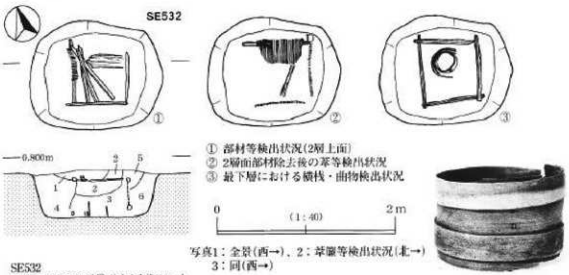
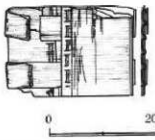
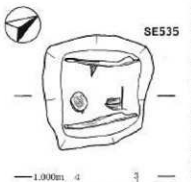


写真1：全景(西→)，2：草類等検出状況(北→)
3：同(西→)

SE532
1.黒褐色(10YR3/1)砂質，地山を斑状に5%・小礫2%含む
2.黒色(2.5Y2/1)細砂質，地山を斑状に5%・炭化物少量含む
3.黒色(7.5Y2/1)シルト質，しまり弱，地山を斑状に5%含む
4.黒色(2.5Y2/1)砂質，しまり強，地山をブロック状に10%・炭化物2%含む，[裏込土]か
5.黒色(2.5Y2/1)砂質，地山を斑状に10%含む，[裏込土]か
6.黒色(7.5Y2/1)砂質，炭化物2%・地山少量含む，[裏込土]か



第153図　井戸跡D型（26）　SE532

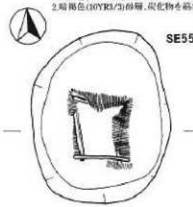


SE535
1.オリーブ黒色(5Y3/1)砂質,地山を帯状に10%
　炭化物2%・小礫2%含む
2.暗オリーブ灰色(2.5GY4/1)砂質,ブロック状
　のグライ化地山
3.黒色(5Y2/1)シルト質,地山を帯状に3%・炭化物2%含む
4.灰褐色(10YR4/2)砂質,オリーブ黒色土を斑状に10%含む
5.暗オリーブ灰色(2.5GY4/1)砂質

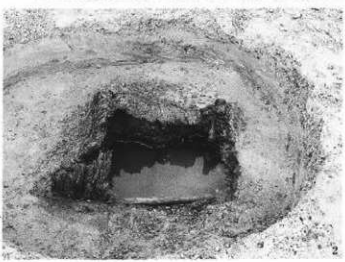
SE535全景（北→）

SE551
1.黒褐色(10YR3/2)砂質,炭化物5%・黄褐色地山を斑状に5%含む
2.暗褐色(10YR3/3)砂質,炭化物を帯状に2%・地山を帯状に3%含む

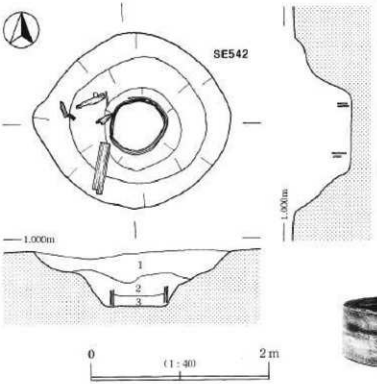
写真1：SE551遺構検出状況（北→）
　2：同上全景（西→）



3.黒褐色(10YR3/1)砂質(粗土),炭色土,灰色シルト質土をブロ
　ック状に3%・炭化物2%含む
4.黒色(5Y2/1)砂質,小礫2%・炭化物1%含む,木成堆積
5.黒褐色(10YR2/1)砂質,地山を帯状に5%含む,木成堆積
6.黒褐色(2.5Y3/1)砂質,しまり弱,グライ化地山を帯状に
　10%・炭化物を帯状に5%含む,木成堆積
7.オリーブ黒色土(5Y3/1)しまり弱,炭化物を帯状に5%含む,
　木成堆積
8.黒色(7.5Y2/1)砂質,しまり弱,グライ化地山を帯状に5%
　・炭化物2%含む,木成堆積
9.黒褐色(10YR3/1)砂質,しまり弱,炭を物5%含む,木成
　堆積



第154図　井戸跡D型（27）　SE535・551



SE542
1.暗オリーブ灰色(2.5GY3/1)砂層、地山30%・黒色シルト質土を斑状に
10%含む、人為堆積
2.暗オリーブ灰色(2.5GY4/1)砂層、黒色土3%含む、人為堆積
3.にぶい黄褐色(10YR4/3)砂層、地山30%含む

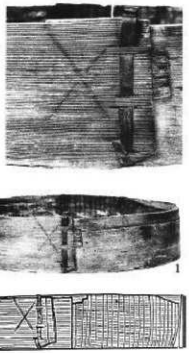
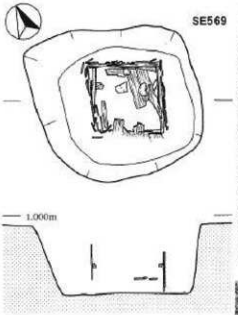


写真1：SE542水溜に使用の曲物
（下：実測図、×状の線刻あり）
2：同上全景（北→）

第155図　井戸跡D型（28）　SE542



横桟構造模式図（写真2と同一方向）

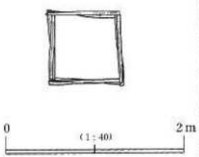
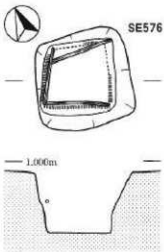
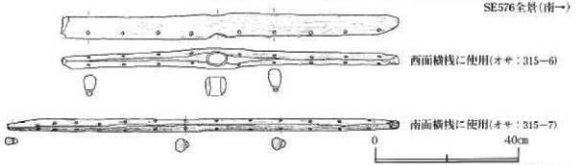


写真1：SE569 土層堆積状況（南→）
　　青砂と黒色シルト質土が筋状互層に入り、自然（水成）堆積であることが分かる。ただ土層断面図は土砂崩落に伴い図示できなかった。
2：同上横桟検出状況（2段、縦板除去後）
3：同上 全景（南→）

第156図　井戸跡Ｄ型（29）　SE569



SE576全景（南→）

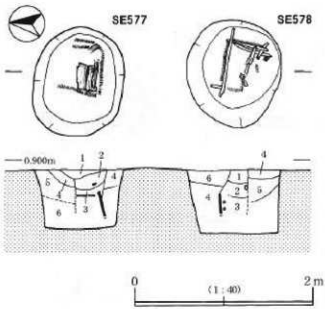


SE623全景（西→）

SE623
1.黒褐色(10YR3/1)砂質，黄褐色地山を斑状に5%・炭化物3%・小礫3%含む，人為堆積
2.黒褐色(10YR3/2)砂質，炭化物3%・黄褐色地山を斑状に3%含む，人為堆積
3.暗褐色(10YR3/3)砂質，しまり弱，炭化物5%・黒褐色砂をブロック状に3%・小礫1%含む，人為堆積
4.オリーブ黒色(5Y3/1)砂質[裏込土]，グライ化地山5%・炭化物3%含む
5.暗褐色(10YR3/3)砂質[裏込土]，黒褐色土をブロック状に5%・炭化物1%含む
6.黒色(10Y2/1)シルト質，しまり弱，炭化物3%・小礫1%含む

SD624
7.黒褐色(10YR3/2)砂質，黄褐色土をブロック状に3%含む

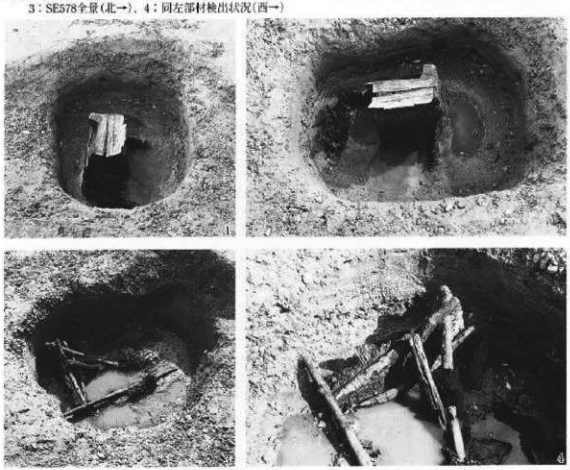
第157図　井戸跡D型（30）　SE576・623



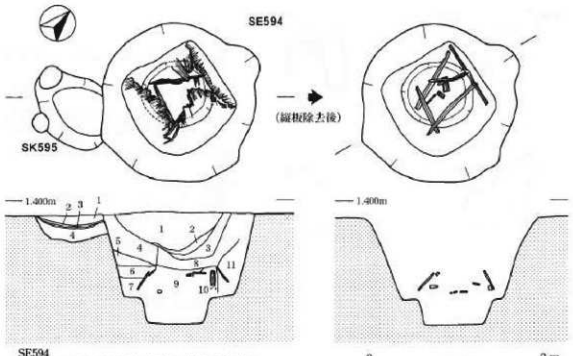
SE577
1.黒褐色(10YR3/1)砂質、しまり強、地山を斑状に10%・炭化物1%含む
2.黒色(5Y2/1)砂質、地山を斑状に5%含む
3.暗オリーブ灰色(2.5GY3/1)砂質、オリーブ黒色土を斑状に20%含む
4.暗褐色(10YR3/4)砂質、オリーブ黒色土を斑状に10%含む
5.にぶい黄褐色(10YR4/3)砂質、オリーブ黒色土を斑状に10%含む、下部は暗オリーブ灰色土(2.5GY4/1)のグライ化地山にオリーブ黒色土が入る
6.暗オリーブ灰色(2.5GY3/1)砂質、オリーブ黒色土を斑状に50%含む

SE578
1.黒褐色(10YR3/1)砂質、しまり強、地山を斑状に3%・炭化物1%含む
2.黒色(5Y2/1)砂質、グライ化地山をブロック状に15%・炭化物1%含む
3.黒色(7.5Y2/1)シルト質、しまり強、炭化物3%・灰少量含む
4.暗オリーブ灰色(2.5GY3/1)砂質[裏込土]、しまり強、オリーブ黒色土を斑状に20%・小礫2%含む
5.暗オリーブ灰色(2.5GY3/1)砂質[裏込土]、オリーブ黒色土2%含む
6.オリーブ黒色(5Y3/1)砂質[裏込土]、しまり強、地山を斑状に5%・炭化物2%・小礫2%含む

写真1：SE577全景(東→)、2：同左全景(北→)
3：SE578全景(北→)、4：同左部材検出状況(西→)



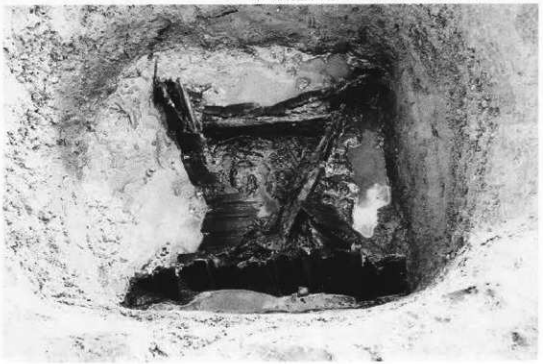
第158図　井戸跡Ｄ型（31）　SE577・578



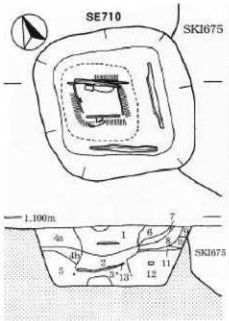
SE594
1.黒褐色(10YR3/1)砂層,小礫2%・炭化物1%・黄褐色地山1%含む
2.黒褐色(10YR3/2)砂層,黄褐色地山を斑状に5%・炭化物2%含む
3.黒褐色(10YR3/1)砂層,炭化物3%含む
4.黒褐色(10YR3/2)砂層,黄褐色地山を斑状に5%・小礫3%・炭化物2%含む
5.暗褐色(10YR3/3)砂層(崩込土),暗色砂を斑状に5%含む
6.黒色(10Y2/1)砂層(崩込土),灰黄褐色砂を斑状に5%・炭化物3%含む
7.黒褐色(10YR3/1)砂層,しまり弱,炭化物を斑状に10%・黄褐色地山10%含む
8.黒褐色(10YR3/2)砂層,黄褐色地山5%・炭化物1%含む
9.黒色(10Y2/1)シルト層,しまり弱,黄褐色地山3%含む
10.黒褐色(10YR3/1)砂層,しまり弱,黄褐色地山を斑状に3%・炭化物1%含む
11.黒褐色(10YR3/1)砂層,しまり弱

SK595
1.黒褐色(10YR3/2)砂層,炭化物1%含む
2.黒色(10Y2/1)砂層,しまり弱,炭化物5%含む
3.にぶい黄褐色(10YR4/3)砂層,炭化物1%含む
4.黒褐色(10YR3/1)砂層,炭化物1%・黄褐色地山3%含む

井戸部材全景（北→）　土圧により縦板が内側に倒れ込んでいる



第159図　井戸跡D型（32）　SE594



SE710全景（北→）
写真中央が水溜に使用された方形の枠、奥と左側の枠が井戸側を構成していたと思われる横桟

SE710
1.黒褐色(10YR3/1)細砂層、地山を微状に3%・炭化物1%含む
2.オリーブ黒色(5Y3/1)シルト層、ブライ化地山を塊状に5%及び縞状に5%・炭化物1%含む
3.オリーブ黒色(5Y3/1)シルト層、しまり弱、ブライ化地山を塊状に10%含む
4a.黒褐色(2.5Y3/1)砂層、地山を塊状に15%・炭化物1%含む
4b.オリーブ黒色(5Y3/1)砂層、ブライ化地山を塊状に20%・炭化物1%含む
5.黒色(5Y2/1)砂層、ブライ化地山を塊状に3%含む
6.暗褐色(10YR3/3)砂層、黒褐色土を塊状に20%・地山20%・小礫5%・炭化物1%含む
7.黒褐色(10YR3/1)砂層、地山を塊状に10%含む
8.オリーブ黒色(5Y3/2)シルト層、しまり弱、地山を縞状に5%含む
9.オリーブ黒色(5Y3/1)砂層、地山10%・炭化物2%含む
10.黒褐色(10YR3/2)砂層、黒褐色土を塊状に20%含む
11.灰黄褐色(10YR4/2)粘土層、地山を塊状に2%含む
12.オリーブ褐色(2.5Y4/3)砂層、オリーブ黒色土をブロック状に30%・炭化物3%含む
13.暗オリーブ灰色(2.5GY4/1)砂層、小礫1%含む

同上水溜に使用されたと思われる方形の枠（北→）
枠の作り方は、他の井戸の井戸側と同じである。

第160図　井戸跡D型（33）　SE710